

# 基本調査

## 第Ⅰ部 調査の概要



## 1 調査の目的

生活の各分野における県民ニーズを把握し、今後の行政施策の展開に資することを目的とする。

## 2 調査内容

- (1) くらし全般について（生活総合満足度、くらし向きの変化、今後のくらし向きの見通し、地域の住みよさ、定住意向）
- (2) 生活意識
- (3) くらしの満足度（身近な生活に関する 38 項目についての重要度及び満足度）
- (4) 県行政への要望

## 3 調査設計

- (1) 調査地域 神奈川県全域
- (2) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 4,000 標本
- (4) 標本抽出方法 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法 ア 郵送による調査票の配布  
イ 郵送回答とインターネット回答の併用
- (6) 調査期間 令和 7 年 7 月 18 日（金）～8 月 12 日（火）
- (7) 調査委託機関 株式会社 C C N グループ

## 4 回収結果

- (1) 全体の回収結果

標 本 数	4,000 標本
有効回収数	1,627 標本 〔郵送回答 : 963 件 インターネット回答 : 664 件〕
有効回収率	40.7%

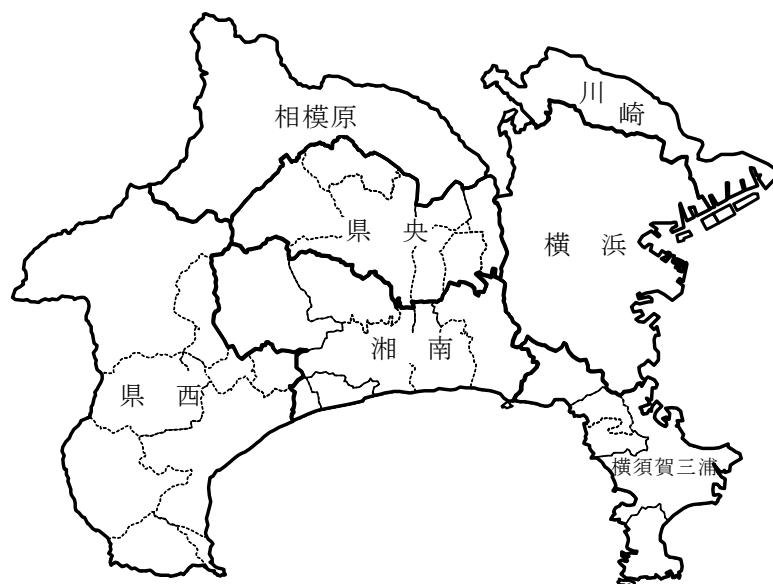
## (2) 地域別の回収結果

地 域		設計標本数	有効回収数	有効回収率
横浜	横浜市	1,620	617	38.1%
川崎	川崎市	660	237	35.9%
相模原	相模原市	300	107	35.7%
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	300	144	48.0%
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	380	150	39.5%
湘南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町	580	235	40.5%
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	160	73	45.6%
無 回 答			64	
全 体		4,000	1,627	40.7%

## 5 標本の抽出方法について

- (1) 県内を7地域に分類し、さらに各地域を人口規模によって層化した。
- (2) 各地域・人口規模別の層における18歳以上の人囗（令和6年1月1日現在の推計値）により、4,000標本を比例配分した。
- (3) 比例配分した標本数を20（1地点あたりの標本数）で除し、地点数を算出した。

地域区分図



## 地点数及び標本配分

地域	人口50万人以上の市	人口50万人未満の市	町 村	計
横 浜	3,156,795人 81地点 1,620標本	-	-	3,156,795人 81地点 1,620標本
川 崎	1,283,024人 33地点 660標本	-	-	1,283,024人 33地点 660標本
相模原	607,446人 15地点 300標本	-	-	607,446人 15地点 300標本
横須賀三浦	-	557,093人 14地点 280標本	25,917人 1地点 20標本	583,010人 15地点 300標本
県 央	-	689,893人 18地点 360標本	36,552人 1地点 20標本	726,445人 19地点 380標本
湘 南	-	1,017,415人 26地点 520標本	91,084人 3地点 60標本	1,108,499人 29地点 580標本
県 西	-	193,400人 5地点 100標本	90,880人 3地点 60標本	284,280人 8地点 160標本
人口計	5,047,265人	2,457,801人	244,433人	7,749,499人
地点数計	129地点	63地点	8地点	200地点
標本数計	2,580標本	1,260標本	160標本	4,000標本

※ 人口数は、「神奈川県年齢別人口統計調査（令和6年1月1日現在）」（県統計センター）をもとに、18歳以上の各市区町村の人口を積算したもの。

## 6 集計・分析にあたって

- (1) 集計にあたっては、小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (2) 標本数「n」は「number of cases」の略で、質問に対する回答者数を表す。
- (3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並べ替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。（例えば、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》と表現している。）また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているので、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (6) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。
- (7) 今後の精査により、数値等は変動することがある。

## 7 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数調査をした場合に得られる数値）と異なることがある。これを標本誤差という。

層化二段無作為抽出の場合、信頼度 95% のときの標本誤差は次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$b$  = 標本誤差  
 $N$  = 母集団数  
 $n$  = 回答者数  
 $P$  = 回答比率

上の式により、回答者数 (n)、および回答比率 (P) ごとに信頼度 95% のときの標本誤差(%)を計算すると、おおよそ次表のとおりとなる。

回答比率 (P) 回答者数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,627	± 2.10	± 2.80	± 3.21	± 3.44	± 3.51
1,200	± 2.45	± 3.27	± 3.74	± 4.00	± 4.08
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数 (n) が 1,627 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60% であった場合、その回答比率の誤差は 95% の信頼度で、±3.44 以内（真の値は、56.56% ~63.44%）である」とみることができる。

## 8 回答者の属性

(1) 居住地域 (n=1,627) (%)

横浜	37.9
川崎	14.6
相模原	6.6
横須賀三浦	8.9
県央	9.2
湘南	14.4
県西	4.5

(無回答 3.9)

(2) 性別 (n=1,627) (%)

男性	44.7
女性	49.7

(無回答 5.6)

(3) 年齢 (n=1,627) (%)

18～19歳	0.2
20～29歳	4.9
30～39歳	11.1
40～49歳	18.4
50～59歳	22.9
60～69歳	17.9
70～74歳	7.5
75歳以上	12.8

(無回答 4.2)

(4) 65歳以上の同居者の有無

(n=1,627) (%)

いる	41.8
いない	51.9

(無回答 6.3)

(6) インターネットの利用状況

(n=1,627) (%)

よく利用する	69.0
ときどき利用する	14.0
あまり利用しない	5.5
利用しない	7.3

(無回答 4.2)

(5) 子どもの状況(複数回答) (n=1,627) (%)

小学校入学前	7.1
小学校在学中	10.9
中学校在学中	7.6
高校在学中	7.0
短大、専門学校等在学中	1.0
大学、大学院等在学中	6.9
学校教育終了[未婚]	21.8
学校教育終了[既婚]	22.4
その他	3.1
子どもはいない	30.0

(無回答 4.9)

(7) 職業区分

(n=1,627) (%)

自営業主・ 家族従業者	自営業主	4.9
	家族従業者	1.3
勤め・内職	勤め（フルタイム）	41.7
	勤め（パートタイム）	15.4
	内職	0.1
主婦・主夫（勤めていない）		12.5
学生		1.0
無職		14.5
その他		1.8

(無回答 6.7)

(7-1) 有職者の職業内容

(n=1,032) (%)

自営業主・ 家族従業者	農林水産業	0.3
	商工サービス業	4.5
勤め・内職	自由業	4.7
	経営・管理職	7.9
	専門・技術職	21.9
	事務職	24.6
	教育職	5.3
	技能・労務職	10.6
	販売・サービス職	18.1

(無回答 2.1)



## 基本調査

### 第Ⅱ部 調査結果の概要



## 調査結果の概要

1. 昨年の今頃と比較した現在のくらし向きについて、

**『悪くなった』は6.0ポイント増の45.7%**

(P12 図表1-2)

〔  
『よくなつた』は3.6ポイント減の9.2%  
「変わらない」は4.1ポイント減の40.8%  
〕

2. くらし向きが『悪くなった』理由について、

**「日常の生活費が増えたため」が4年連続で第1位**

(P13 図表1-3)

3. 県行政への要望について、

**「治安対策」が5.8ポイント増の55.6%で第1位**

(P18 図表4)

### 【記載内容についての注意】

・ 調査結果の比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

・ 複数回答の設問では、その比率(%)の合計が100%を上回ることがある。

・ 文中の「n」は、「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。

※令和7年度(n=1,627)、令和6年度(n=1,206)

・ 《　》は、2つ以上の選択肢を合わせた場合に用いる。

例：「たいへん満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせたものを  
《満足している》と表現している。

また、この場合の比率は実際の回答数の合計から算出しており、個々の選択肢の比率  
の単純な合計とは値が異なる場合がある。

・ 文中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

## 1 くらし全般(問1から問5)

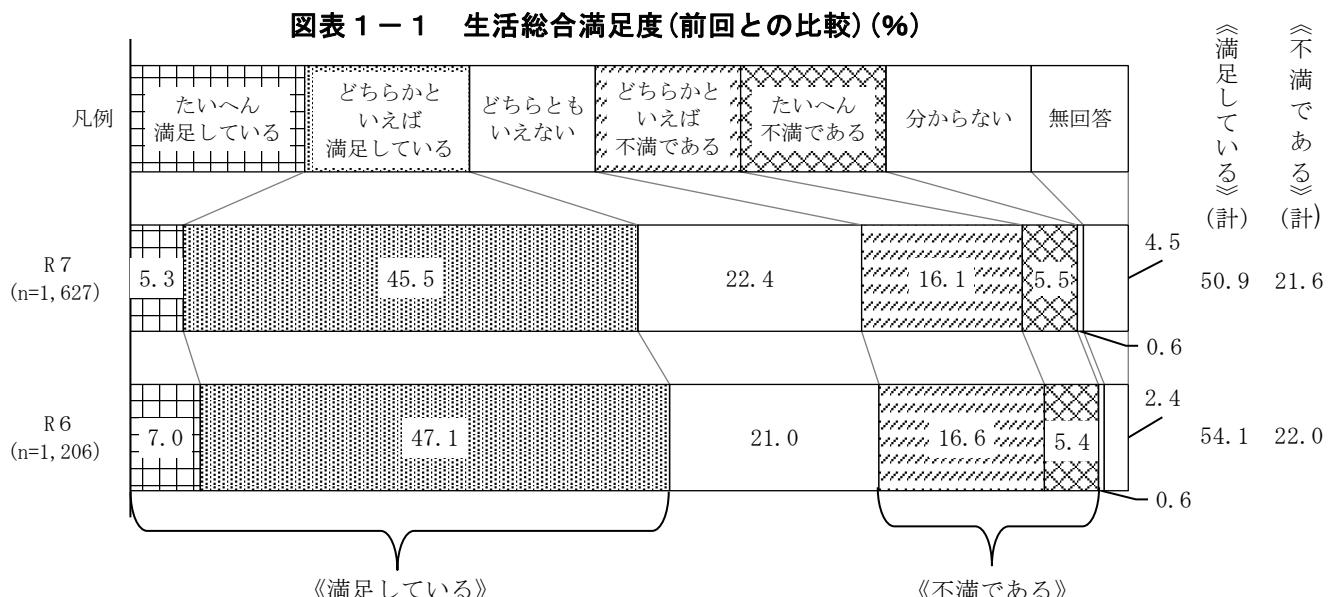
### ▼生活総合満足度

現在の生活全般について、どの程度満足しているか尋ねた。

「たいへん満足している」(5.3%)と「どちらかといえば満足している」(45.5%)を合わせた《満足している》は50.9%で、前回より3.2ポイント減(54.1%→50.9%)となった。

一方、「たいへん不満である」(5.5%)と「どちらかといえば不満である」(16.1%)を合わせた《不満である》は21.6%で、前回より0.4ポイント減(22.0%→21.6%)となった。

[図表1-1]



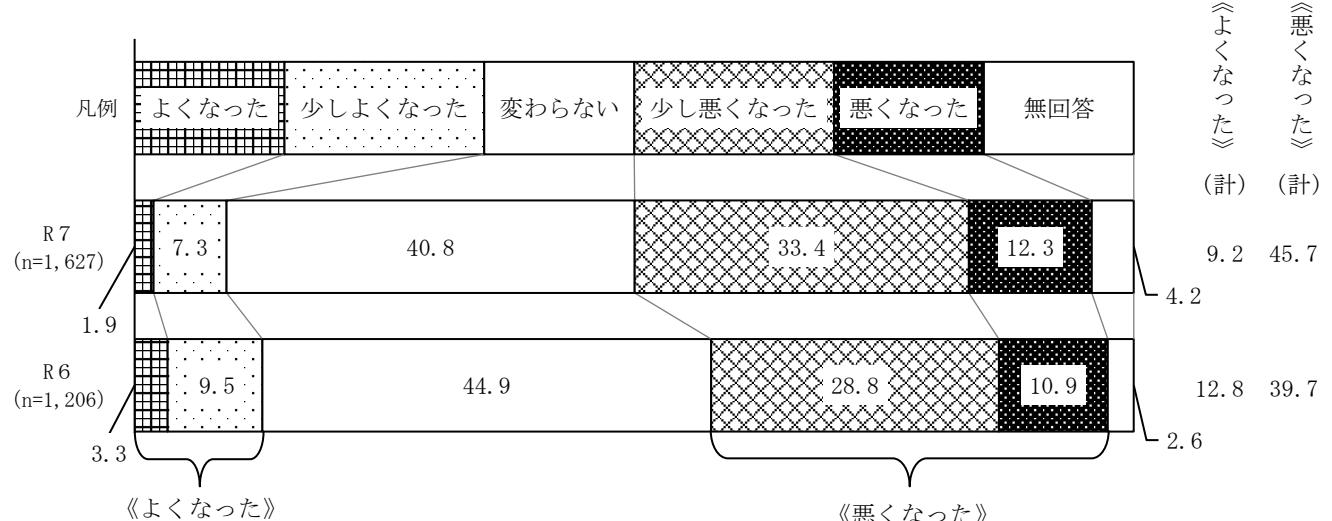
### ▼くらし向きの変化

昨年の今頃と比較した現在のくらし向きについて尋ねた。

「よくなった」(1.9%)と「少しよくなった」(7.3%)を合わせた《よくなった》は9.2%で、前回より3.6ポイント減(12.8%→9.2%)となった。

一方、「悪くなった」(12.3%)と「少し悪くなった」(33.4%)を合わせた《悪くなった》は45.7%で、前回より6.0ポイント増(39.7%→45.7%)となった。[図表1-2]

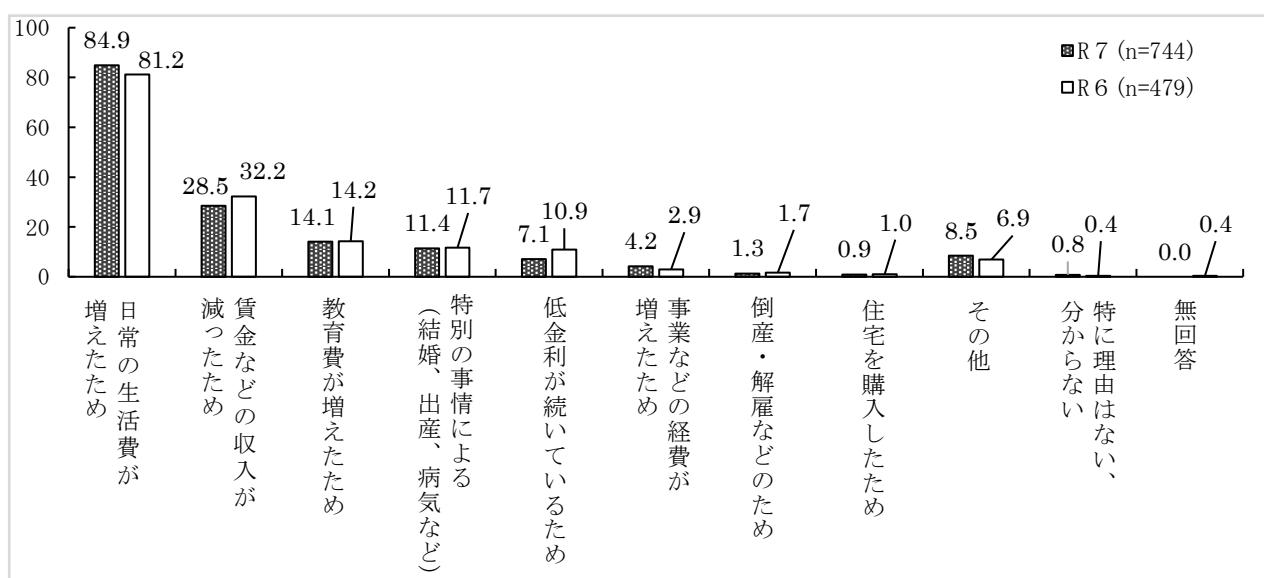
[図表1-2 くらし向きの変化(前回との比較)(%)



くらし向きが《悪くなった》と答えた744人にその理由を複数回答で尋ねたところ、「日常の生活費が増えたため」が84.9%と、前回より3.7ポイント増(81.2%→84.9%)で最も多く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が28.5%であった。

前回と比較して増減幅が最も大きかったのは、「低金利が続いているため」で3.8ポイント減(10.9%→7.1%)となった。〔図表1-3〕

図表1-3 くらし向きが悪くなった理由(前回との比較)(複数回答)(%)



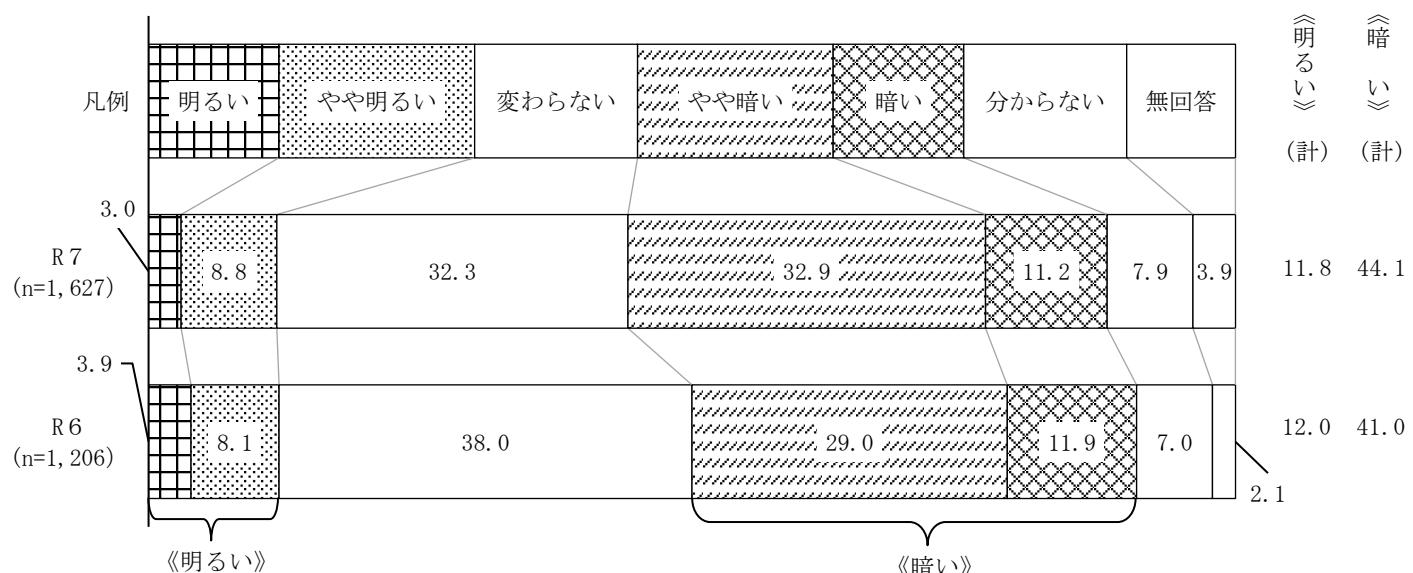
### ▼今後のくらし向きの見通し

今後のくらし向きの見通しを尋ねた。

「明るい」(3.0%)と「やや明るい」(8.8%)を合わせた《明るい》は11.8%で、前回より0.2ポイント減(12.0%→11.8%)となった。

一方、「暗い」(11.2%)と「やや暗い」(32.9%)を合わせた《暗い》は44.1%で、前回より3.1ポイント増(41.0%→44.1%)となった。〔図表1-4〕

図表1-4 今後のくらし向きの見通し(前回との比較)(%)



## ▼地域の住みよさ

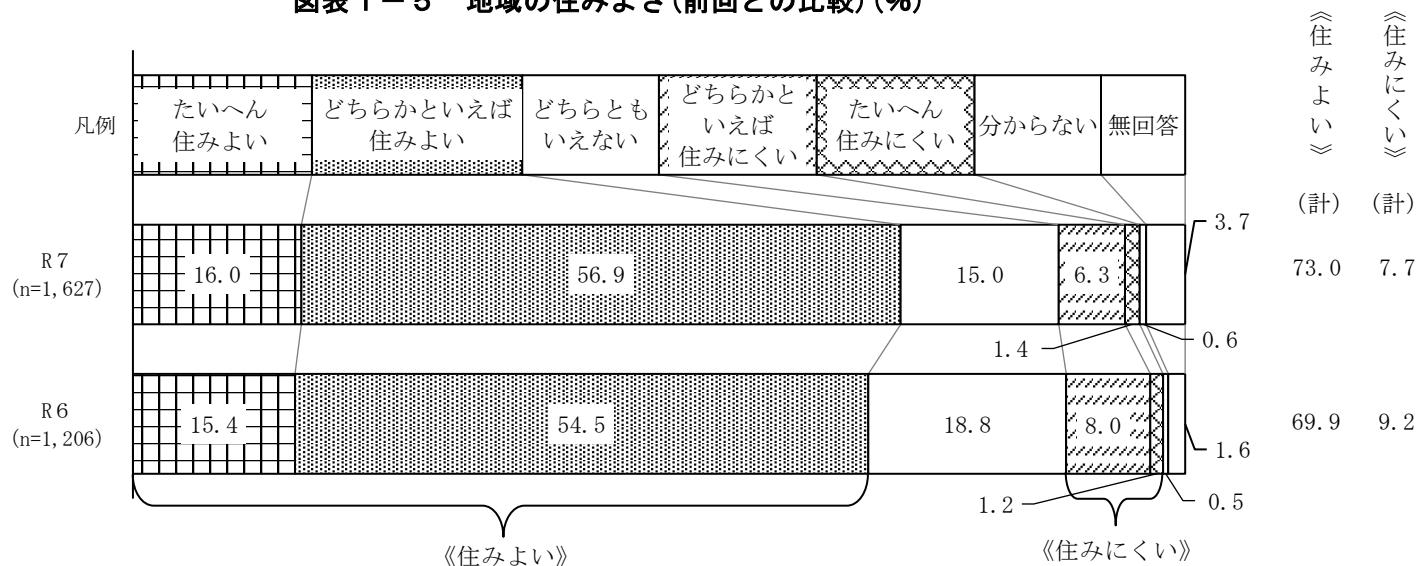
現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねた。

「たいへん住みよい」（16.0%）と「どちらかといえば住みよい」（56.9%）を合わせた《住みよい》は73.0%で、前回より3.1ポイント増（69.9%→73.0%）となった。

一方、「たいへん住みにくい」（1.4%）と「どちらかといえば住みにくい」（6.3%）を合わせた《住みにくい》は7.7%で、前回より1.5ポイント減（9.2%→7.7%）となった。

[図表1-5]

図表1-5 地域の住みよさ(前回との比較) (%)

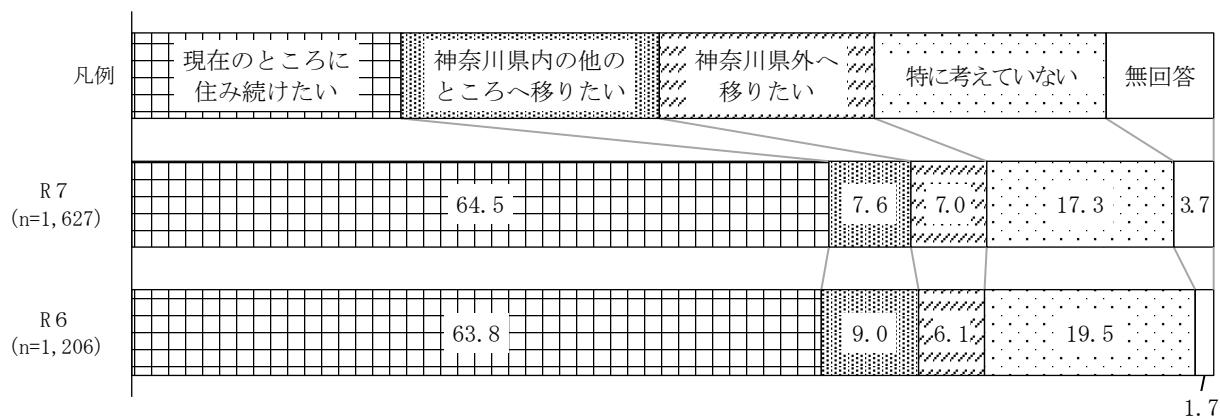


## ▼定住意向

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が64.5%で最も多く、「神奈川県外へ移りたい」は7.0%で最も少なかった。

前回と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は0.7ポイント増（63.8%→64.5%）となり、「神奈川県外へ移りたい」は0.9ポイント増（6.1%→7.0%）となった。[図表1-6]

図表1-6 定住意向(前回との比較) (%)



## 2 生活意識(問6)

県民の様々な生活意識や態度を把握するために、30の項目を提示して「そう思う」と「そう思わない」で尋ねた。

「そう思う」と「そう思わない」の上位5項目の結果を表にすると、〔図表2〕のとおりとなつた。

前回と比較すると、「そう思う」では、「育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が、0.1ポイント増(89.8%→89.9%)で、前回に続いて第1位となつた。

一方、「そう思わない」では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が、2.2ポイント増(86.6%→88.8%)で、前回に続いて第1位となつた。

**図表2 「そう思う」、「そう思わない」の上位5項目 (n=1,627)**

順位	「そう思う」 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)	順位	「そう思わない」 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)
1	育児は社会的にも重要であり、 もっと評価されるべきだ 89.9% (1位89.8%)	1	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ 88.8% (1位86.6%)
2	食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている 89.5% (新規)	2	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない 81.3% (2位82.4%) 地域社会になっている
3	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ 86.2% (3位84.6%)	3	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい 75.4% (6位72.7%)
4	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけてい る 85.8% (2位89.1%)	4	子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になつて いる 71.1% (7位72.0%)
5	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい 83.6% (4位82.9%)	5	今後10年くらいの間に、外国人にとつてもくらしやすい地域社会になつて いる 66.9% (11位64.4%)

### 3 くらしの満足度(問7)

身近な生活に関する38項目について、それぞれの「重要度」及び「満足度」を尋ねた。

なお、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》、「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせたものを《満たされている》、「ほとんど満たされていない」と「あまり満たされていない」を合わせたものを《満たされていない》と表している。

#### ▼生活重要度

《重要である》の上位10項目の結果を表にすると、〔図表3－1〕のとおりとなった。

前回と比較すると、《重要である》では、「病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が、前回に続いて第1位(95.4%)となった。

図表3－1 《重要である》の上位10項目 (n=1,627)

順位	《重要である》 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)	
1	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること	95.4% (1位94.9%)
2	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること	94.7% (2位94.5%)
3	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	93.5% (4位92.3%)
4	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	93.4% (5位91.6%)
5	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	91.7% (3位93.8%)
6	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	91.6% (7位89.4%)
7	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	90.0% (6位90.1%)
8	安全で安心な消費生活が送れること	89.9% (7位89.4%)
9	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	85.1% (9位85.7%)
10	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること	84.3% (11位82.2%)

## ▼生活満足度

《満たされている》と《満たされていない》の上位5項目の結果を表にすると、〔図表3－2〕のとおりとなった。

前回と比較すると、《満たされている》では、「通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が0.5ポイント減(51.1%→50.6%)したものの、前回に続いて第1位となった。

一方、《満たされていない》では、「地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が1.6ポイント増(39.2%→40.8%)で、前回に続いて第1位となった。

**図表3－2 《満たされている》、《満たされていない》の上位5項目 (n=1,627)**

順位	《満たされている》 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)	順位	《満たされていない》 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)
1	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと 50.6% (1位51.1%)	1	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること 40.8% (1位39.2%)
2	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること 47.8% (2位48.3%)	2	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること 33.7% (2位34.5%)
3	身近に親しめるみどりや水辺があること 47.4% (3位47.8%)	3	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること 31.8% (3位34.1%)
4	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること 45.4% (4位45.2%)	4	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること 30.6% (6位30.3%)
5	安心して利用できる公園が整備されていること 40.3% (5位41.4%)	5	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること 30.4% (4位31.6%)

#### 4 県行政への要望(問8)

県行政を進めていくうえで力を入れて取り組んでほしい分野について、30項目を挙げて尋ねたところ、上位10項目は〔図表4〕のとおりとなった。

前回と比較すると、「治安対策」は5.8ポイントの増(49.8%→55.6%)で、前回の第2位から第1位となった。また、上位10項目の中で前回と比較して増減幅が最も大きかったのも、「治安対策」となった。

図表4 県行政への要望 上位10項目(複数回答) (n=1,627)

順位	力を入れて取り組んでほしい分野 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)
1	治安対策 55.6% (2位49.8%)
2	防災対策 51.5% (1位51.6%)
3	医療体制の整備 36.0% (3位36.6%)
4	高齢者の福祉対策 31.8% (4位33.5%)
5	子育て支援 30.9% (5位32.3%)
6	地球温暖化の防止 19.6% (8位20.1%)
7	学校教育の充実 18.9% (7位20.7%)
8	道路やまちなみの整備 18.6% (9位18.5%)
9	公共交通の利便性を高める 17.9% (6位23.0%)
10	交通安全対策 16.9% (10位18.1%)

## 基本調査

# 第三部 調査結果の詳細

### 【報告書を読む際の注意】

- (注 1) 小数第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注 2) 「n」は「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注 3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注 4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注 5) 《　》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているので、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注 6) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。



## 第1章 くらし全般について【問1～問5】

### 1 生活総合満足度【問1】

#### 【全体の状況】

現在の生活全般についてどの程度満足しているか尋ねたところ、「たいへん満足している」(5.3%)と「どちらかといえば満足している」(45.5%)を合わせた《満足している》は50.9%であった。

一方、「たいへん不満である」(5.5%)と「どちらかといえば不満である」(16.1%)を合わせた《不満である》は21.6%で、《満足している》が《不満である》を29.3ポイント上回った。

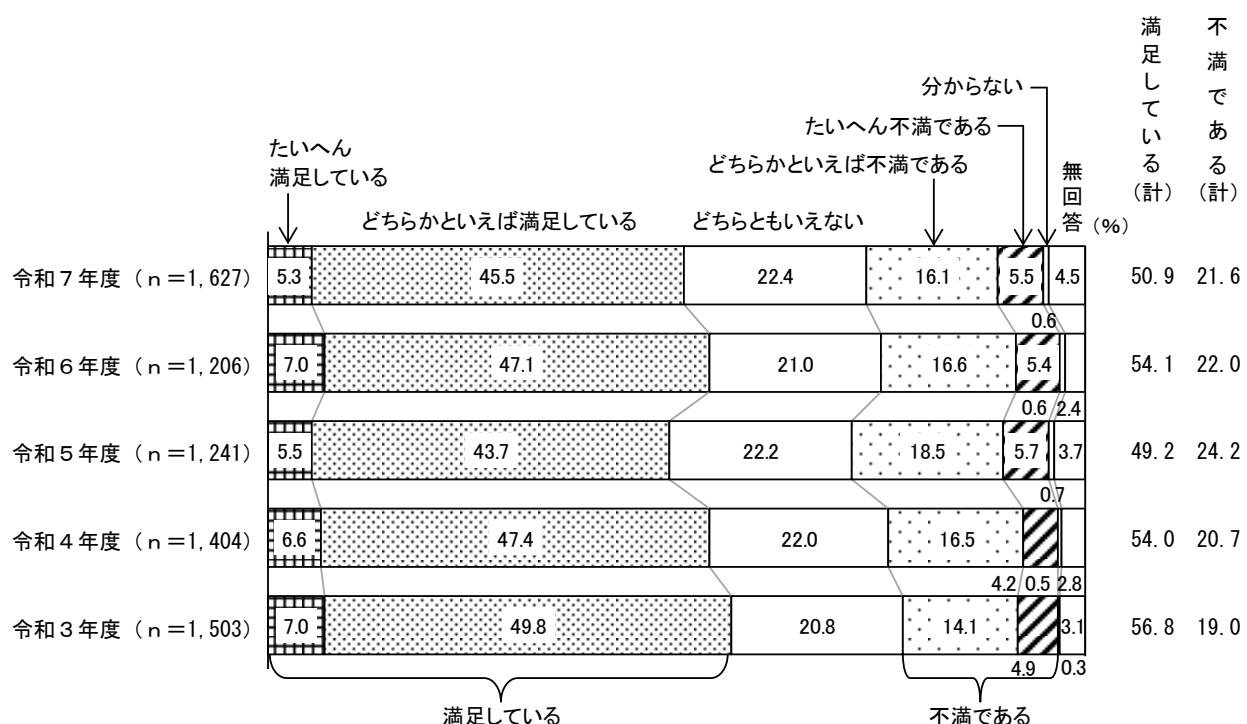
また、「どちらともいえない」は、22.4%であった。(図表1-1-1)

#### 【過去との比較】

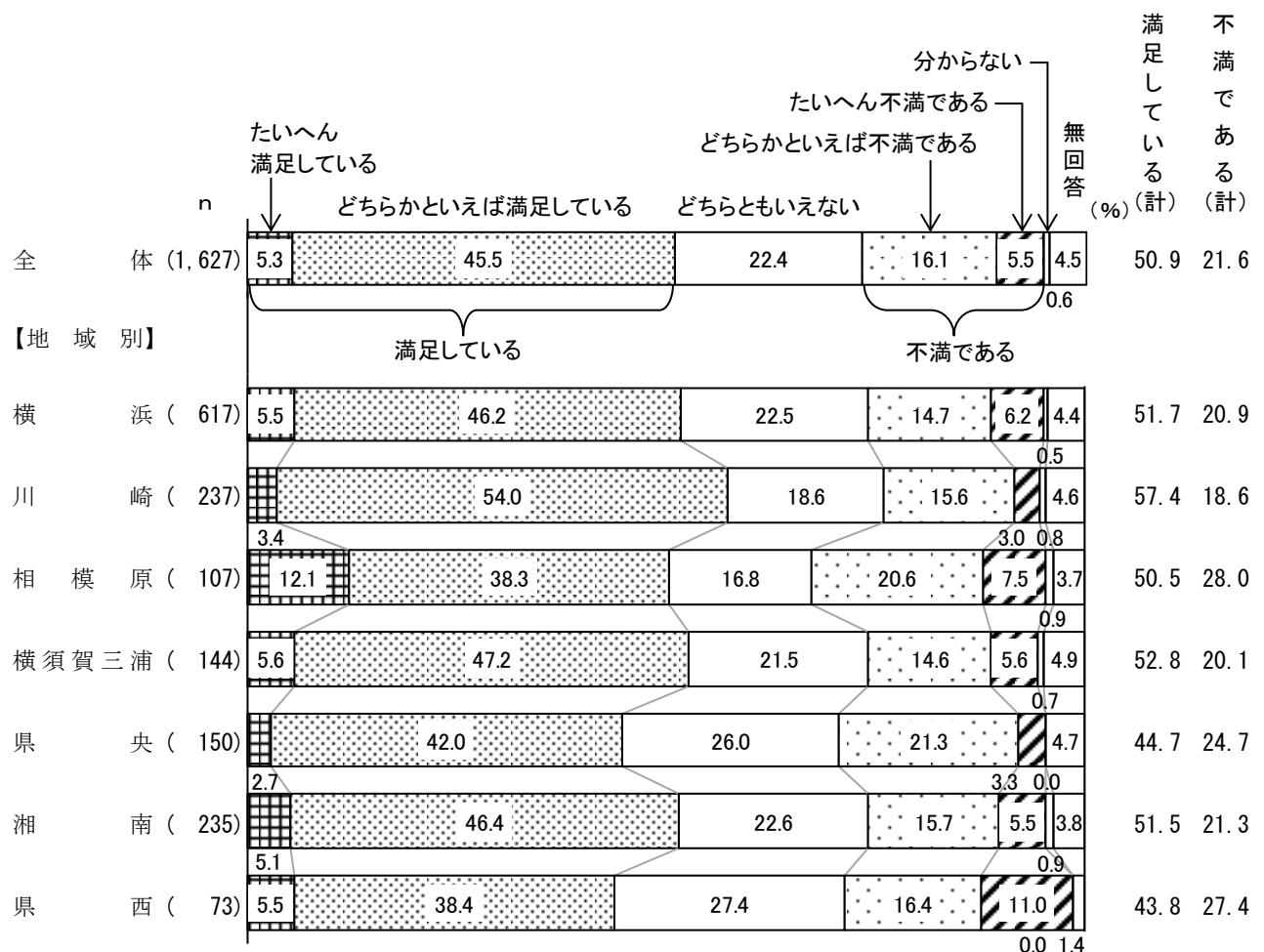
過去の調査と比較すると、《満足している》では、令和6年度は令和5年度と比べて4.9ポイント増(49.2%→54.1%)で、令和7年度は令和6年度と比べて3.2ポイント減(54.1%→50.9%)となつた。

一方、《不満である》では、令和6年度は令和5年度と比べて2.2ポイント減(24.2%→22.0%)で、令和7年度は令和6年度と比べて0.4ポイント減(22.0%→21.6%)となつた。(図表1-1-1)

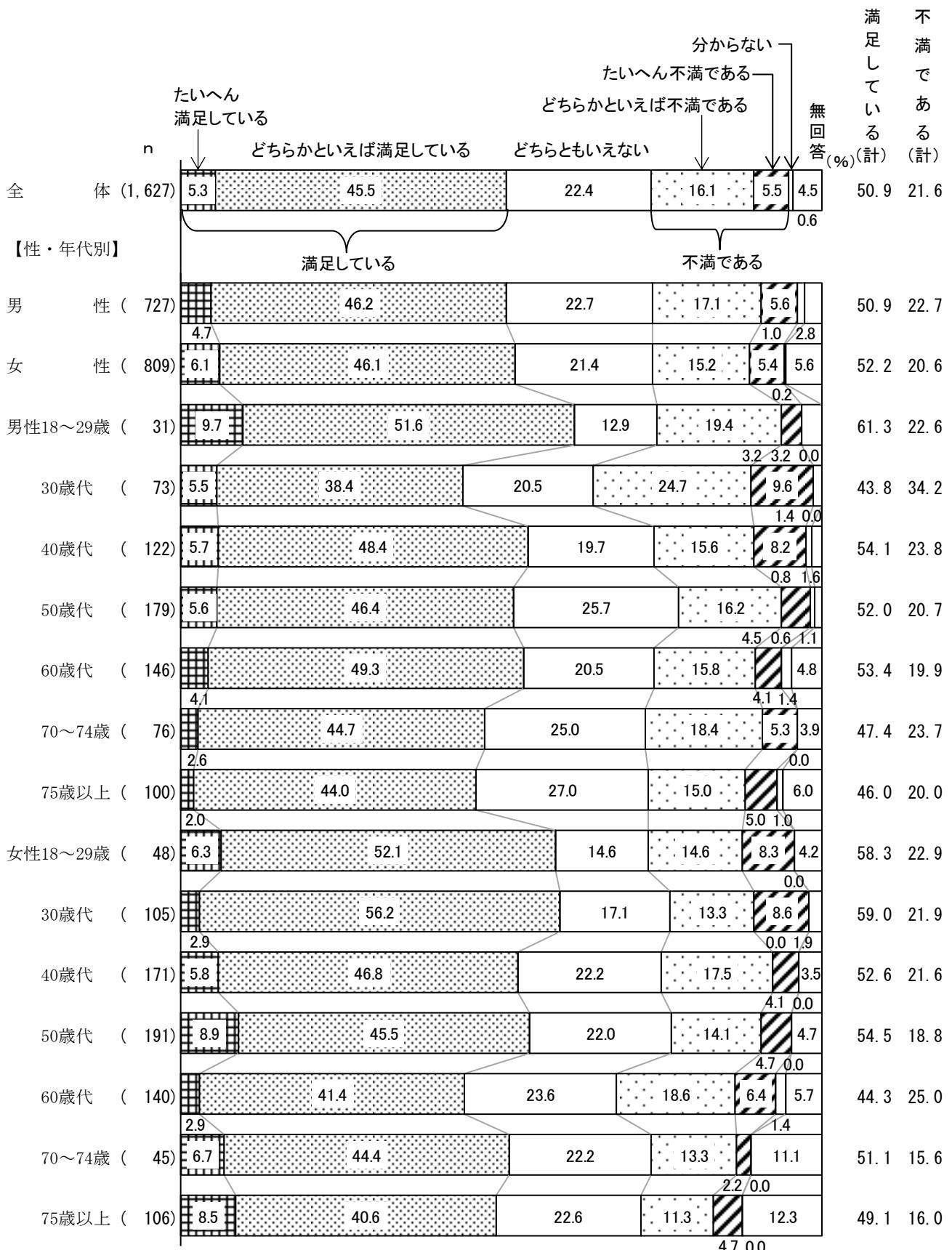
図表1-1-1 生活総合満足度一過去との比較



図表1-1-2 生活総合満足度－地域別



図表1-1-3 生活総合満足度一性・年代別



## 2 くらし向きの変化【問2～問2-1】

### 【全体の状況】

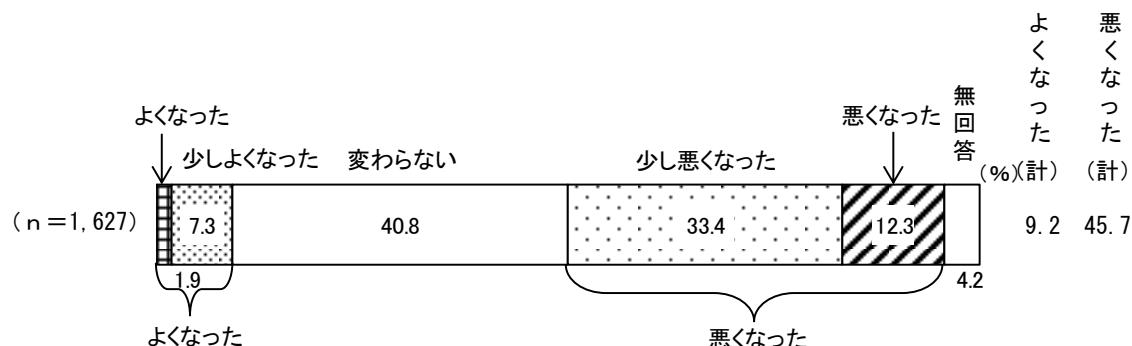
昨年の今頃と比較した現在のくらし向きの変化について尋ねたところ、「よくなつた」(1.9%)と「少しよくなつた」(7.3%)を合わせた《よくなつた》は9.2%であった。

一方、「悪くなつた」(12.3%)と「少し悪くなつた」(33.4%)を合わせた《悪くなつた》は45.7%で、《悪くなつた》が《よくなつた》を36.5ポイント上回った。

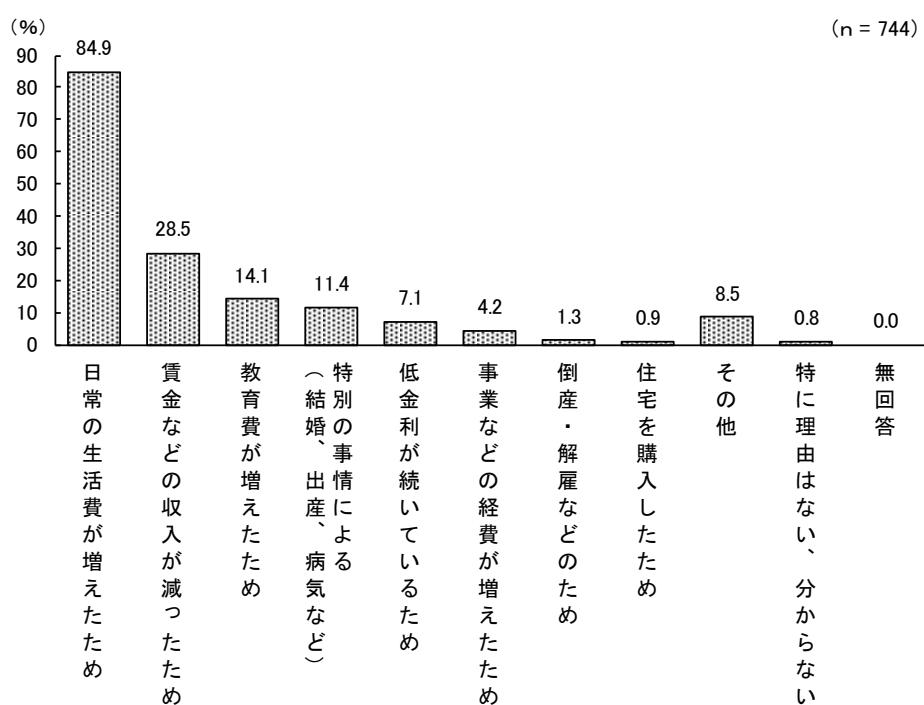
また、「変わらない」は、40.8%であった。(図表1-2-1)

くらし向きが《悪くなつた》と回答した744人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「日常の生活費が増えたため」が84.9%で最も多く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が28.5%であった。(図表1-2-2)

図表1-2-1 くらし向きの変化



図表1-2-2 くらし向きが悪くなつた理由（複数回答）

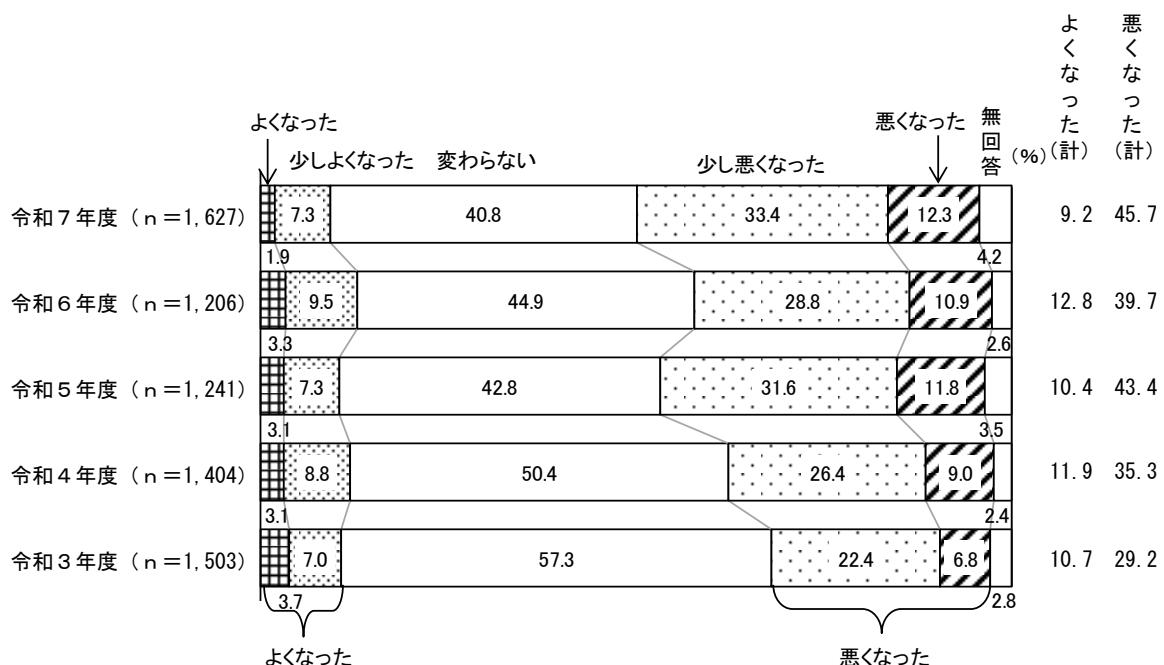


## 【過去との比較】

くらし向きの変化を過去の調査と比較すると、《よくなつた》は、令和6年度は令和5年度と比べて2.4ポイント増（10.4%→12.8%）で、令和7年度は令和6年度と比べて3.6ポイント減（12.8%→9.2%）となった。

一方、《悪くなつた》は、令和6年度は令和5年度と比べて3.7ポイント減（43.4%→39.7%）で、令和7年度は令和6年度と比べて6.0ポイント増（39.7%→45.7%）となった。（図表1-2-3）

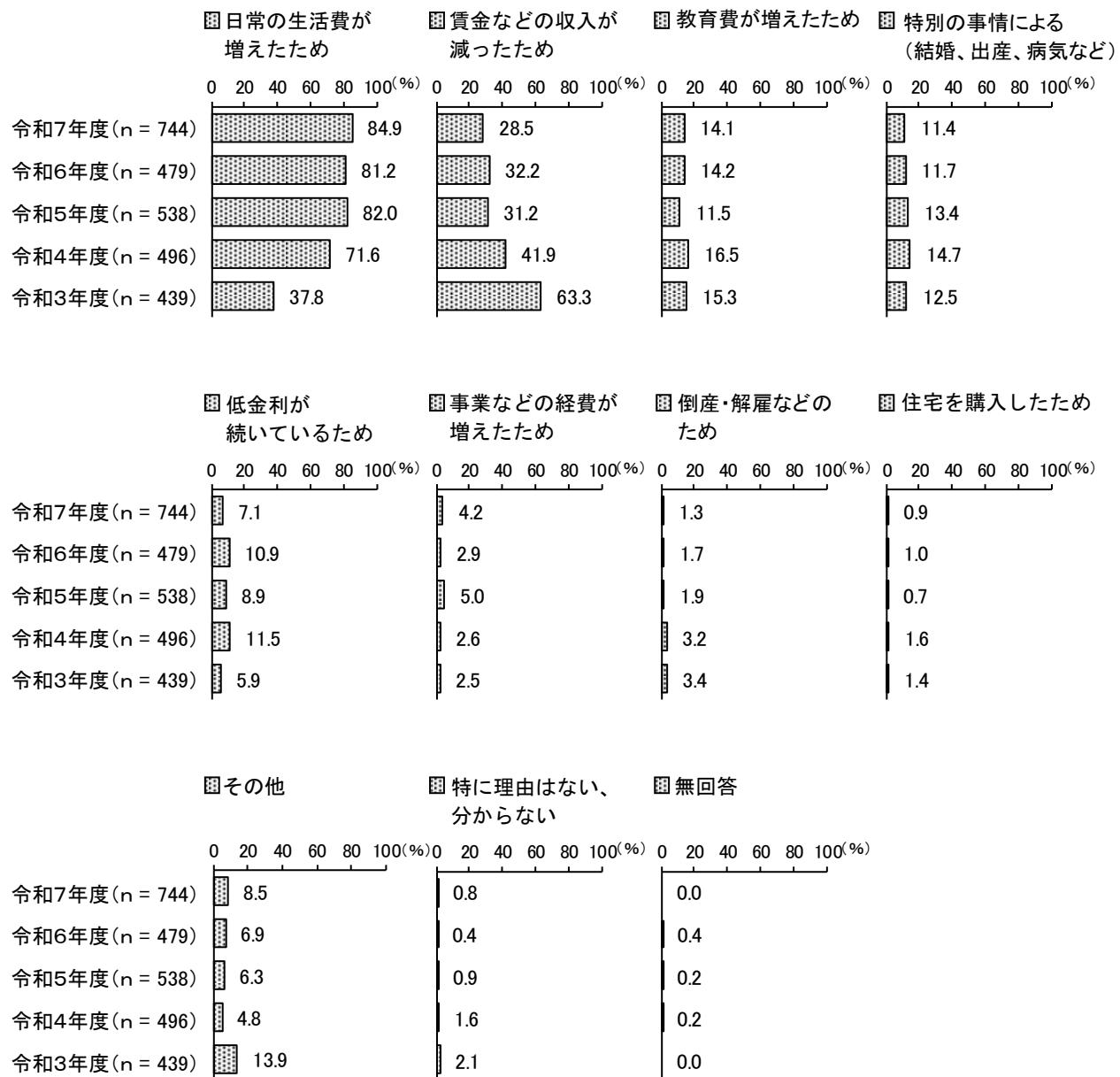
図表1-2-3 くらし向きの変化—過去との比較



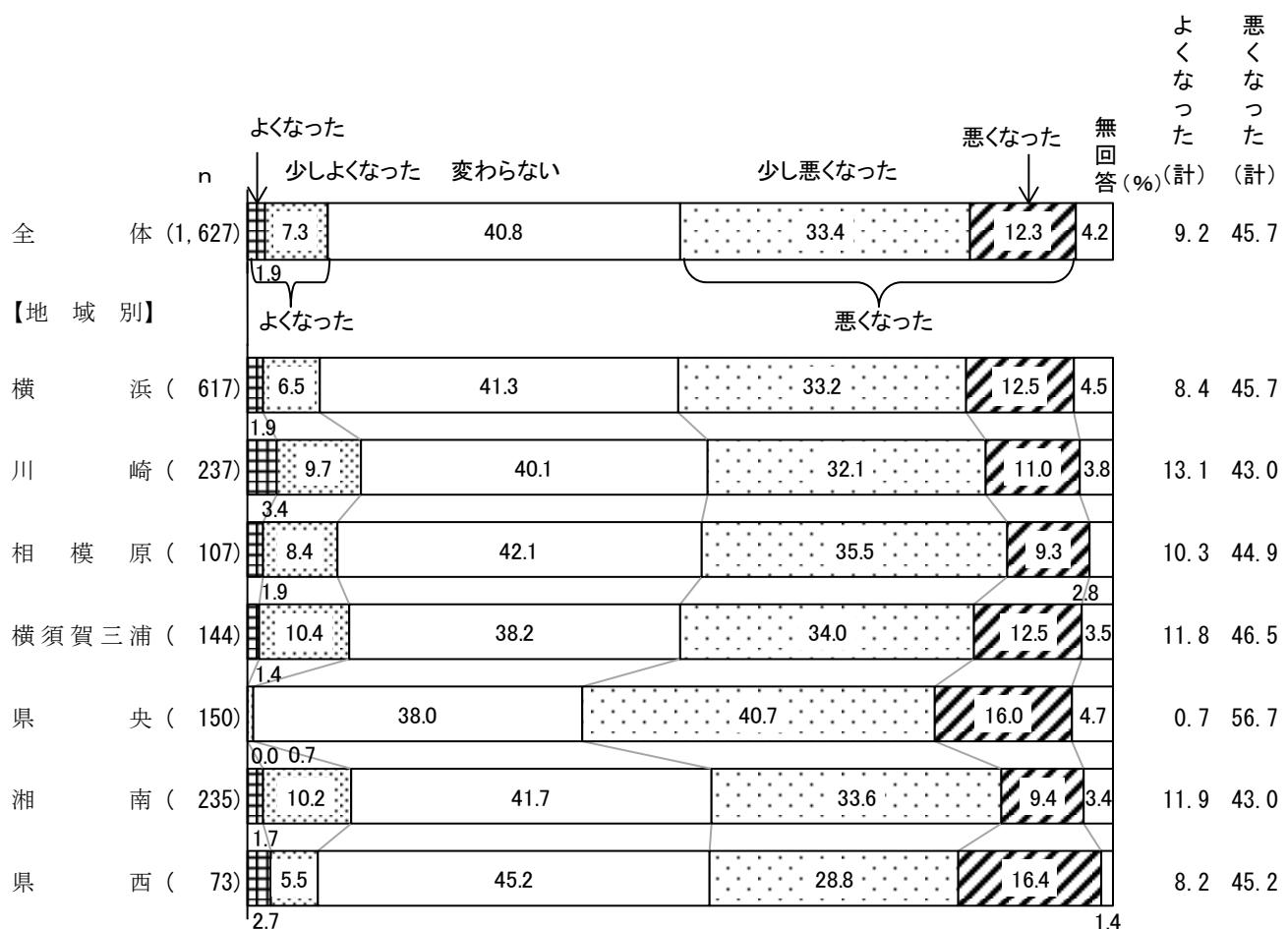
くらし向きが《悪くなった》理由を過去の調査と比較すると、「日常の生活費が増えたため」は、令和6年度と比べて3.7ポイント増（81.2%→84.9%）となり、最も増加した項目であった。

一方、「低金利が続いているため」は、令和6年度と比べて3.8ポイント減（10.9%→7.1%）となり、最も減少した項目であった。（図表1-2-4）

図表1-2-4 くらし向きが悪くなった理由（複数回答）一過去との比較



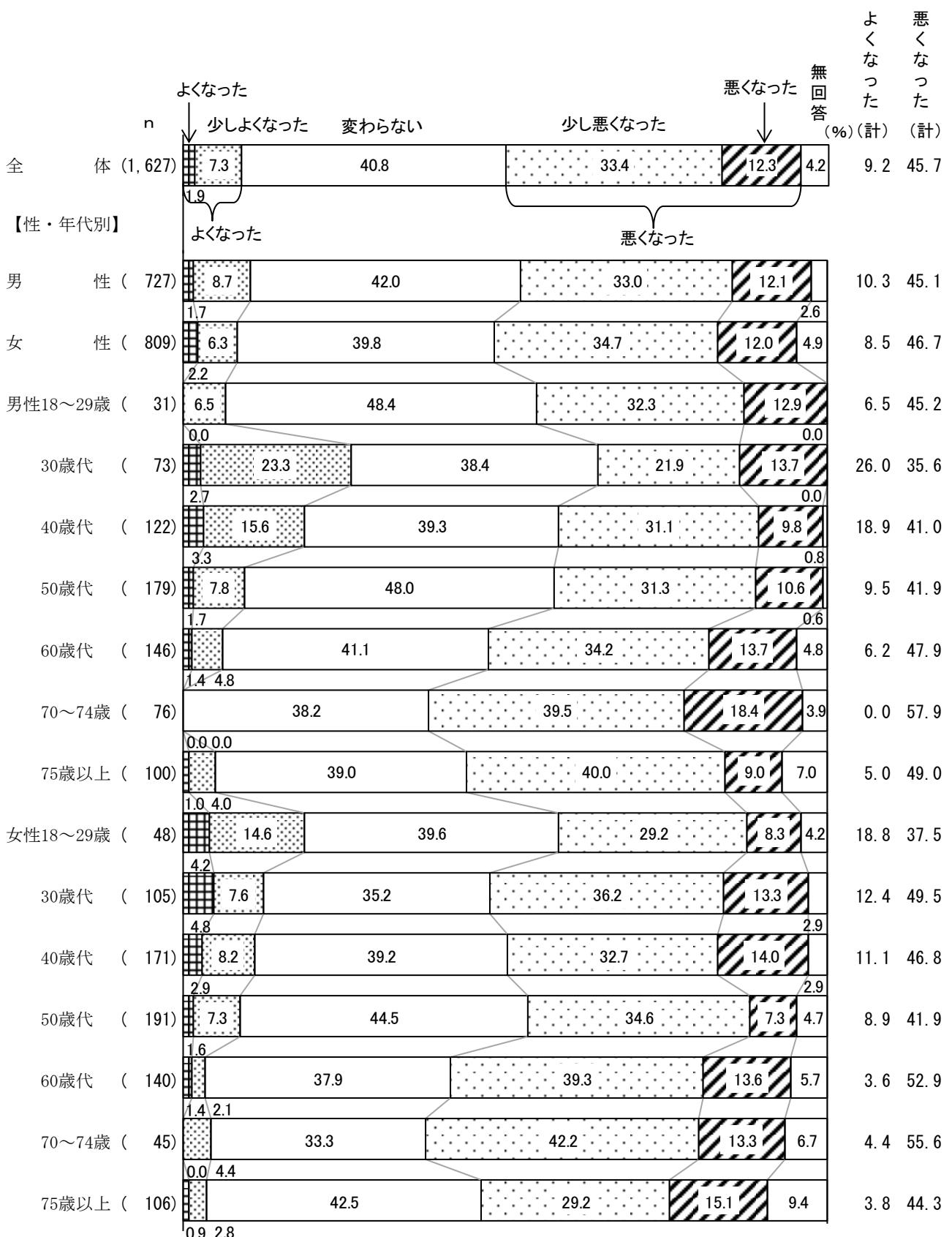
図表1-2-5 くらし向きの変化－地域別



図表1-2-6 くらし向きが悪くなった理由（複数回答）一地域別

	n	日常の生活費が増えたため	賃金などの収入が減つたため	教育費が増えたため	産特、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からぬい	無回答	(%)
全 体	744	84.9	28.5	14.1	11.4	7.1	4.2	1.3	0.9	8.5	0.8	-	
【地 域 別】													
横 浜	282	85.5	31.2	11.3	13.5	7.8	5.7	1.4	1.4	8.2	0.4	-	
川 崎	102	90.2	24.5	18.6	8.8	4.9	3.9	2.0	-	8.8	-	-	
相 模 原	48	89.6	27.1	12.5	10.4	8.3	4.2	-	-	10.4	2.1	-	
横須賀 三浦	67	86.6	22.4	22.4	11.9	6.0	1.5	-	1.5	7.5	3.0	-	
県 央	85	83.5	30.6	14.1	8.2	2.4	4.7	1.2	-	10.6	-	-	
湘 南	101	80.2	25.7	13.9	13.9	10.9	1.0	2.0	1.0	5.0	1.0	-	
県 西	33	78.8	33.3	9.1	9.1	12.1	3.0	3.0	-	9.1	3.0	-	

図表1-2-7 くらし向きの変化一性・年代別



図表1-2-8 くらし向きが悪くなった理由（複数回答）一性・年代別

	n	日常の生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	教育費が増えたため	産別（特別の事情による（結婚、出など））	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からぬい	無回答
全 体	744	84.9	28.5	14.1	11.4	7.1	4.2	1.3	0.9	8.5	0.8	-
【性・年代別】												
男 性	328	84.1	31.7	12.2	9.5	7.6	5.5	1.8	0.9	8.8	1.5	-
女 性	378	86.5	25.7	16.4	13.5	6.9	2.9	1.1	0.5	7.4	0.3	-
男性 18～29歳	14	71.4	21.4	7.1	14.3	-	-	-	-	21.4	14.3	-
30 歳 代	26	88.5	26.9	30.8	3.8	-	7.7	-	3.8	11.5	-	-
40 歳 代	50	88.0	32.0	22.0	8.0	6.0	6.0	6.0	4.0	10.0	-	-
50 歳 代	75	82.7	28.0	24.0	8.0	5.3	8.0	4.0	-	6.7	-	-
60 歳 代	70	82.9	44.3	2.9	11.4	11.4	8.6	-	-	7.1	1.4	-
70～74歳	44	93.2	36.4	-	4.5	13.6	-	-	-	6.8	2.3	-
75歳以上	49	77.6	20.4	-	16.3	8.2	2.0	-	-	10.2	2.0	-
女性 18～29歳	18	88.9	33.3	5.6	11.1	5.6	-	-	-	-	-	-
30 歳 代	52	86.5	34.6	17.3	17.3	3.8	3.8	1.9	1.9	9.6	-	-
40 歳 代	80	85.0	21.3	40.0	8.8	2.5	1.3	1.3	-	13.8	-	-
50 歳 代	80	85.0	30.0	25.0	15.0	6.3	2.5	1.3	1.3	2.5	1.3	-
60 歳 代	74	89.2	29.7	-	14.9	6.8	2.7	-	-	6.8	-	-
70～74歳	25	88.0	16.0	-	12.0	12.0	12.0	-	-	4.0	-	-
75歳以上	47	85.1	10.6	-	14.9	14.9	2.1	2.1	-	6.4	-	-

### 3 今後の暮らし向きの見通し【問3】

#### 【全体の状況】

今後の暮らし向きの見通しを尋ねたところ、「明るい」(3.0%)と「やや明るい」(8.8%)を合わせた《明るい》は11.8%であった。

一方、「暗い」(11.2%)と「やや暗い」(32.9%)を合わせた《暗い》は44.1%となり、《暗い》が《明るい》を32.3ポイント上回った。

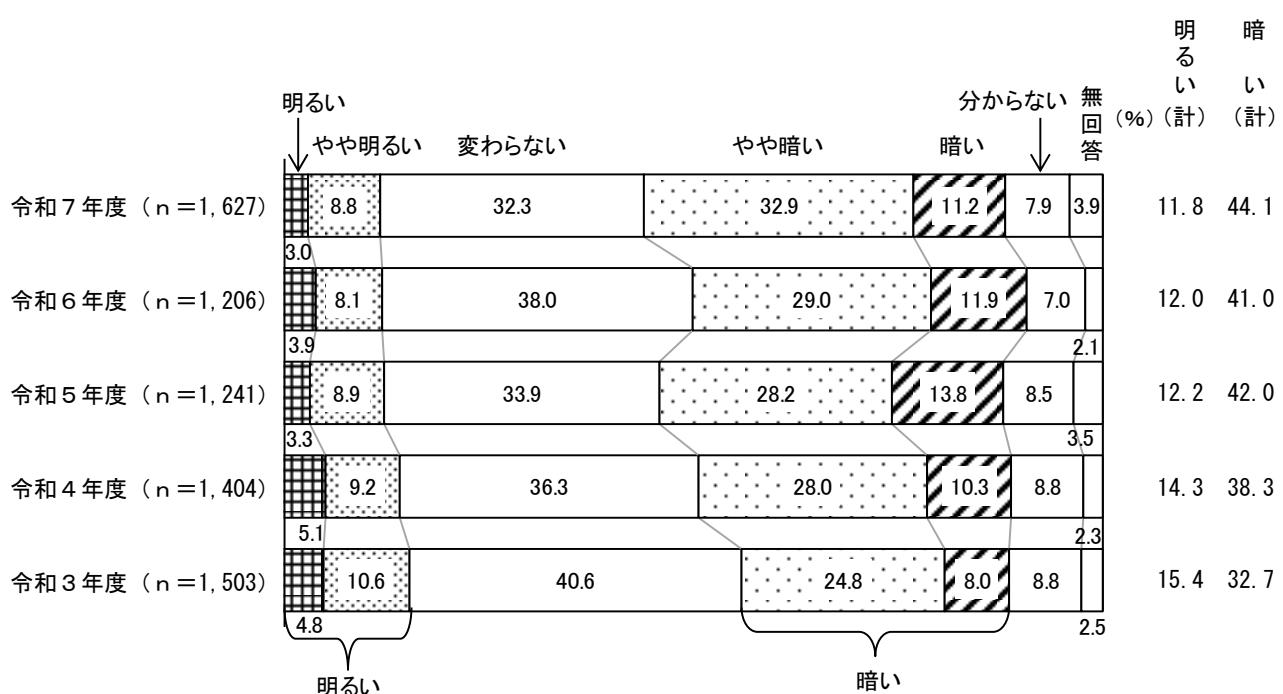
また、「変わらない」は、32.3%であった。(図表1-3-1)

#### 【過去との比較】

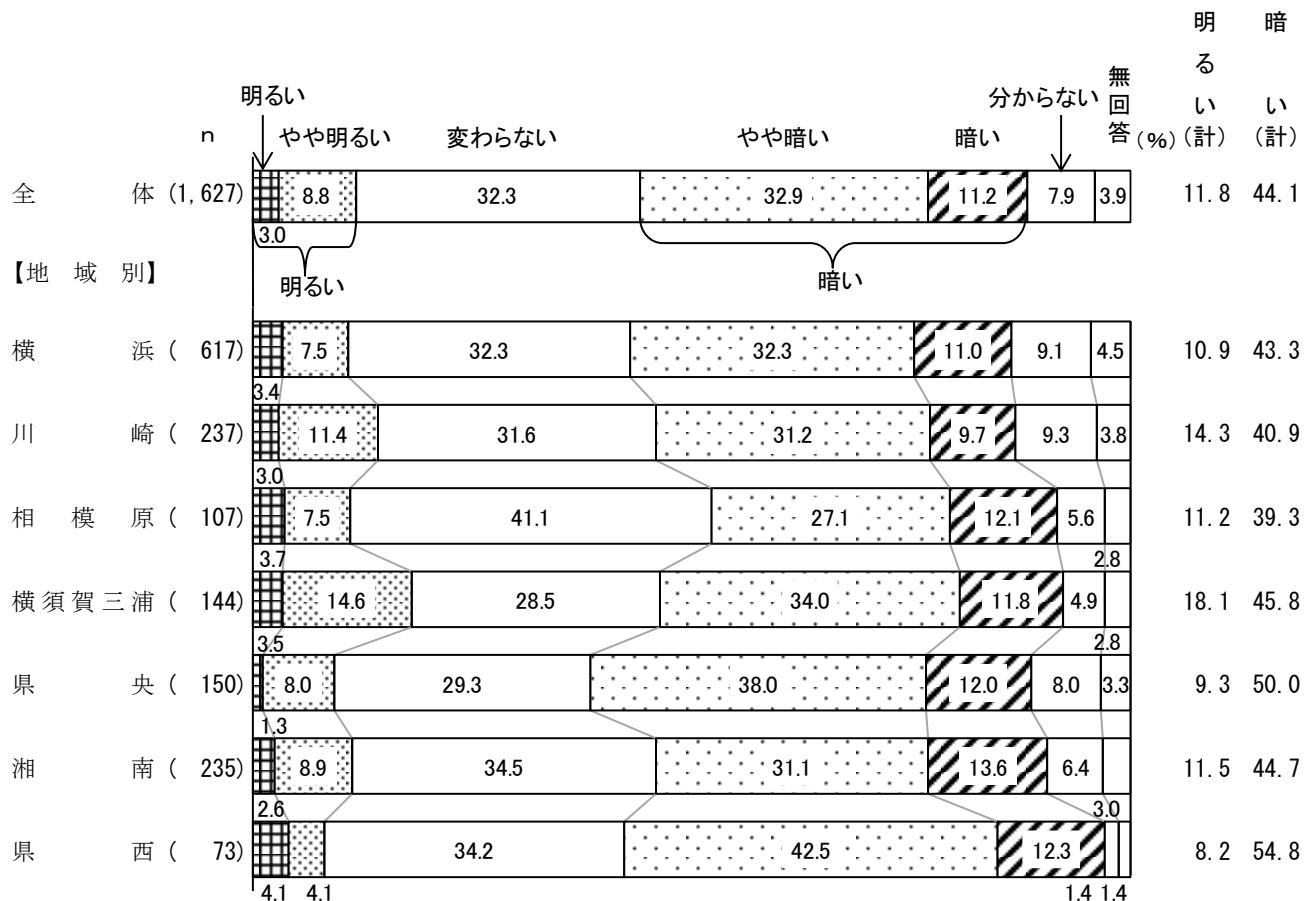
過去の調査と比較すると、《明るい》は、令和6年度は令和5年度と比べて0.2ポイント減(12.2%→12.0%)で、令和7年度は令和6年度と比べて0.2ポイント減(12.0%→11.8%)となった。

一方、《暗い》は、令和6年度は令和5年度と比べて1.0ポイント減(42.0%→41.0%)で、令和7年度は令和6年度と比べて3.1ポイント増(41.0%→44.1%)となった。(図表1-3-1)

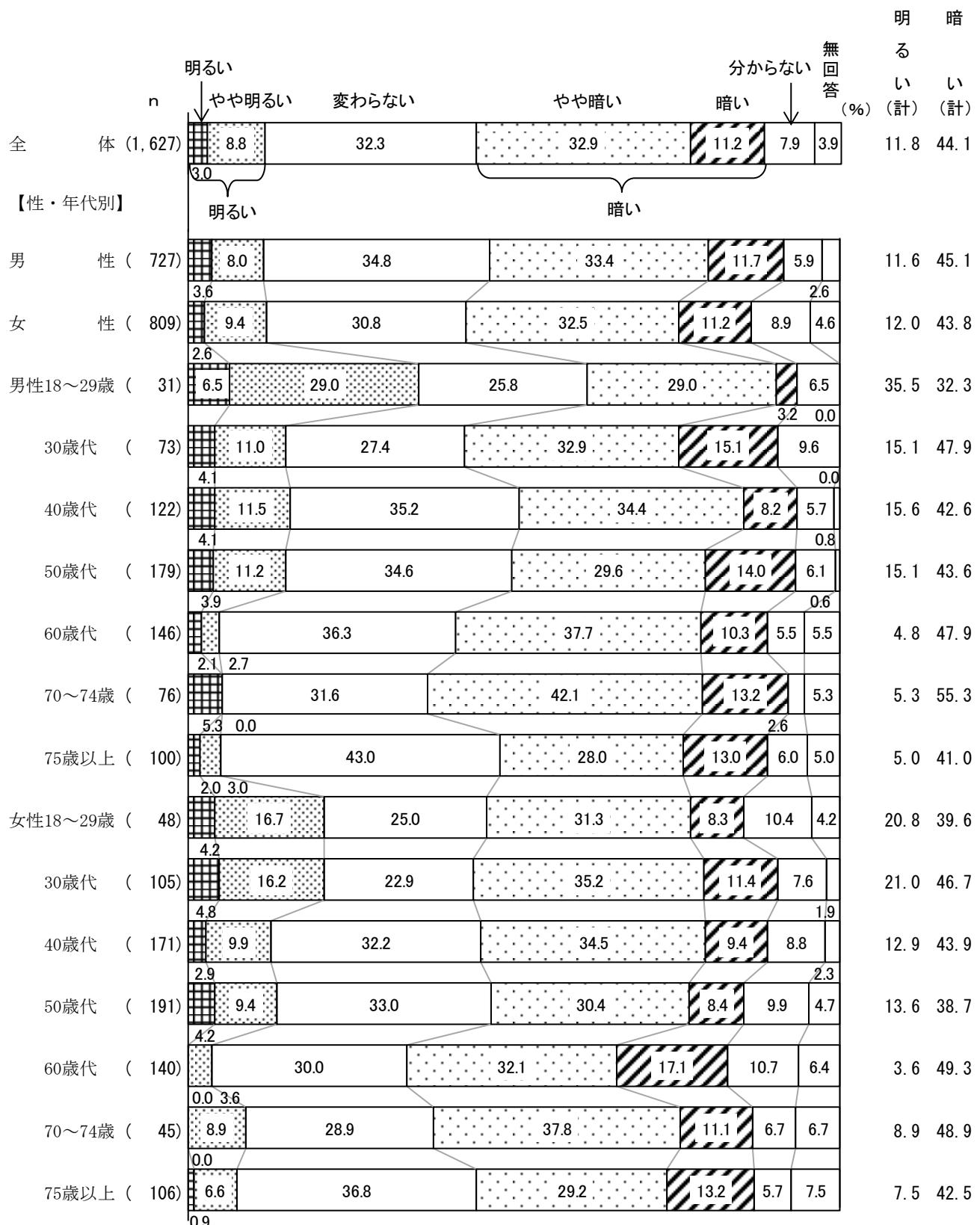
図表1-3-1 今後の暮らし向きの見通しー過去との比較



図表1-3-2 今後の暮らし向きの見通し－地域別



図表1-3-3 今後のくらし向きの見通し－性・年代別



## 4 地域の住みよさ【問4】

### 【全体の状況】

現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねたところ、「たいへん住みよい」(16.0%)と「どちらかといえば住みよい」(56.9%)を合わせた《住みよい》は73.0%であった。

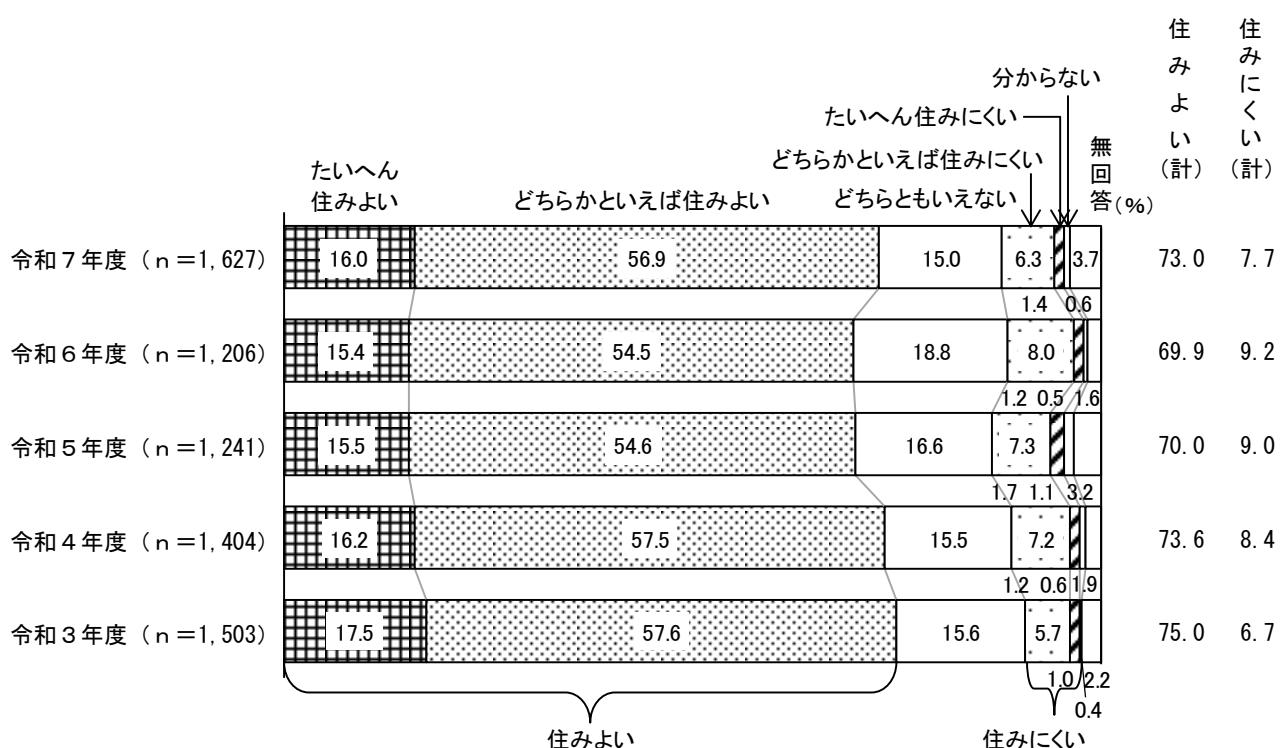
一方、「たいへん住みにくい」(1.4%)と「どちらかといえば住みにくい」(6.3%)を合わせた《住みにくい》は7.7%で、《住みよい》が《住みにくい》を65.3ポイント上回った。(図表1-4-1)

### 【過去との比較】

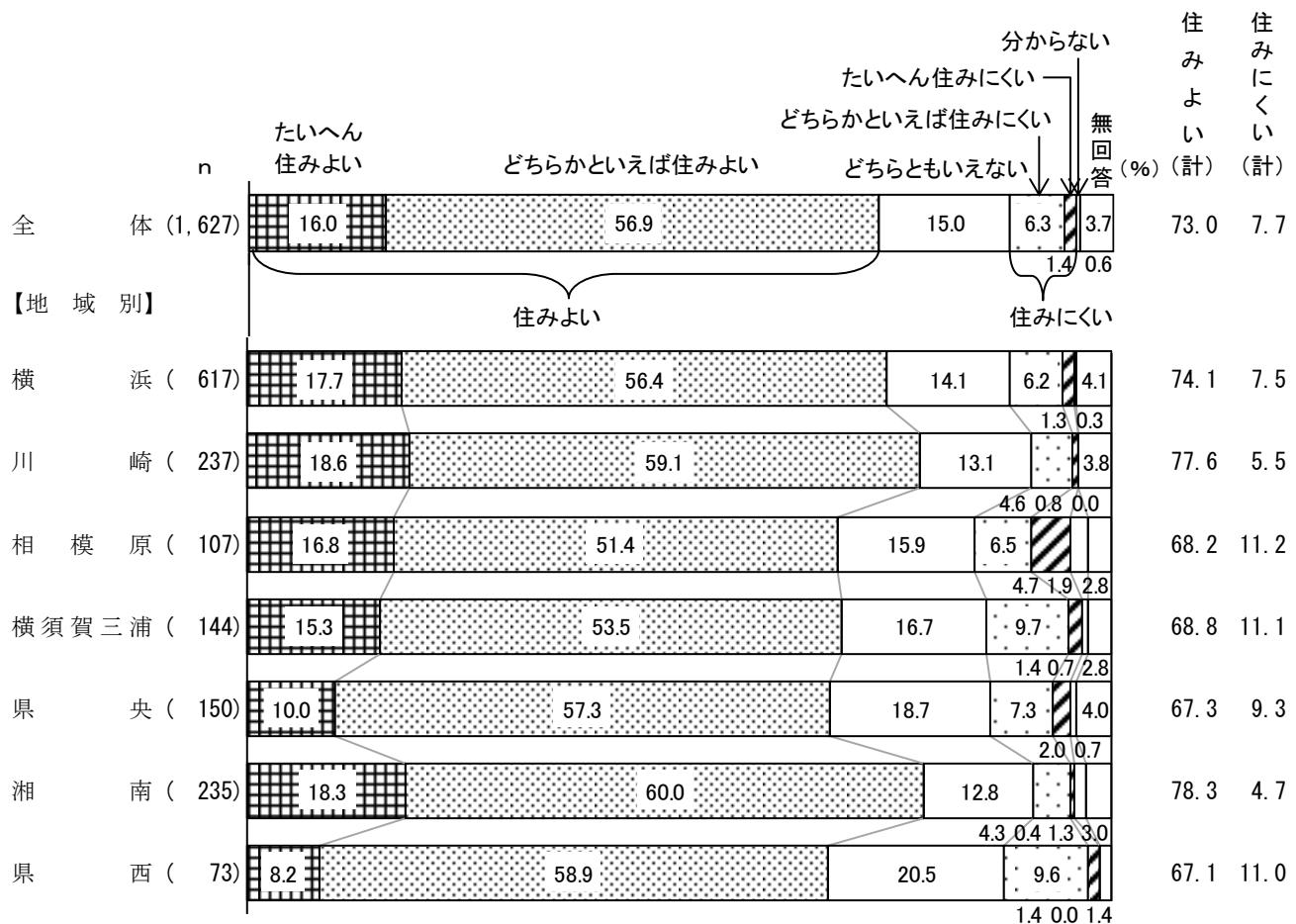
過去の調査と比較すると、《住みよい》は、令和6年度は令和5年度と比べて0.1ポイント減(70.0%→69.9%)で、令和7年度は令和6年度と比べて3.1ポイント増(69.9%→73.0%)となった。

一方、《住みにくい》は、令和6年度は令和5年度と比べて0.2ポイント増(9.0%→9.2%)で、令和7年度は令和6年度と比べて1.5ポイント減(9.2%→7.7%)となった。(図表1-4-1)

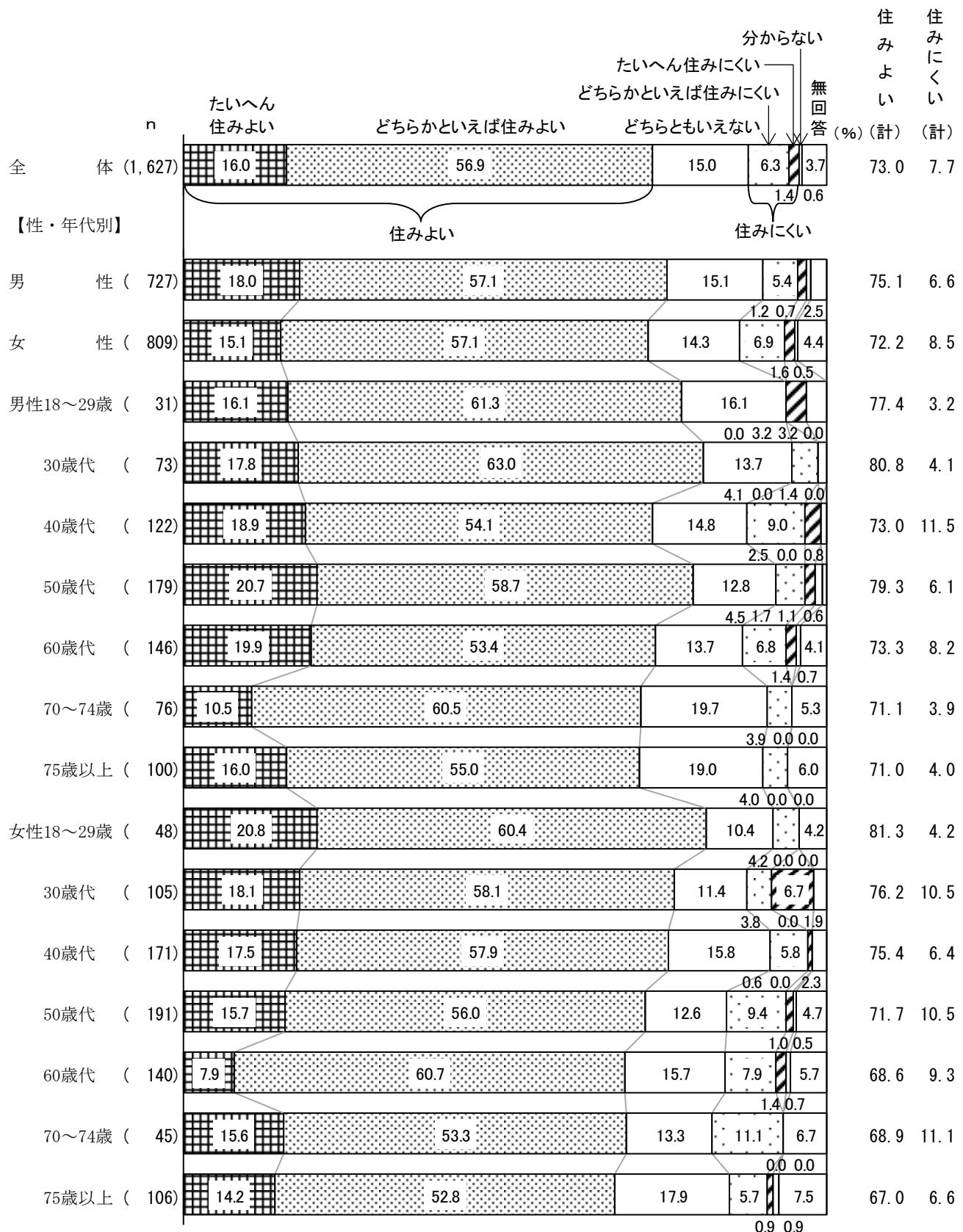
図表1-4-1 地域の住みよさー過去との比較



図表1-4-2 地域の住みよさ－地域別



図表1-4-3 地域の住みよさ一性・年代別



## 5 定住意向【問5】

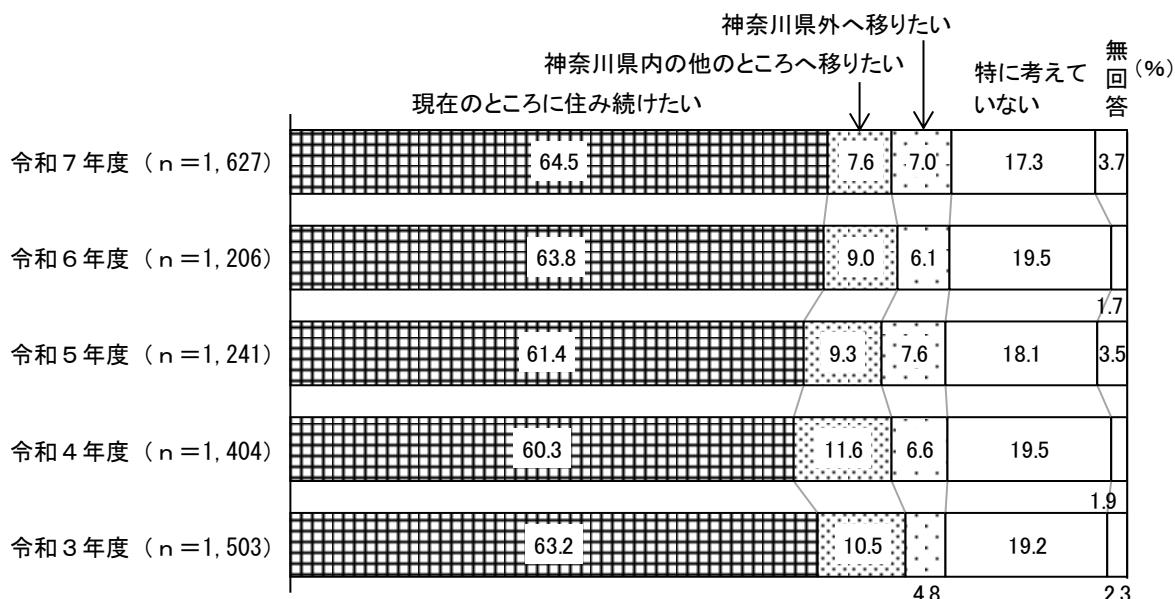
### 【全体の状況】

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が64.5%で最も多かった。また、「神奈川県外へ移りたい」は、7.0%であった。(図表1-5-1)

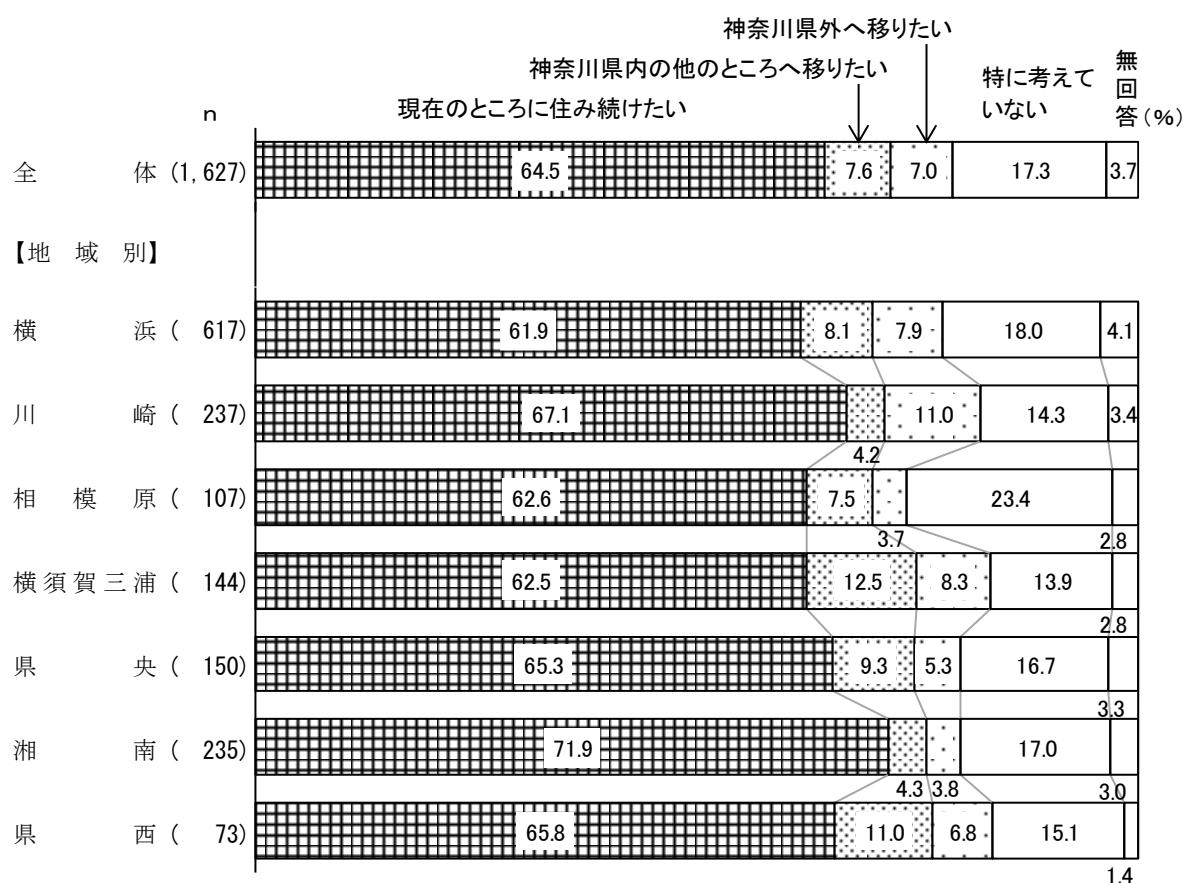
### 【過去との比較】

過去の調査と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は、令和6年度は令和5年度と比べて2.4ポイント増（61.4%→63.8%）で、令和7年度は令和6年度と比べて0.7ポイント増（63.8%→64.5%）となった。(図表1-5-1)

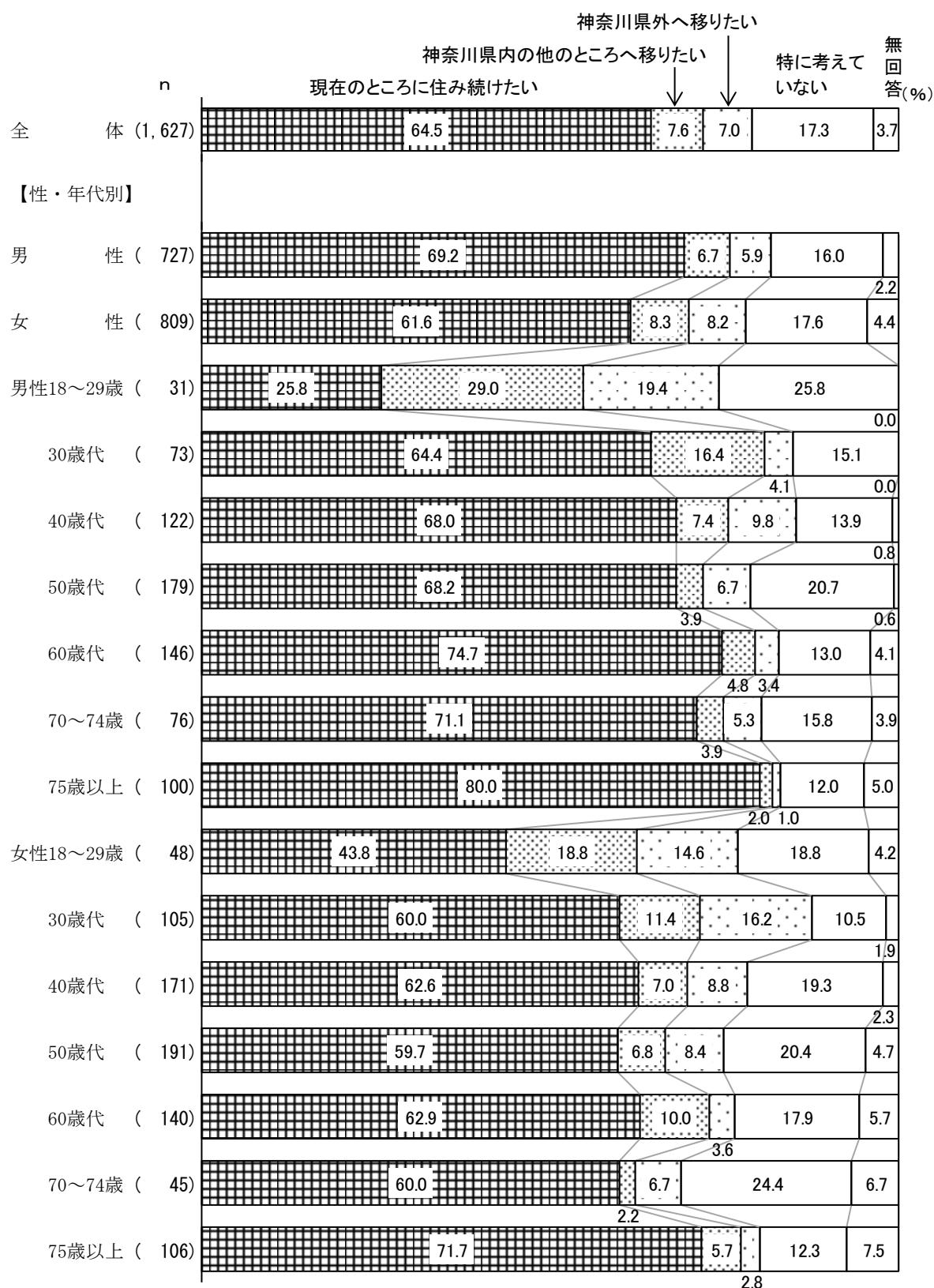
図表1-5-1 定住意向－過去との比較



図表1-5-2 定住意向－地域別



図表1-5-3 定住意向一性・年代別



## 第2章 生活意識【問6】

### 【全体の状況】

県民の様々な生活意識を把握するために、30項目を提示して「そう思う」と「そう思わない」で尋ねた。

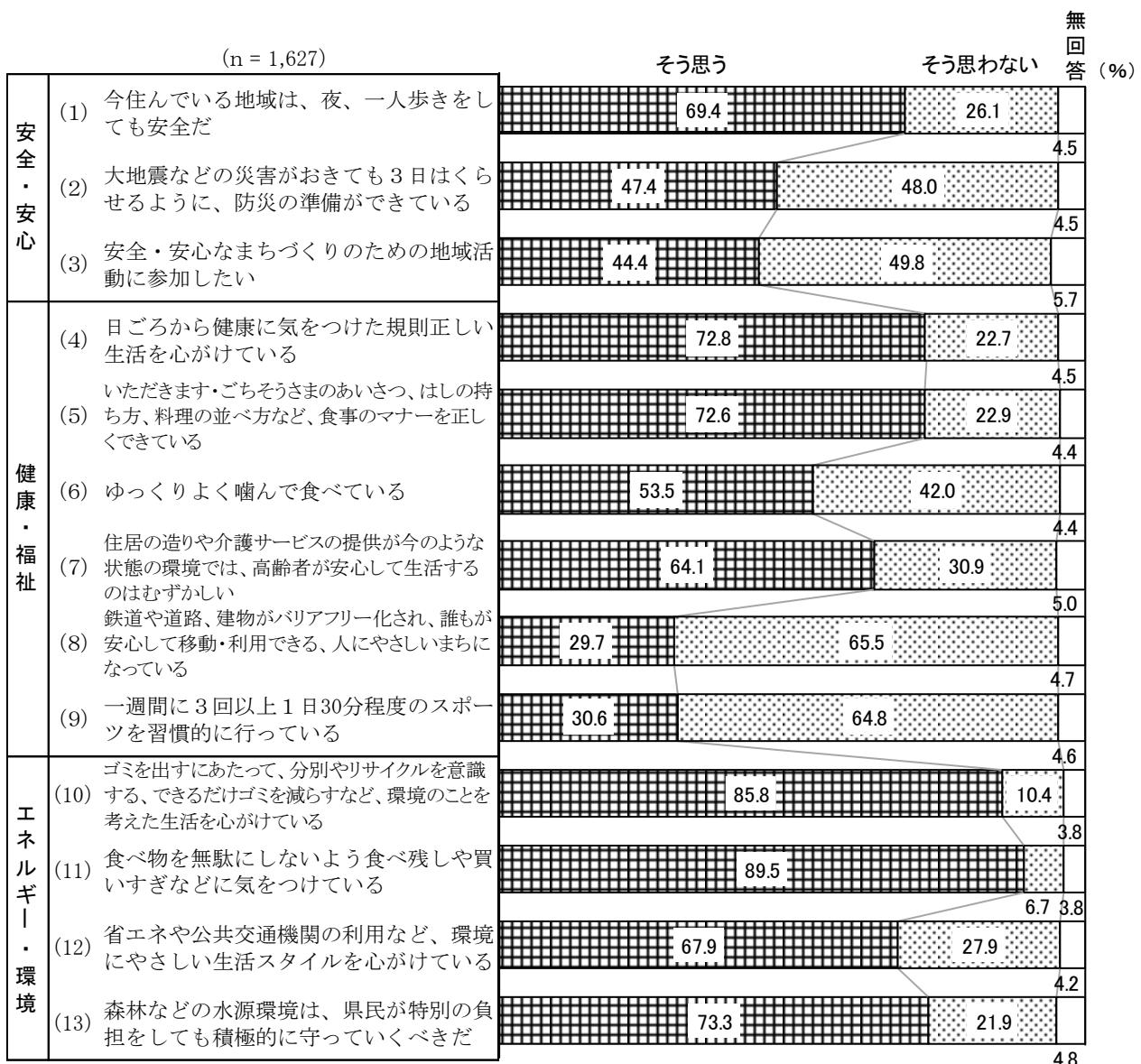
「そう思う」では、「(22)育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が89.9%で最も多く、次いで「(11)食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている」が89.5%であった。

以下、「(27)神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ」(86.2%)、「(10)ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている」(85.8%)、「(26)県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい」(83.6%)が続いた。

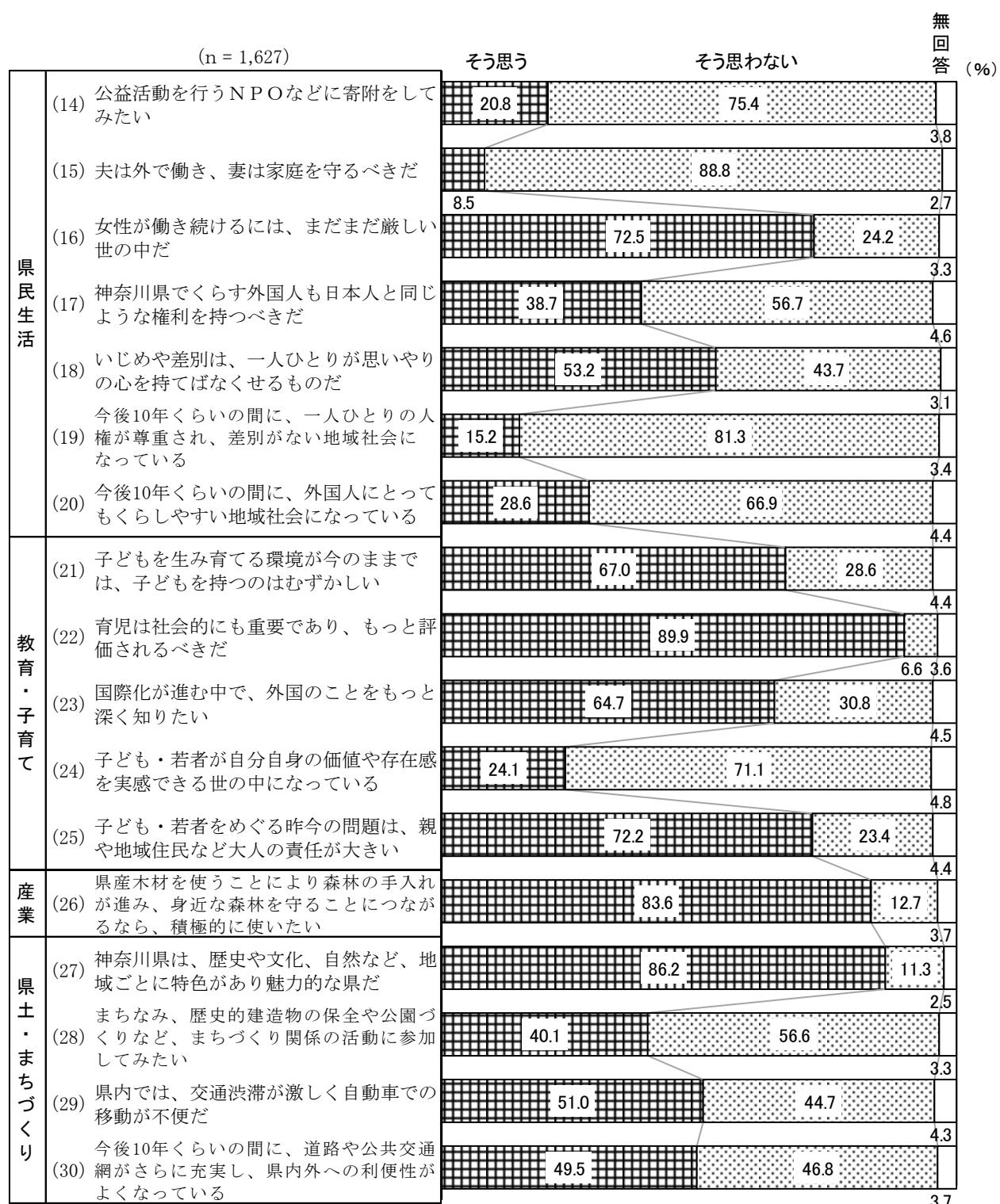
「そう思わない」では、「(15)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が88.8%で最も多かった。

(図表2)

図表2 生活意識



図表2 生活意識（つづき）



## 【過去との比較】

「そう思う」の上位10項目について過去の調査と比較すると、前回調査と同様に「(22)育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が第1位、新規項目の「(11)食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている」が第2位、「(27)神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ」が前回調査と同様に第3位となった。(図表2(1))

図表2(1) 生活意識「そう思う」の上位10項目—過去との比較

	令和3年度(n = 1,503)	令和4年度(n = 1,404)	令和5年度(n = 1,241)	令和6年度(n = 1,206)	令和7年度(n = 1,627)
1位	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている(93.5%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている(93.7%)	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている(89.4%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ(89.8%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ(89.9%)
2位	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ(92.2%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ(92.3%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ(86.4%)	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている(89.1%)	食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている(89.5%)
3位	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ(91.0%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ(90.7%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ(83.7%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ(84.6%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ(86.2%)
4位	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ(84.8%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ(86.8%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい(82.1%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい(82.9%)	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている(85.8%)
5位	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい(83.6%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい(86.4%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ(77.3%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ(77.1%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい(83.6%)
6位	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ(76.4%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ(78.6%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている(75.0%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている(76.5%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守つていくべきだ(73.3%)
7位	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守つていくべきだ(74.7%)	県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある(74.3%)	県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある(74.5%)	子ども・若者をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい(71.6%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている(72.8%)
8位	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている(73.4%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている(74.1%)	若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている(72.4%)	省エネや公共交通機関の利用など、環境にやさしい生活スタイルを心がけている(71.5%)	いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など、食事のマナーを正しくできている(72.6%)
9位	住居の造りや介護サービスの提供が今のような状態の環境では、高齢者が安心して生活するのは難しい(71.3%)	若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている(73.8%)	省エネや公共交通機関の利用など、環境にやさしい生活スタイルを心がけている(72.1%)	今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ(72.5%)
10位	国際化が進む中で、外のことともっと深く知りたい(71.3%)	国際化が進む中で、外のことともっと深く知りたい(73.2%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守つていくべきだ(70.4%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守つていくべきだ(69.3%)	子ども・若者をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい(72.2%)

※「環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている」、「介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」は令和5年度より削除  
「ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている」、「省エネや公共交通機関の利用など、環境にやさしい生活スタイルを心がけている」は令和5年度より追加

「県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある」、「若者の『ひきこもり』など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている」は令和6年度より削除

「子ども・若者をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい」は令和6年度より追加

「いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など、食事のマナーを正しくできている」、「食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている」は令和7年度より追加

「そう思わない」の上位10項目について過去の調査と比較すると、前回調査と同様に「(15)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が第1位、「(19)今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている」が第2位、前回調査で第6位の「(14)公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい」が第3位となった。(図表2(2))

図表2(2) 生活意識「そう思わない」の上位10項目—過去との比較

	令和3年度(n = 1,503)	令和4年度(n = 1,404)	令和5年度(n = 1,241)	令和6年度(n = 1,206)	令和7年度(n = 1,627)
1位	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (86.1%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (88.0%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (87.7%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (86.6%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (88.8%)
2位	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている(80.7%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている(81.6%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている(80.9%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている(82.4%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている(81.3%)
3位	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている(79.5%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている(81.5%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている(79.9%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、子ども・若者の健やかな成長に責任を持つようになっている(79.6%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい (75.4%)
4位	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている(76.5%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている(75.9%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている(76.6%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている(77.8%)	子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている(71.1%)
5位	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている(75.2%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている(75.5%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている(74.6%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている(75.0%)	今後10年くらいの間に、外国人にとってくらしやすい地域社会になっている(66.9%)
6位	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい(70.6%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい(71.9%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい(73.9%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい(72.7%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている(65.5%)
7位	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている(69.1%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている(69.5%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている(68.3%)	子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中にになっている(72.0%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている(64.8%)
8位	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている(68.2%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている(67.8%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行フリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている(66.1%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている(69.7%)	神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ(56.7%)
9位	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行フリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている(67.3%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行フリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている(67.6%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている(63.7%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行フリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている(67.0%)	まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい(56.6%)
10位	今後10年くらいの間に、外国人にとってくらしやすい地域社会になっている(65.0%)	今後10年くらいの間に、外国人にとってくらしやすい地域社会になっている(64.0%)	今後10年くらいの間に、外国人にとってくらしやすい地域社会になっている(63.6%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている(66.2%)	安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい(49.8%)

※「今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている」は令和6年度より削除

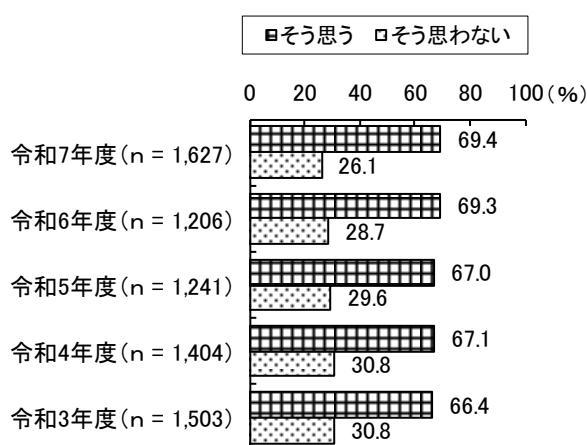
「今後10年くらいの間に、地域の大人が、子ども・若者の健やかな成長に責任を持つようになっている」

「子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている」は令和6年度より追加

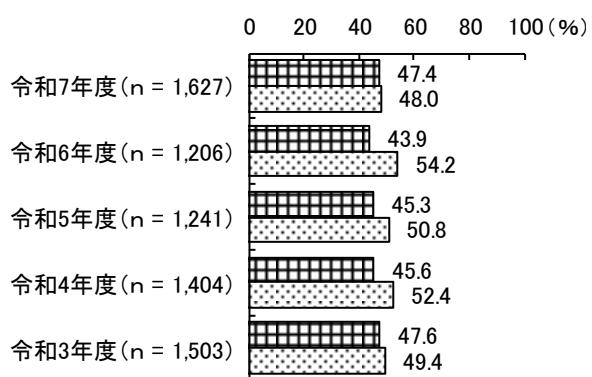
「教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている」、「今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行フリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている」、「今後10年くらいの間に、地域の大人が、子ども・若者の健やかな成長に責任を持つようになっている」、「今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている」は令和7年度より削除

図表2(3) 生活意識（過去との比較）

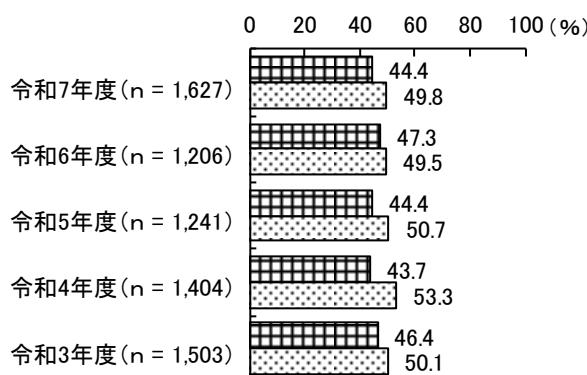
(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ



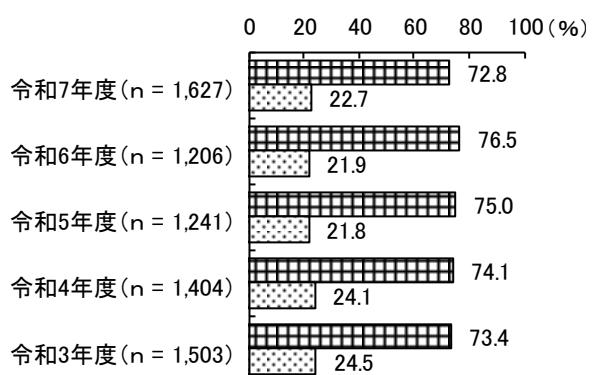
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせる  
ように、防災の準備ができている



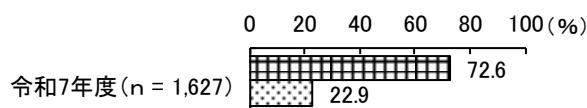
(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加  
したい



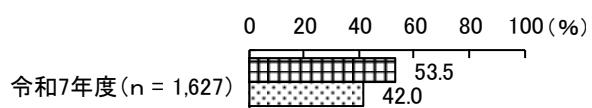
(4) 日ごろから健康に気をつけた  
規則正しい生活を心がけている



(5) いただきます・ごちそうさまのあいさつ、  
はしの持ち方、料理の並べ方など、  
食事のマナーを正しくできている



(6) ゆっくりよく噛んで食べている

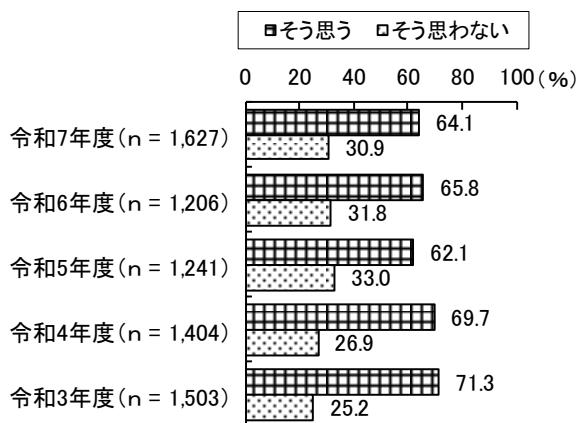


(注)令和7年度から追加された項目である

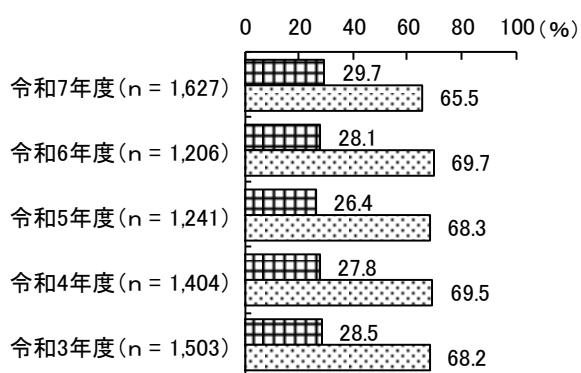
(注)令和7年度から追加された項目である

図表2(3) 生活意識（過去との比較）(つづき)

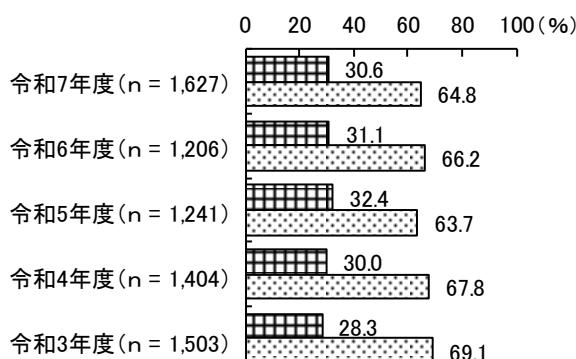
(7) 住居の造りや介護サービスの提供が  
今のような状態の環境では、  
高齢者が安心して生活するのはむずかしい



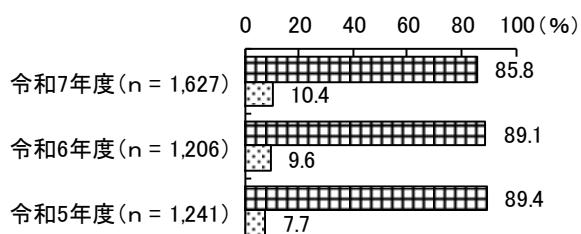
(8) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、  
誰もが安心して移動・利用できる、  
人にやさしいまちになっている



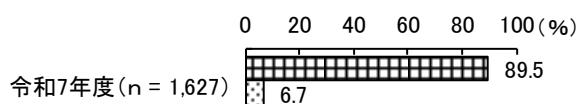
(9) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを  
習慣的に行っている



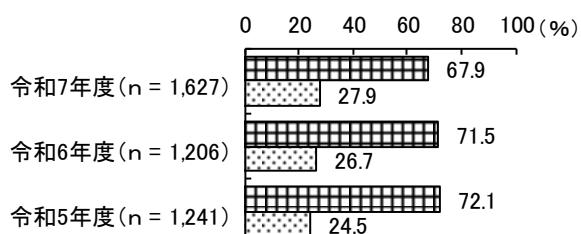
(10) ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを  
意識する、できるだけゴミを減らすなど、  
環境のことを考えた生活を心がけている



(11) 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや  
買いすぎなどに気をつけている



(12) 省エネや公共交通機関の利用など、  
環境にやさしい生活スタイルを心がけている

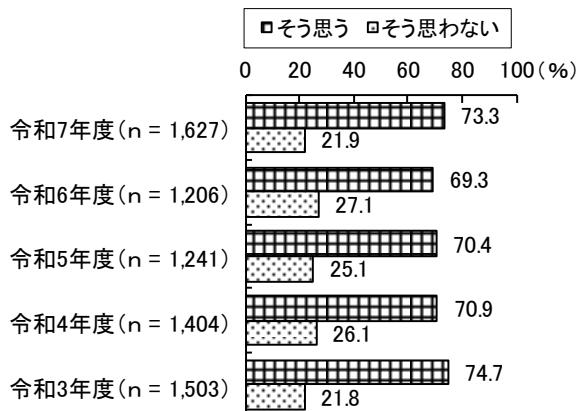


(注)令和7年度から追加された項目である

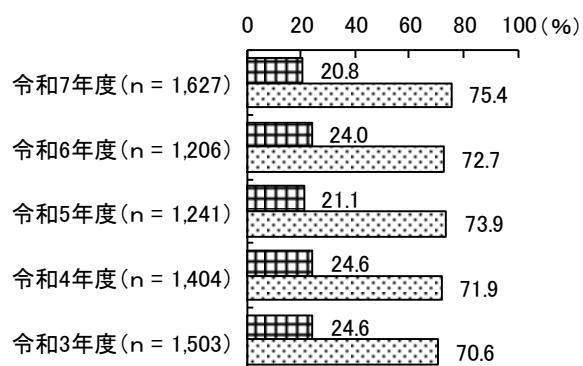
(注)令和5年度から追加された項目である

図表2(3) 生活意識（過去との比較）(つづき)

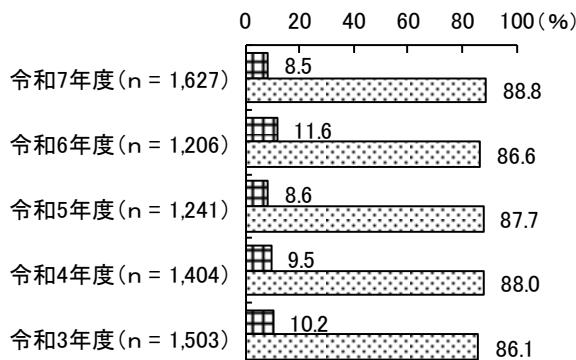
(13) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ



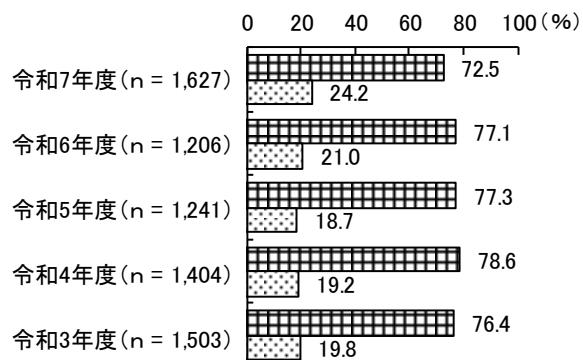
(14) 公益活動を行うN P Oなどに寄附をしてみたい



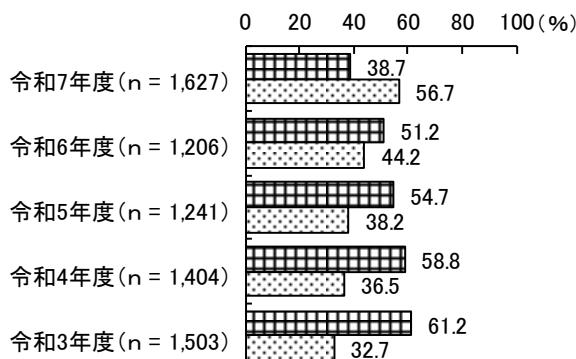
(15) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



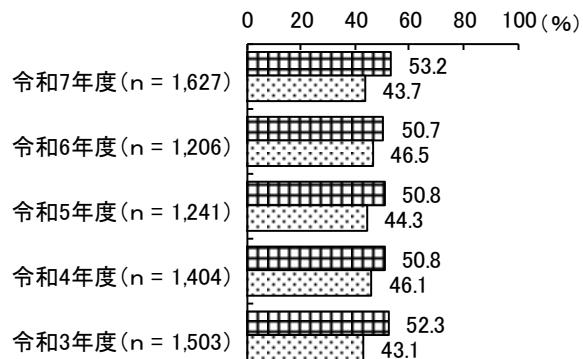
(16) 女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ



(17) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ

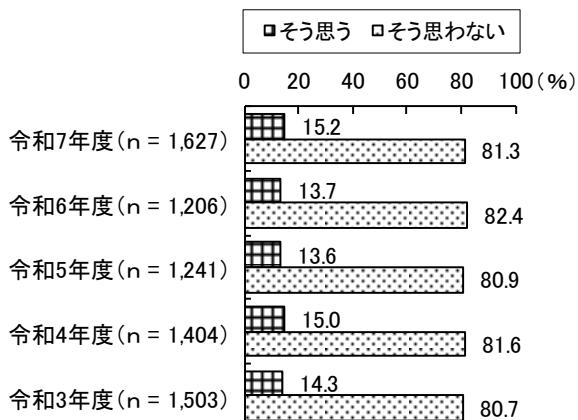


(18) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持てばなくせるものだ

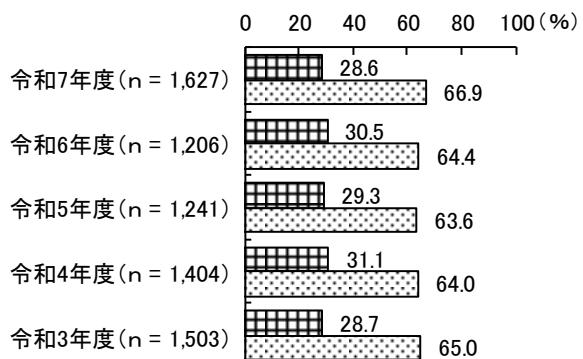


図表2(3) 生活意識（過去との比較）(つづき)

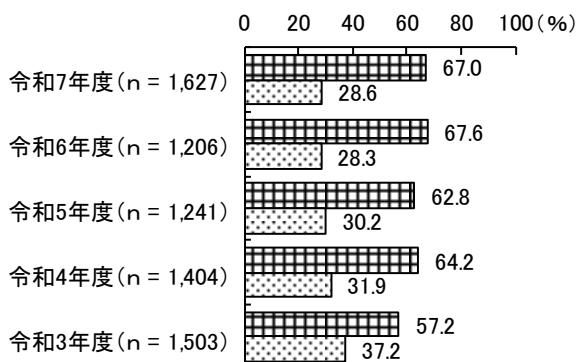
(19) 今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている



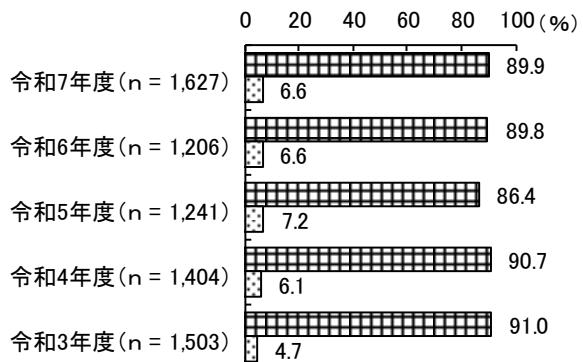
(20) 今後10年くらいの間に、外国人にとってもくらしやすい地域社会になっている



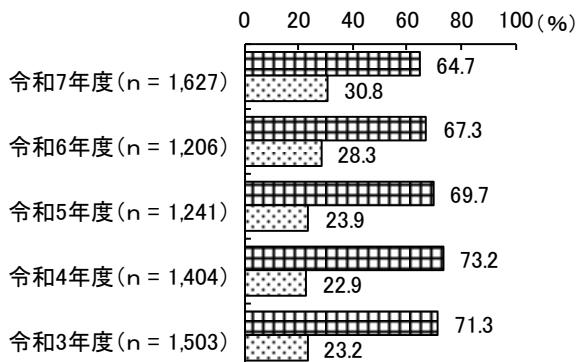
(21) 子どもを生み育てる環境が今までは、子どもを持つのはむずかしい



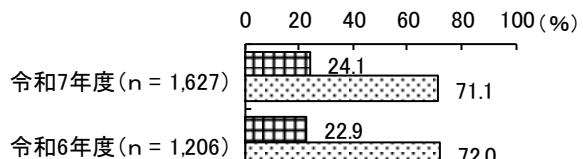
(22) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ



(23) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい



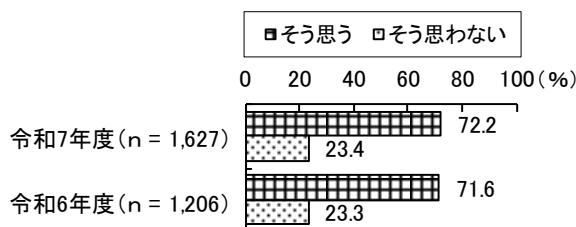
(24) 子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている



(注)令和6年度から追加された項目である

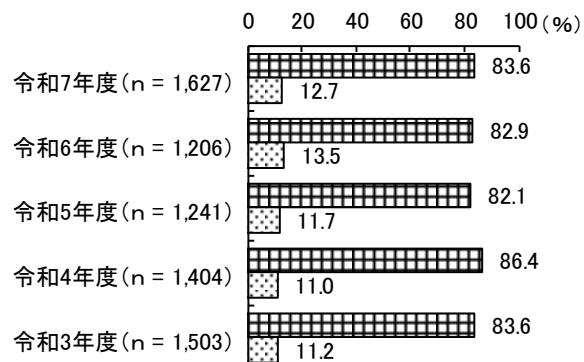
図表2(3) 生活意識（過去との比較）(つづき)

(25) 子ども・若者をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい

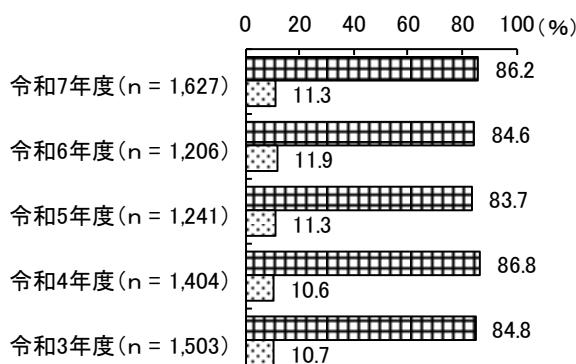


(注)令和6年度から追加された項目である

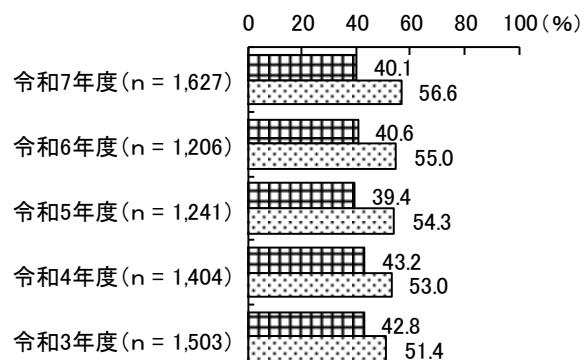
(26) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい



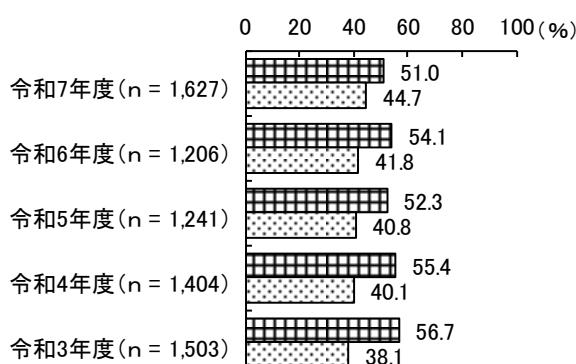
(27) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ



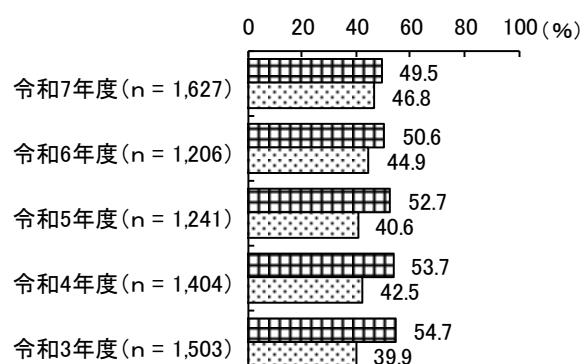
(28) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい



(29) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ



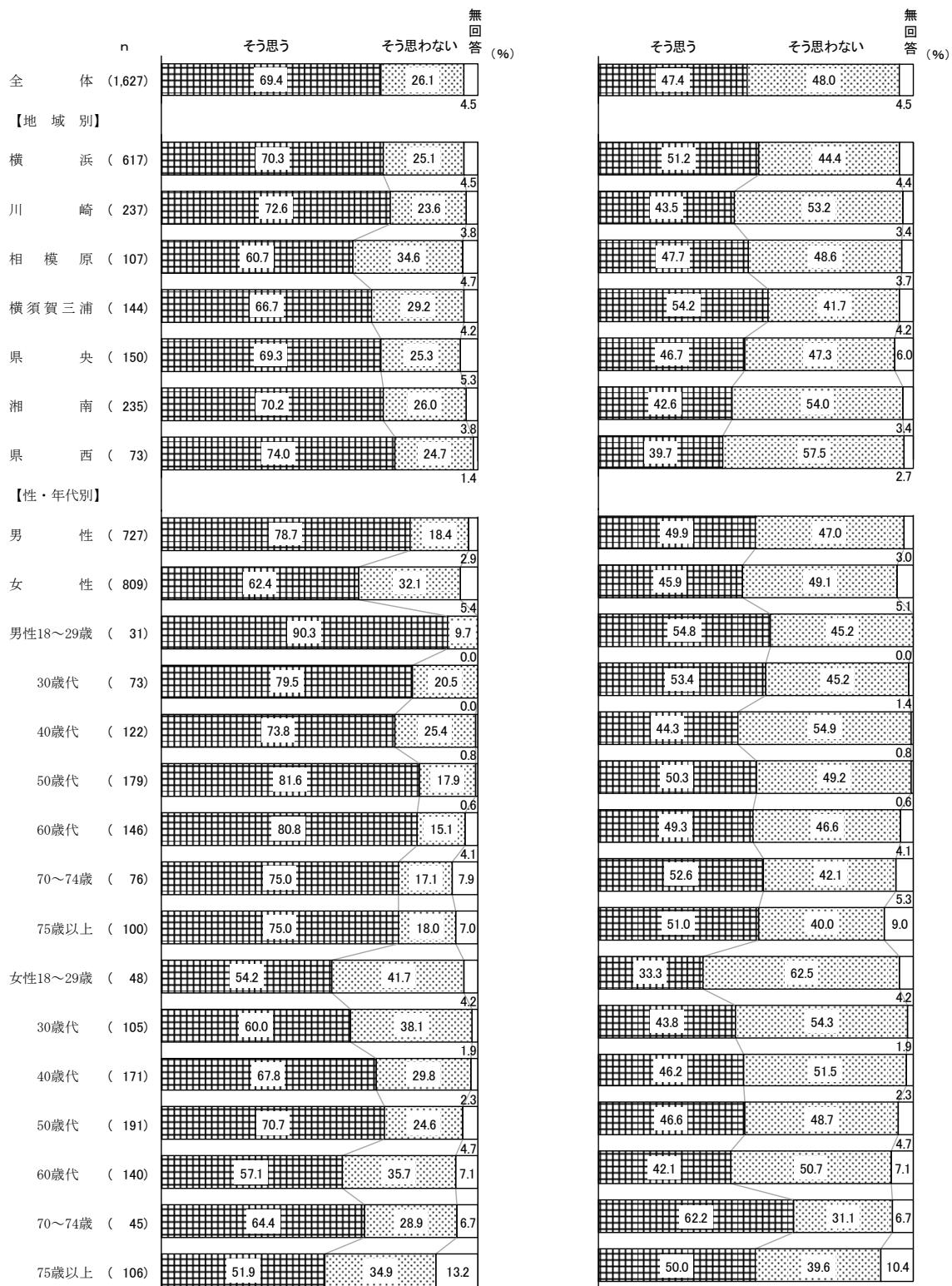
(30) 今後10年くらいの間に、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている



図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）

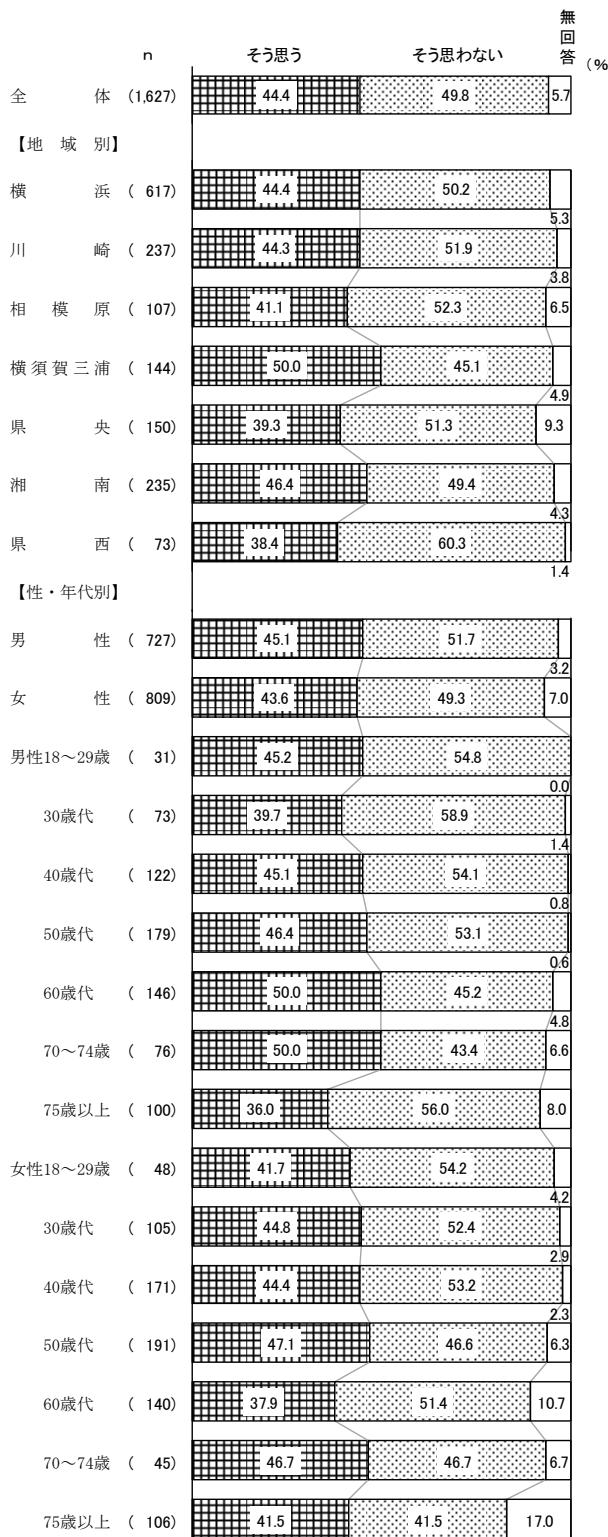
(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ

(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができている

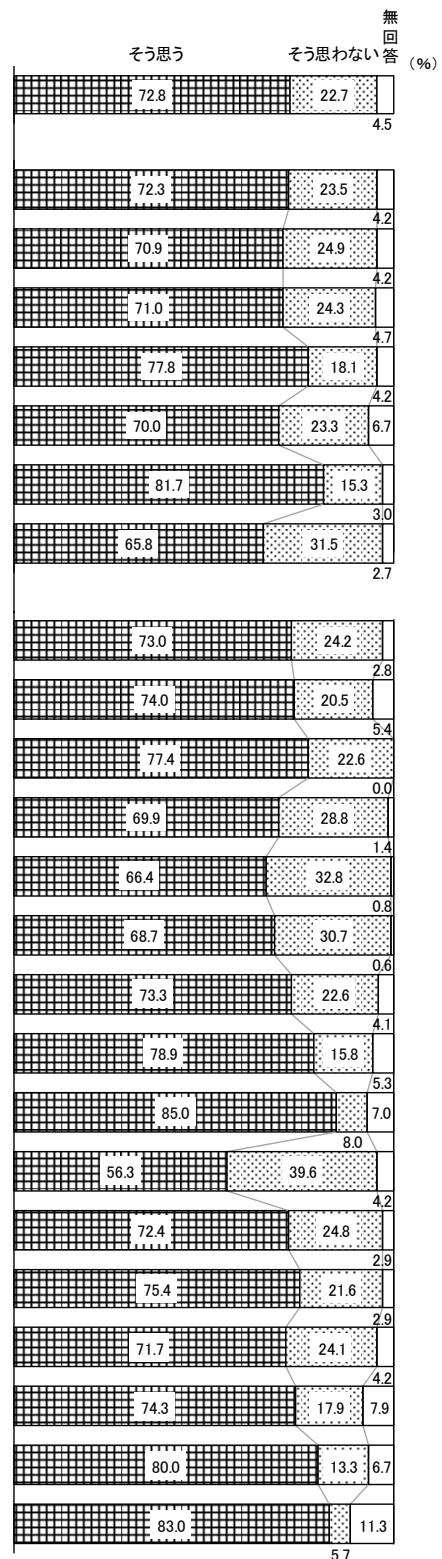


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい

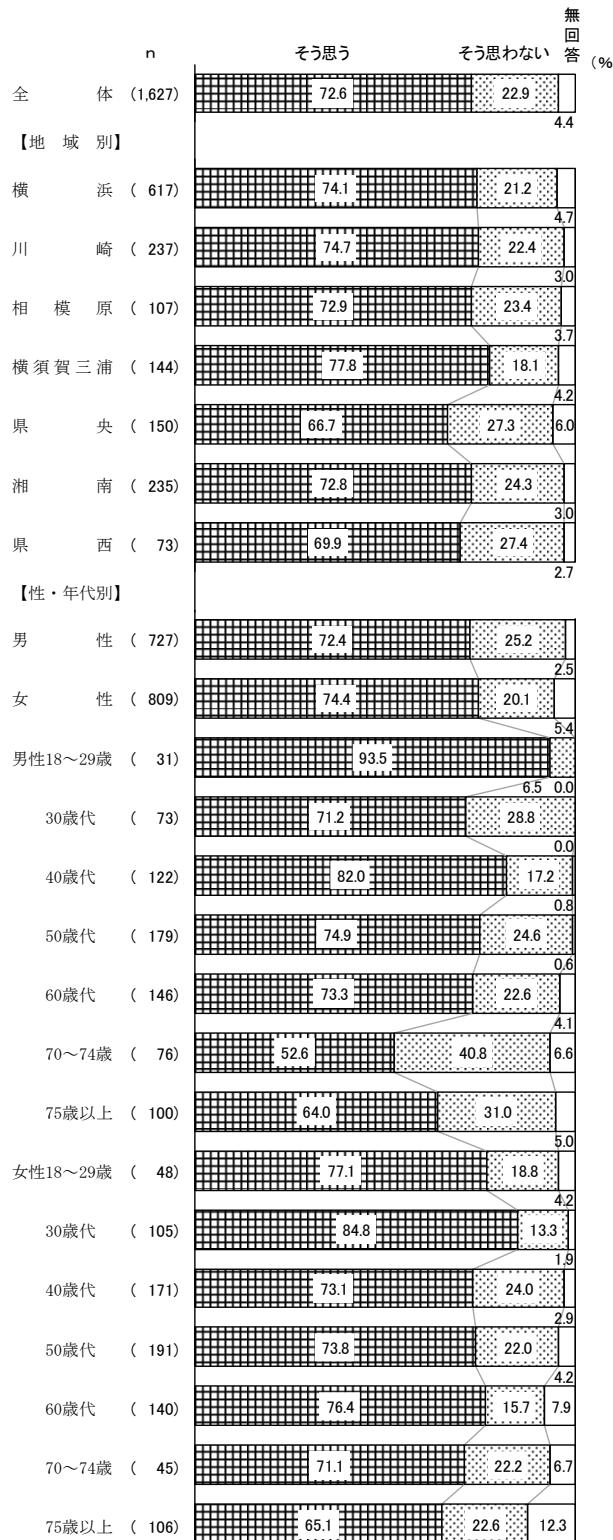


(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている

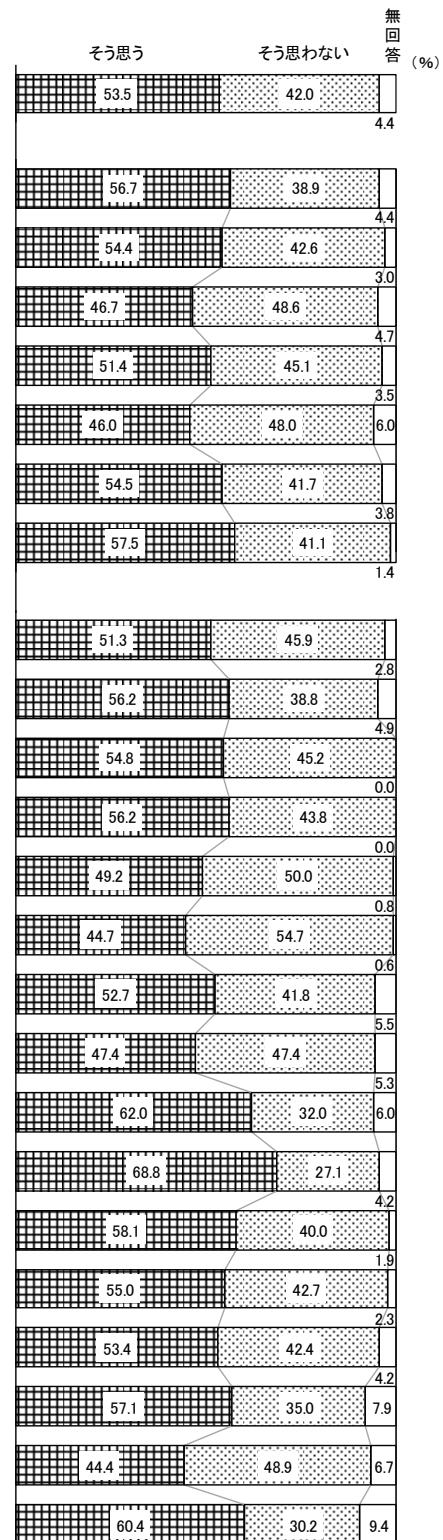


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(5) いただきます・ごちそうさまのあいさつ、  
はしの持ち方、料理の並べ方など、  
食事のマナーを正しくできている

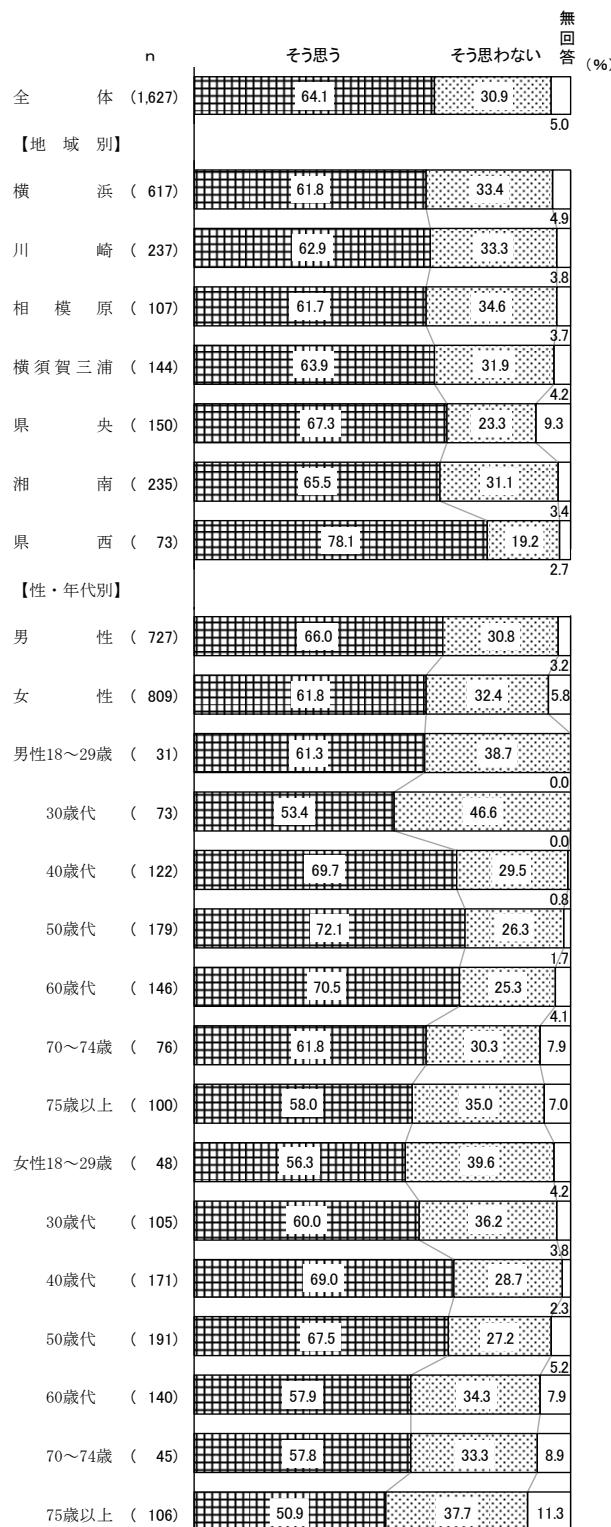


(6) ゆっくりよく噛んで食べている

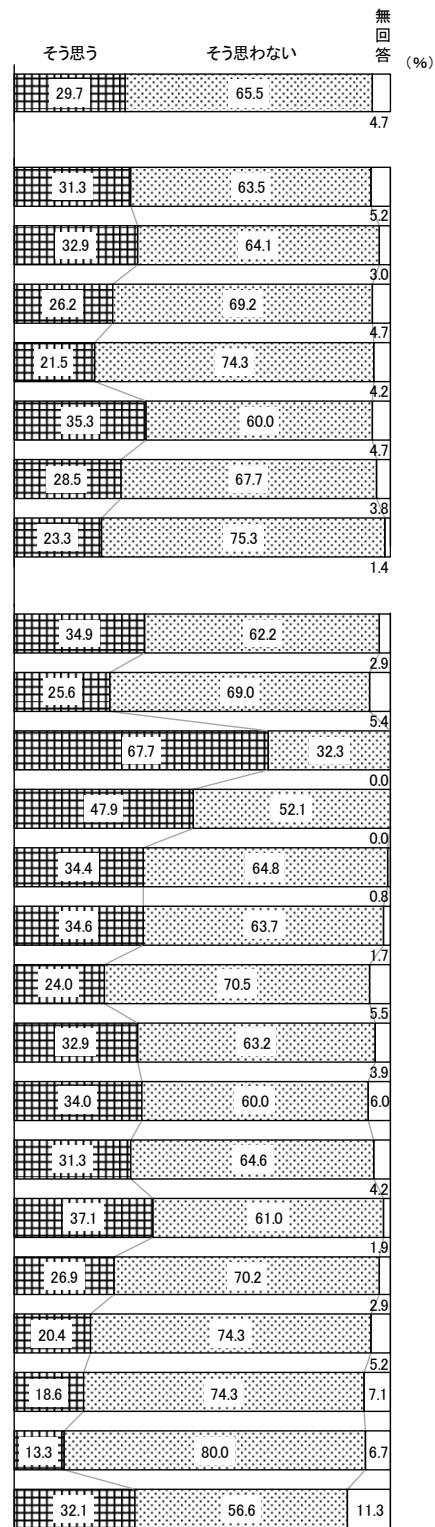


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(7) 住居の造りや介護サービスの提供が  
今のような状態の環境では、高齢者が  
安心して生活するのはむずかしい

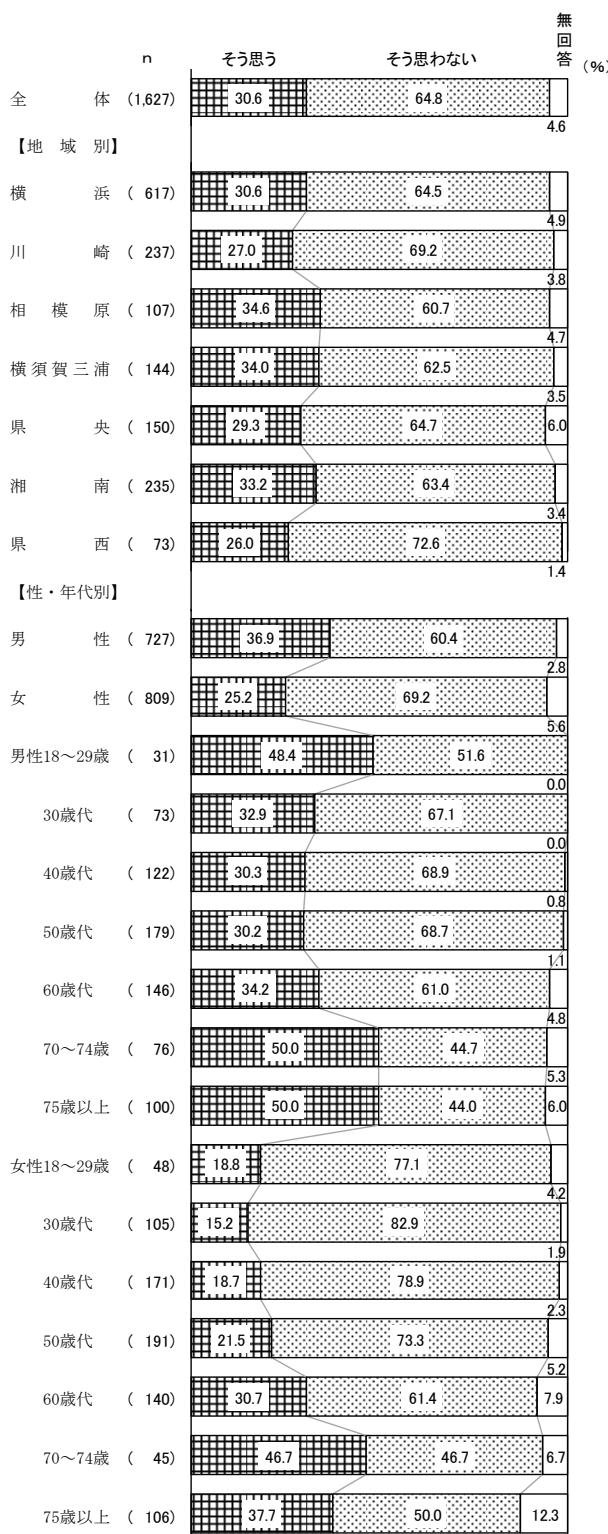


(8) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、  
誰もが安心して移動・利用できる、人に  
やさしいまちになっている

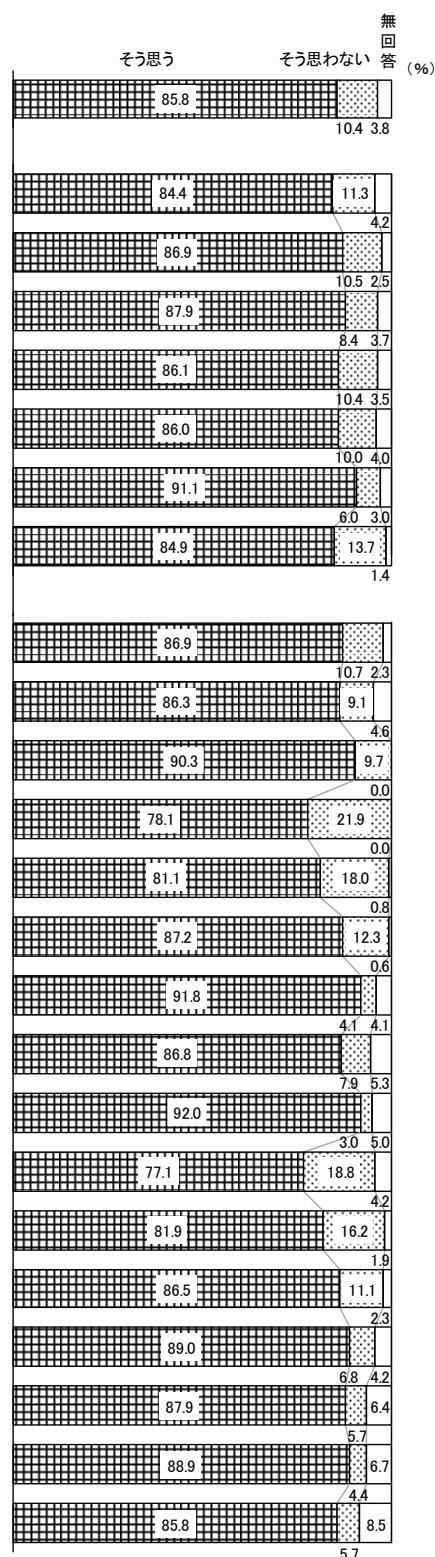


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

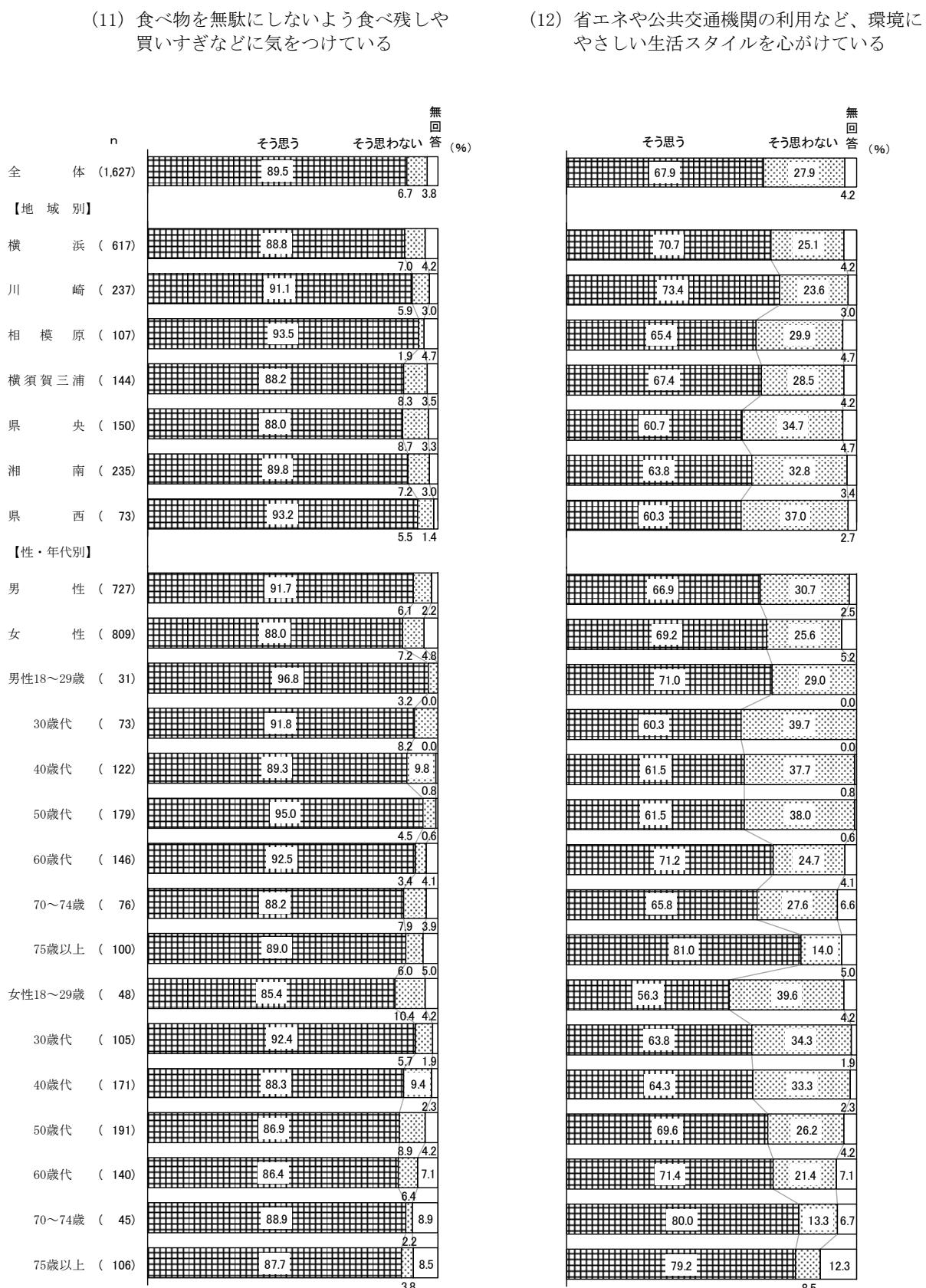
(9) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている



(10) ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている

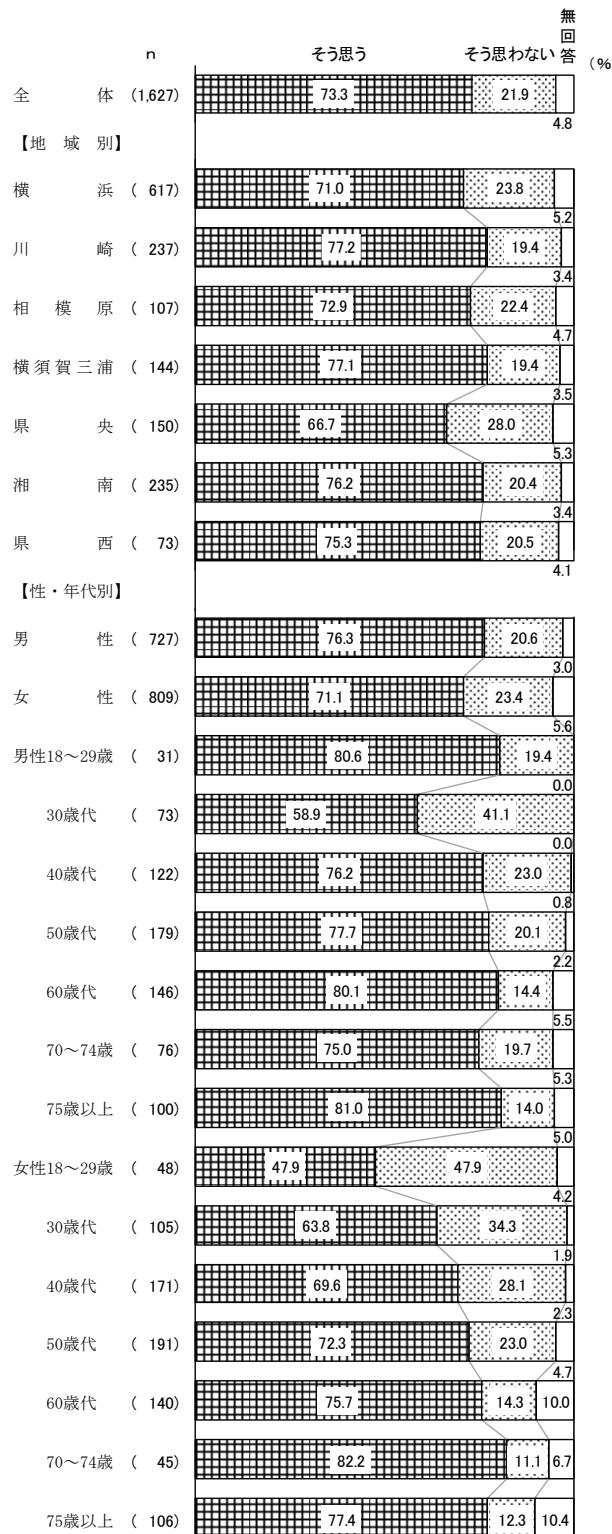


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）(つづき)

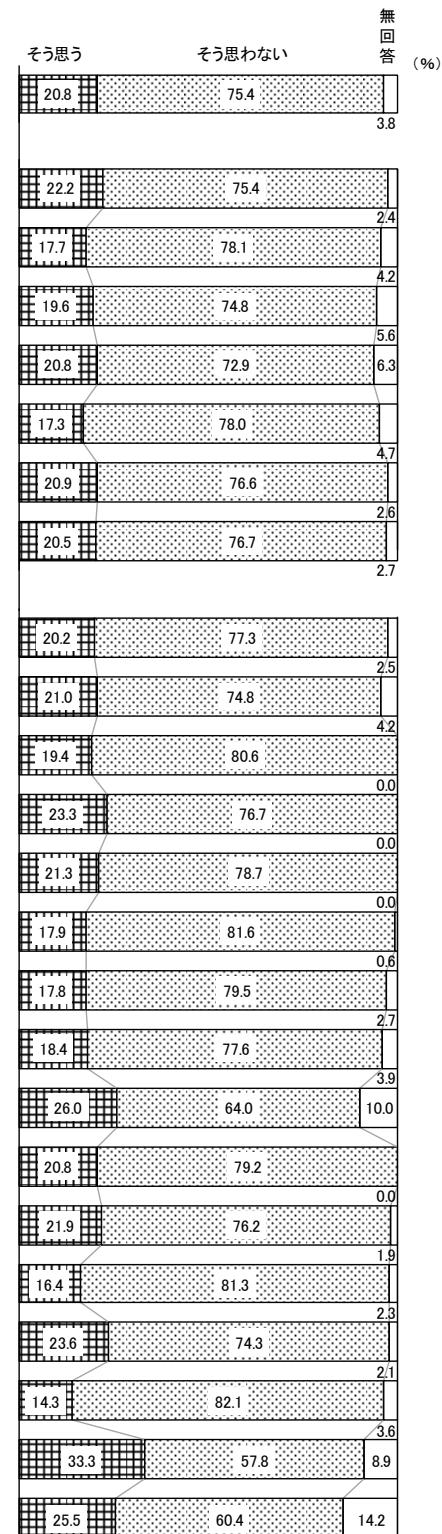


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(13) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ

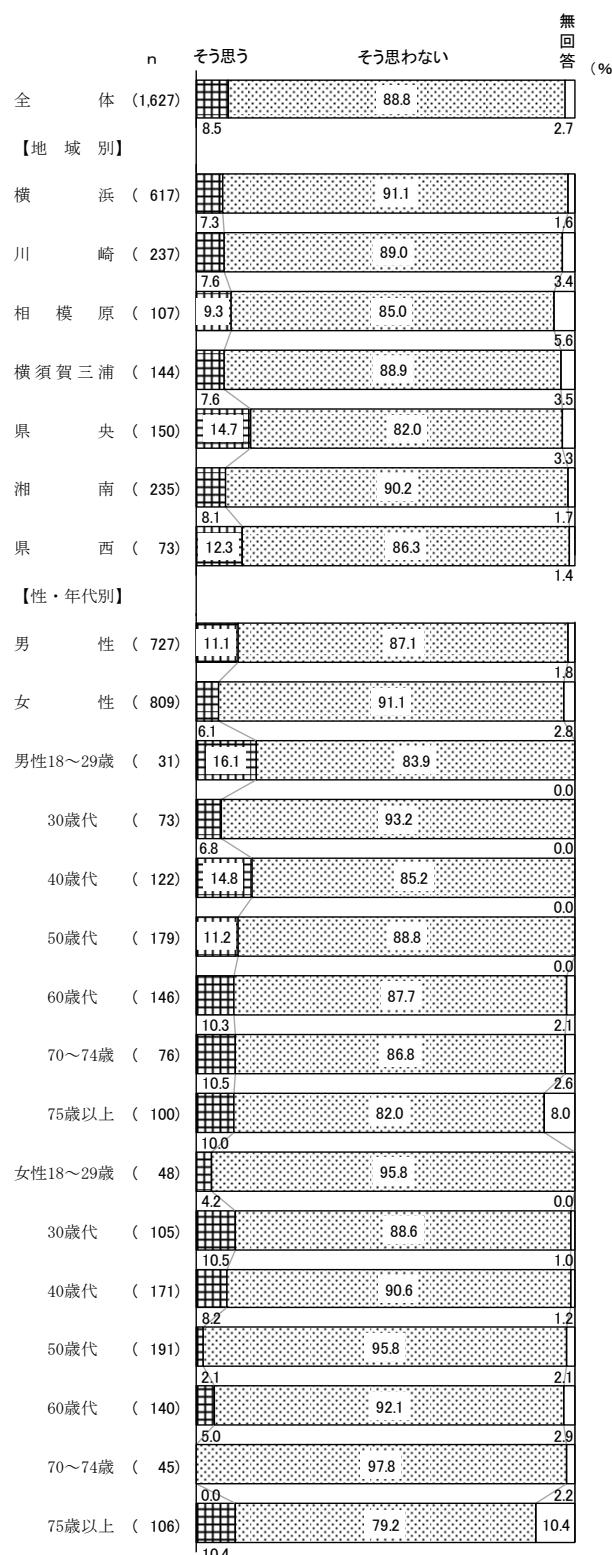


(14) 公益活動を行うN P Oなどに寄附をしてみたい

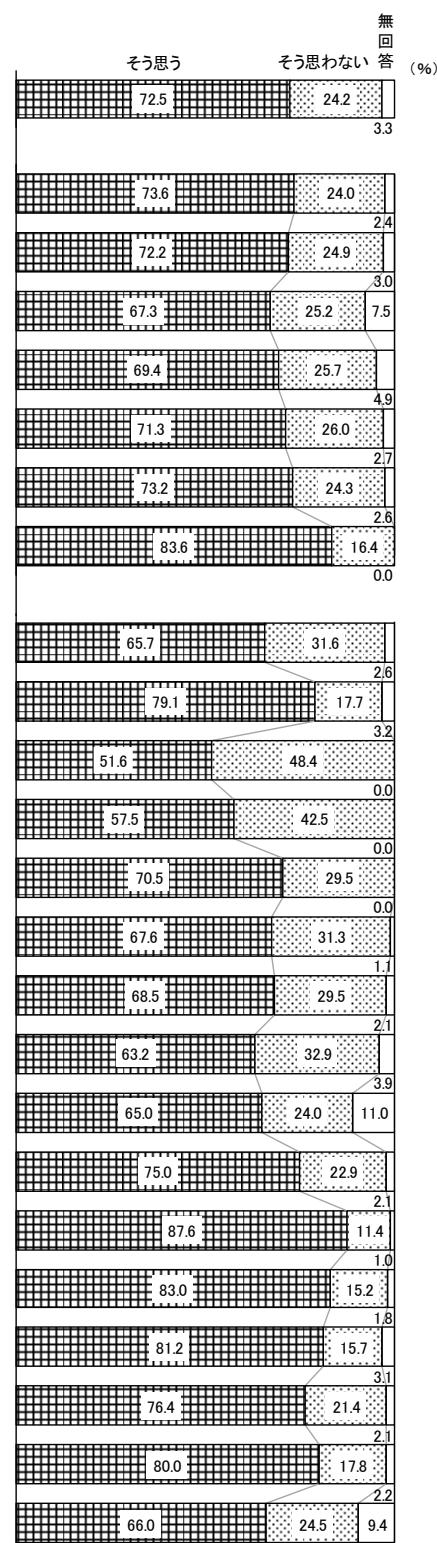


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(15) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

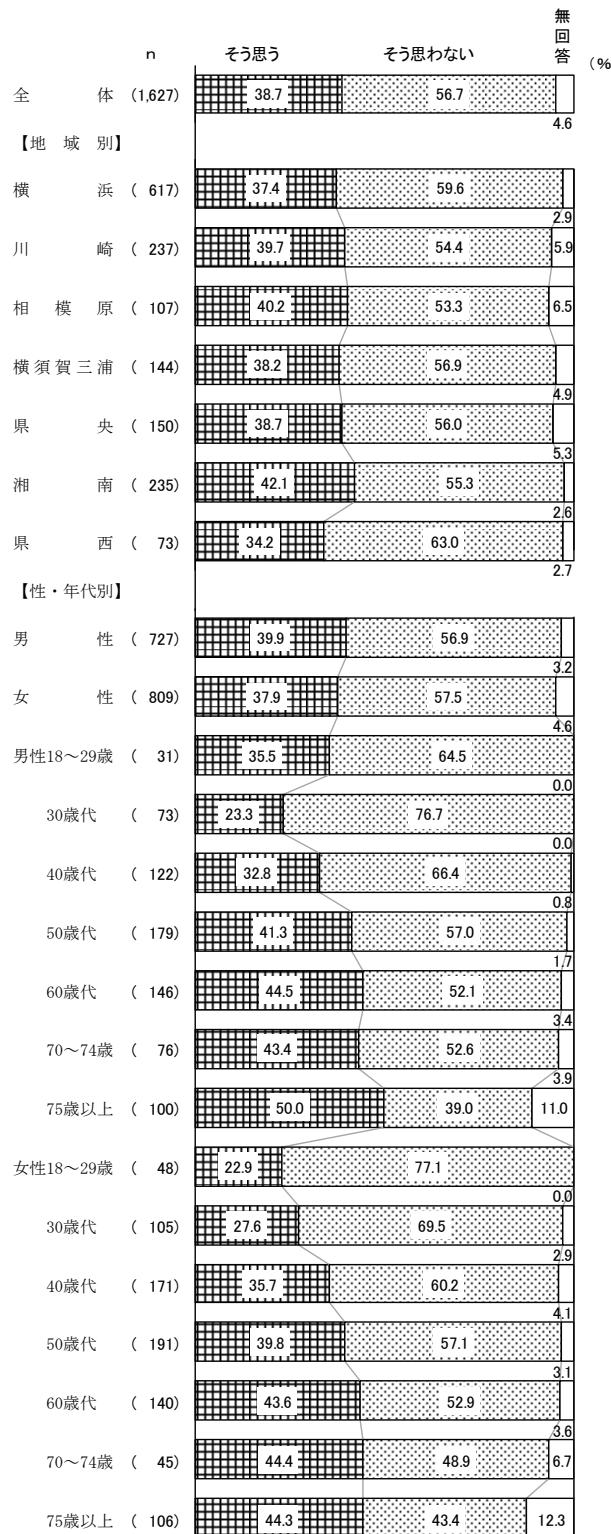


(16) 女性が働き続けるには、まだまだ  
厳しい世の中だ

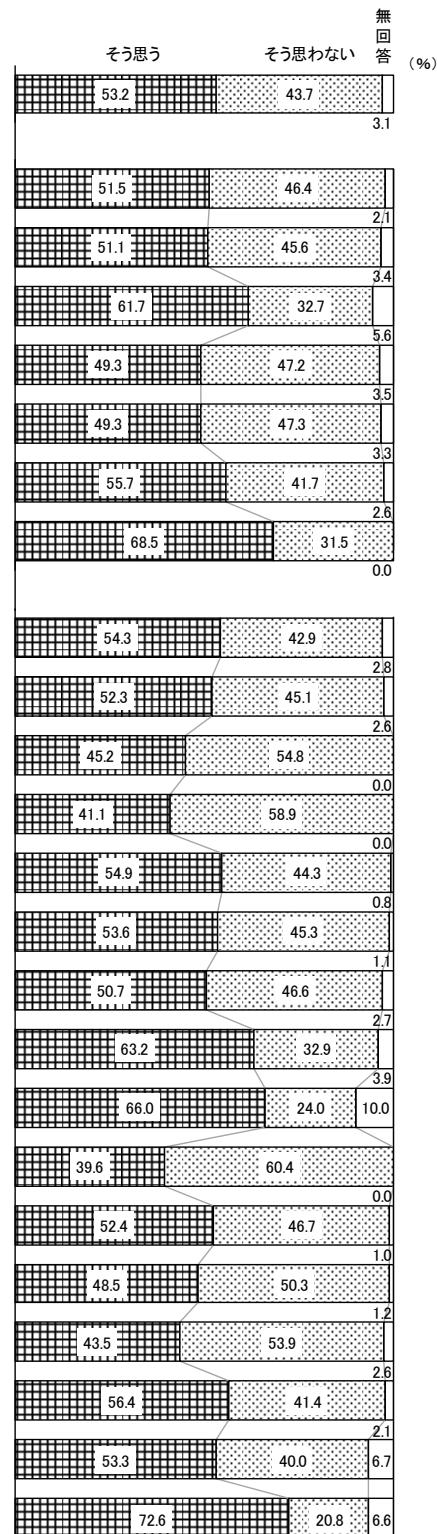


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(17) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ

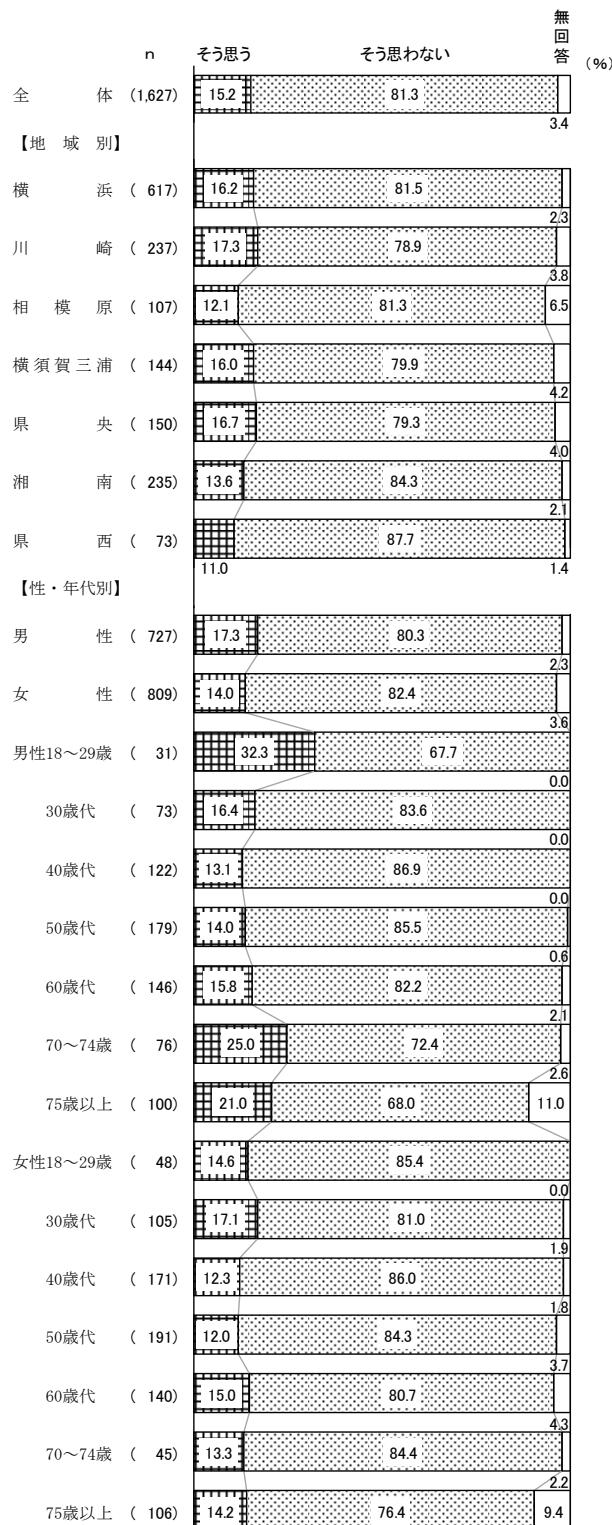


(18) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持てばなくせるものだ

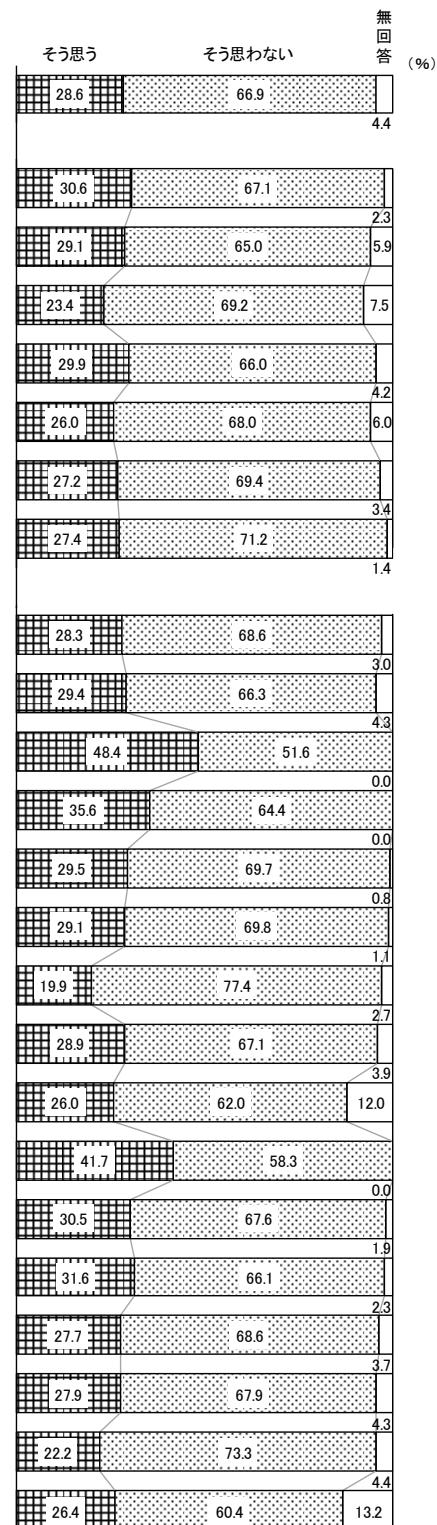


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(19) 今後10年くらいの間に、一人ひとりの  
人権が尊重され、差別がない地域社会にな  
っている

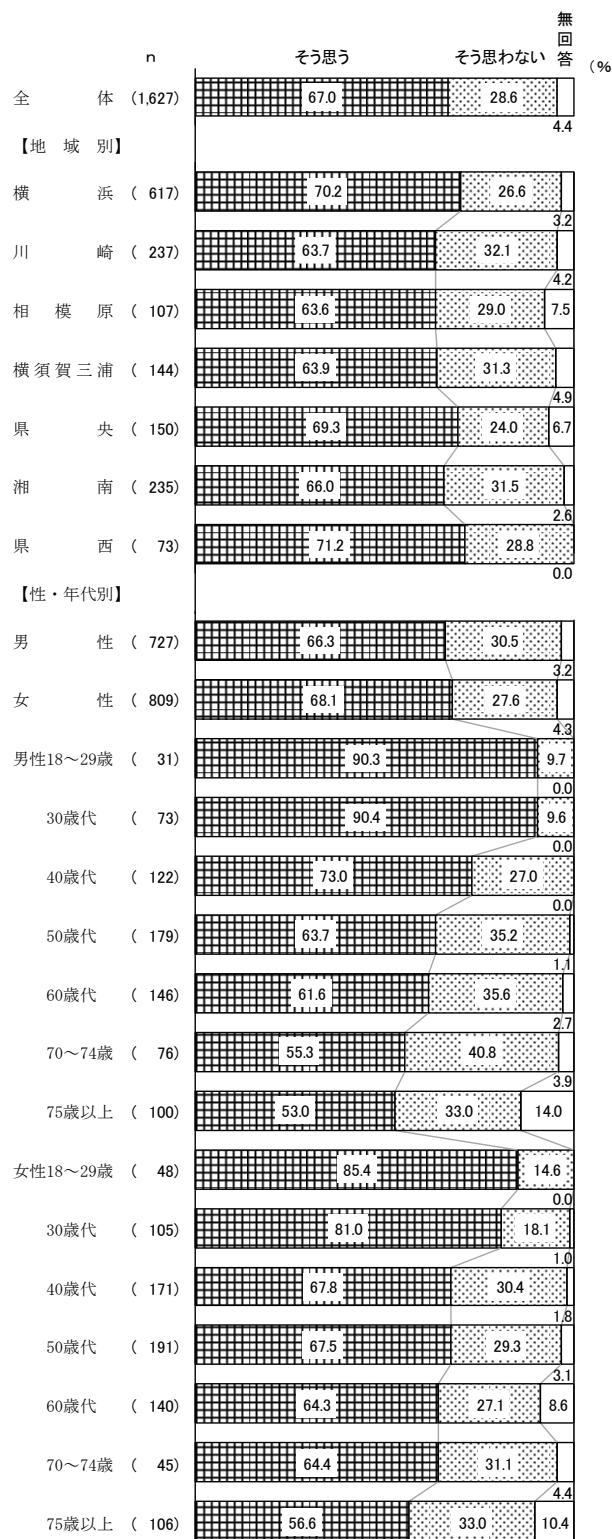


(20) 今後10年くらいの間に、外国人にとっとも  
くらしやすい地域社会になっている

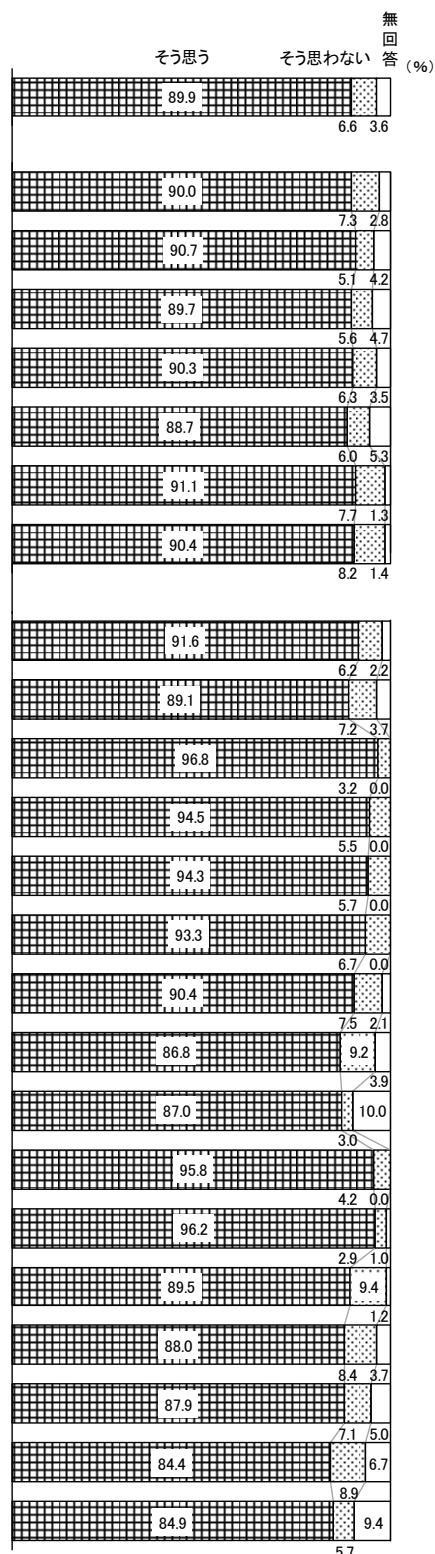


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(21) 子どもを生み育てる環境が今の中までは、  
子どもを持つのはむずかしい

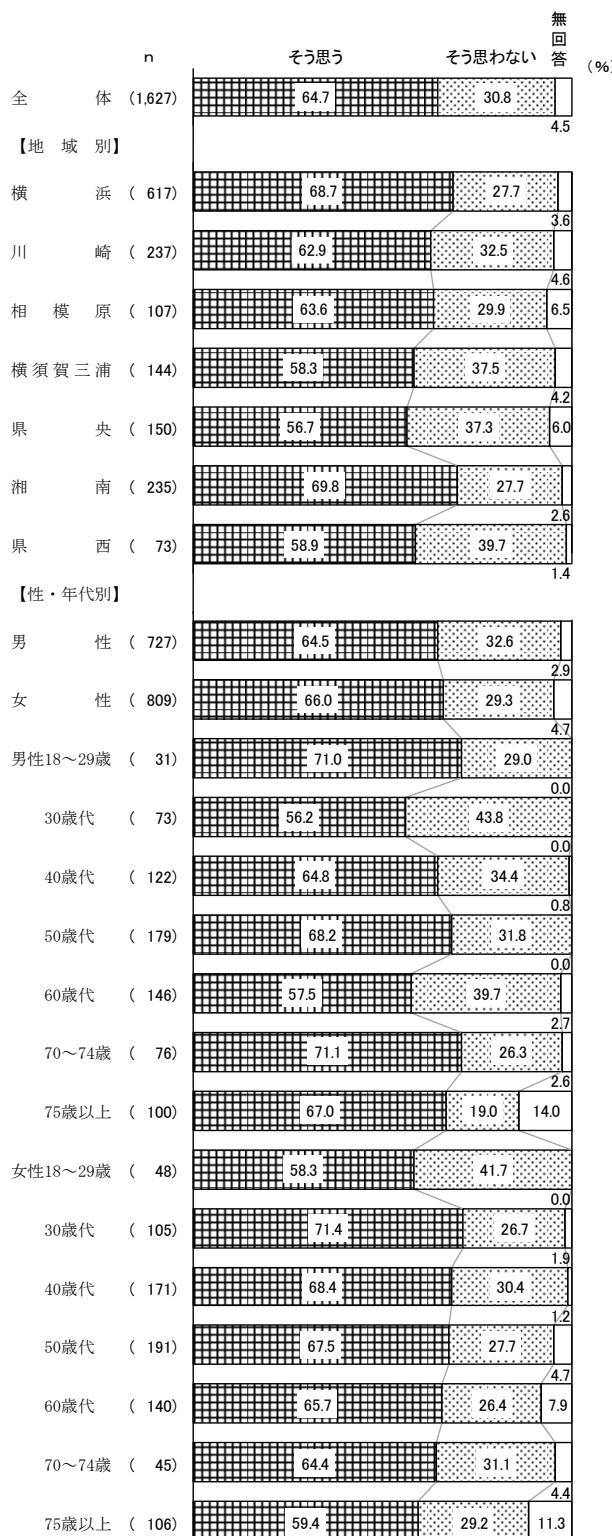


(22) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ

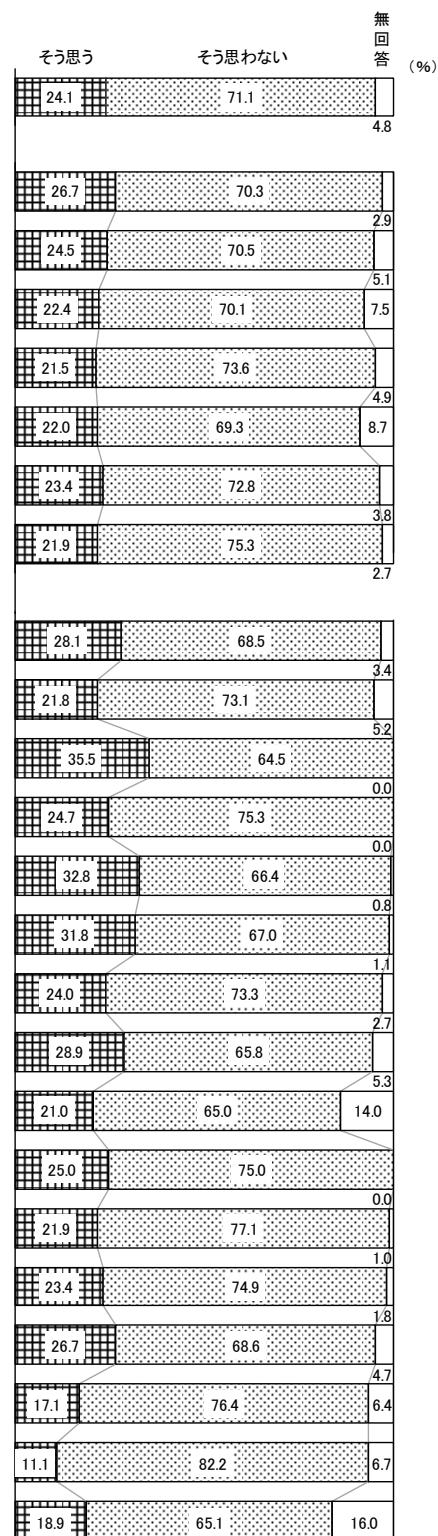


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(23) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい

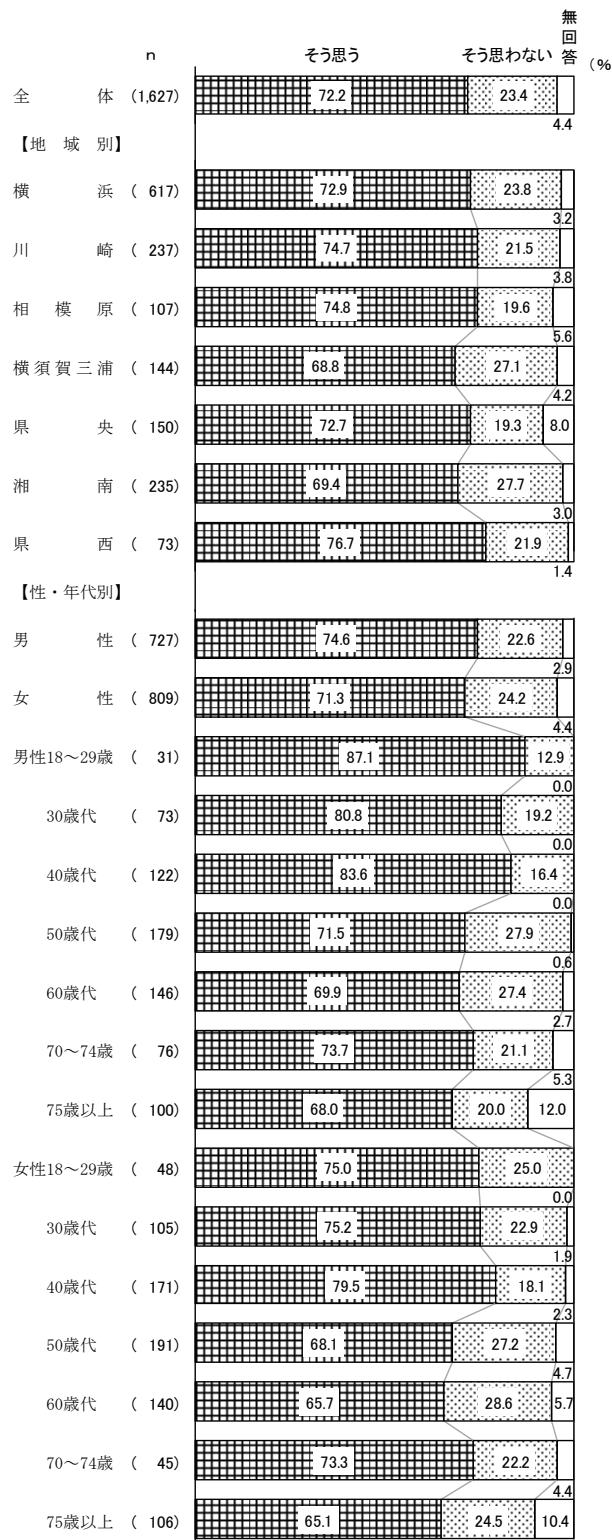


(24) 子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている

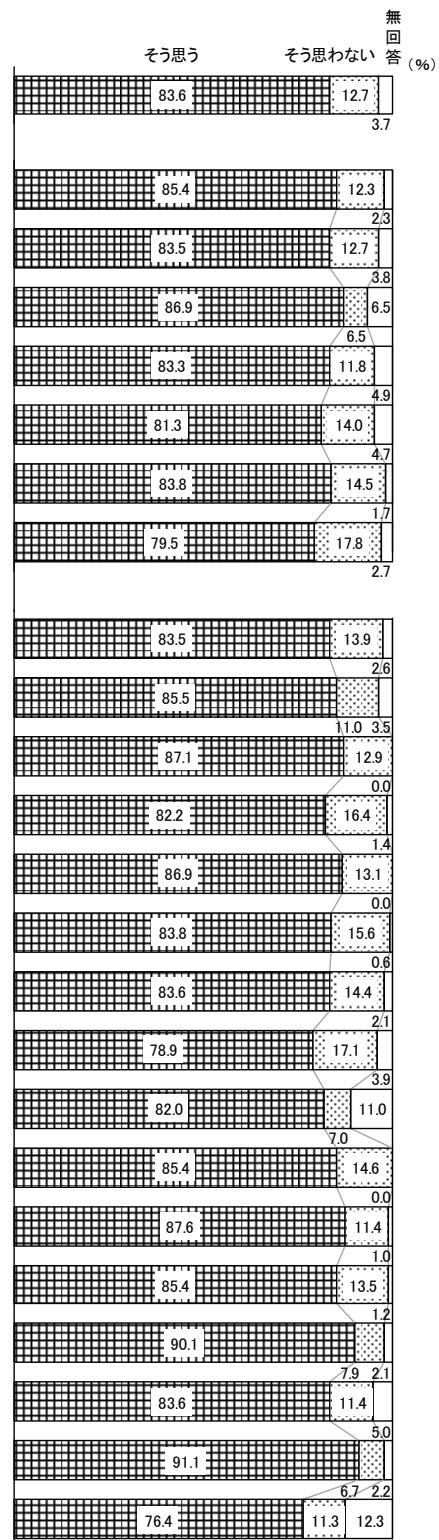


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(25) 子ども・若者をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい

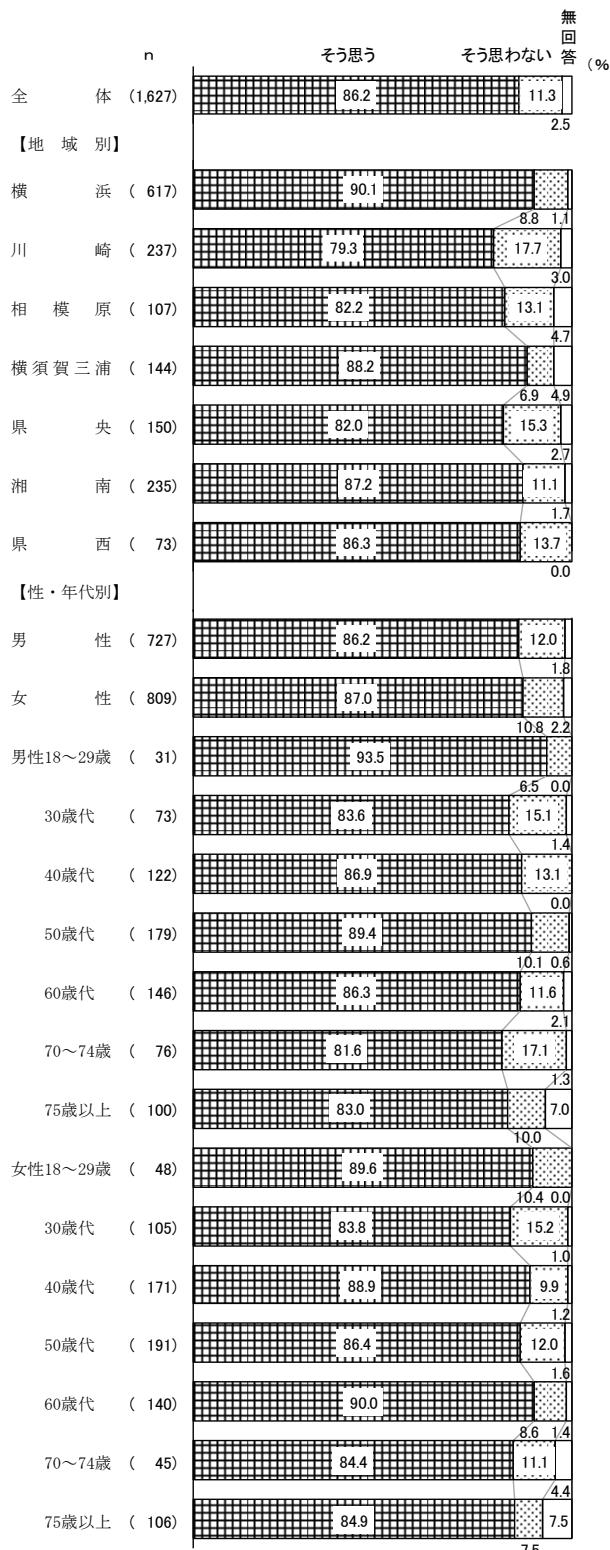


(26) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい

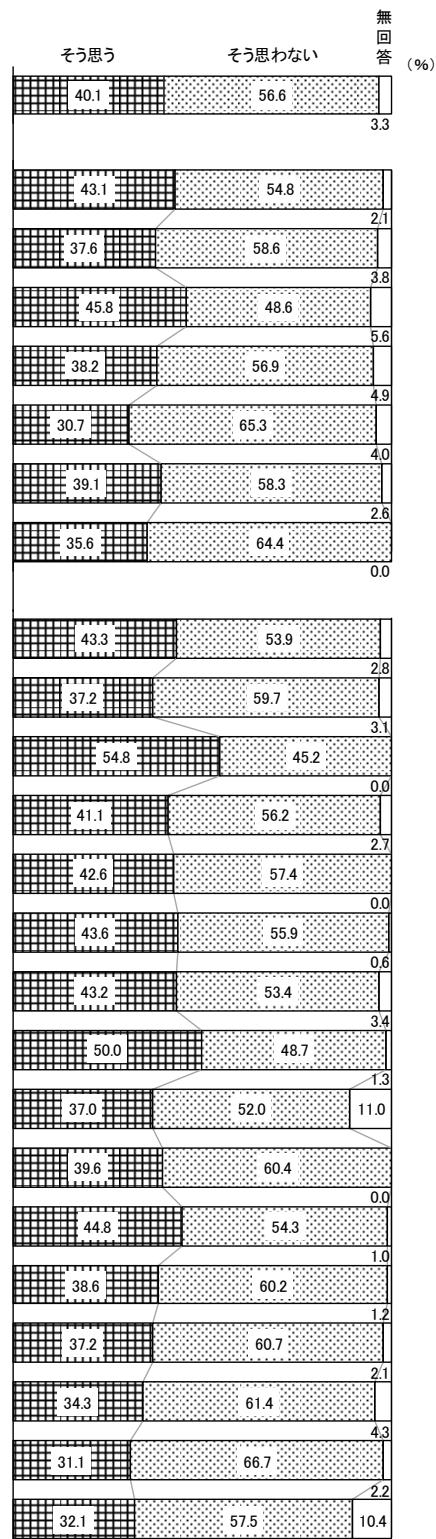


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(27) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ

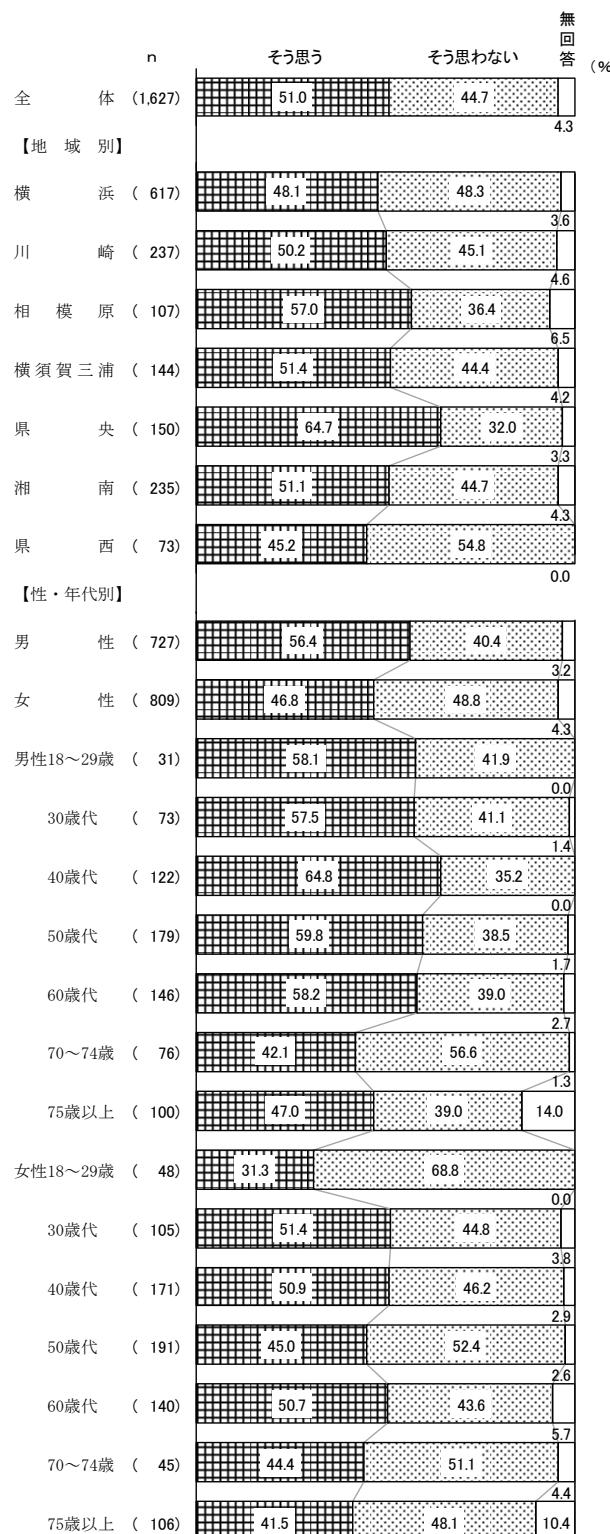


(28) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい

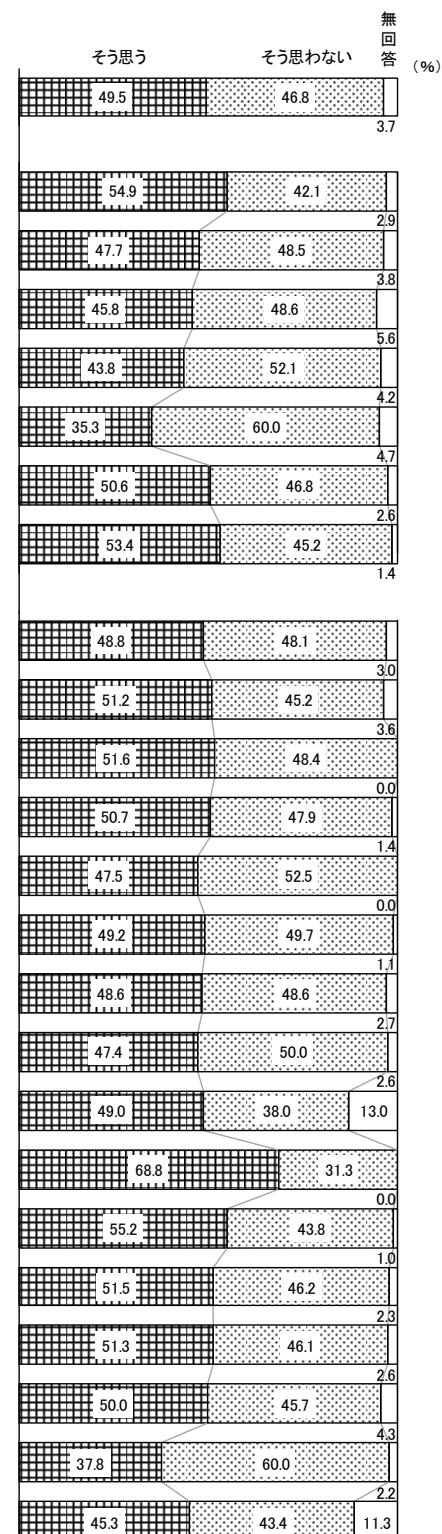


図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(29) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ



(30) 今後10年くらいの間に、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている



## 第3章 くらしの満足度【問7】

### 1 重要度【問7】

身近な生活に関する38項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「分からぬ」を加えた6区分とした。

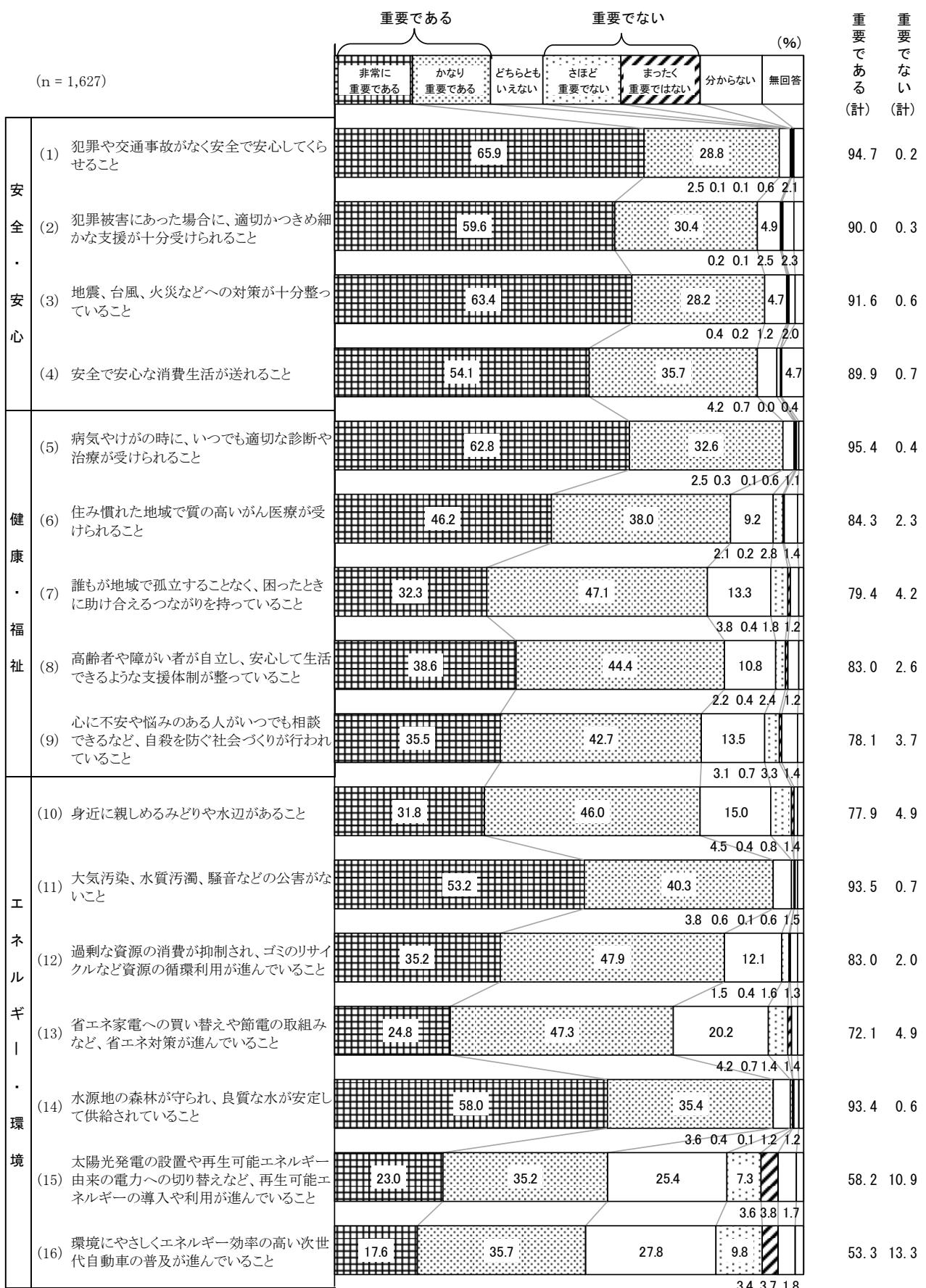
#### 【全体の状況】

項目別の重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

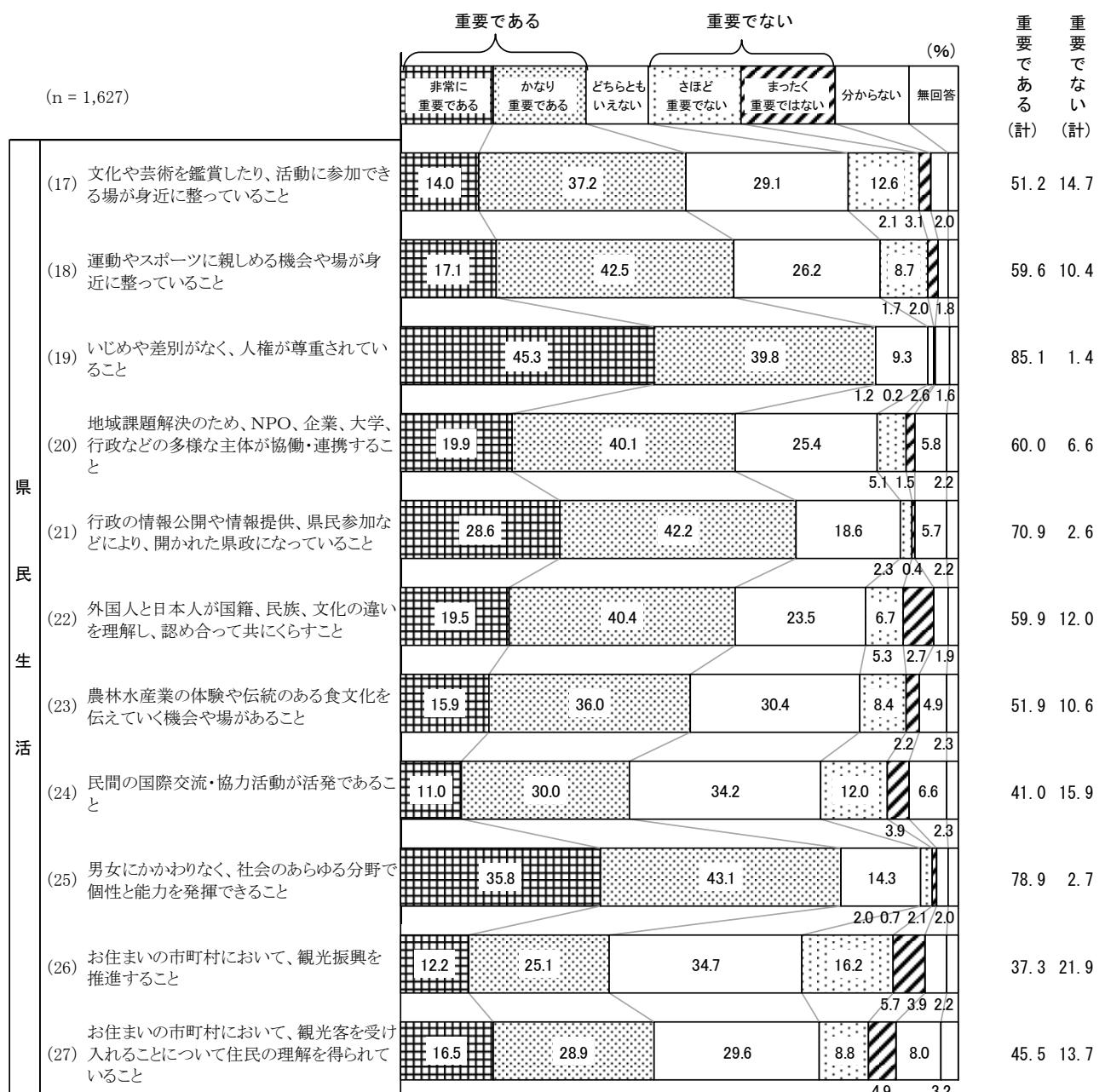
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が95.4%で最も多く、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること」(94.7%)、「(11) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(93.5%)が続いた。(図表3-1-1)

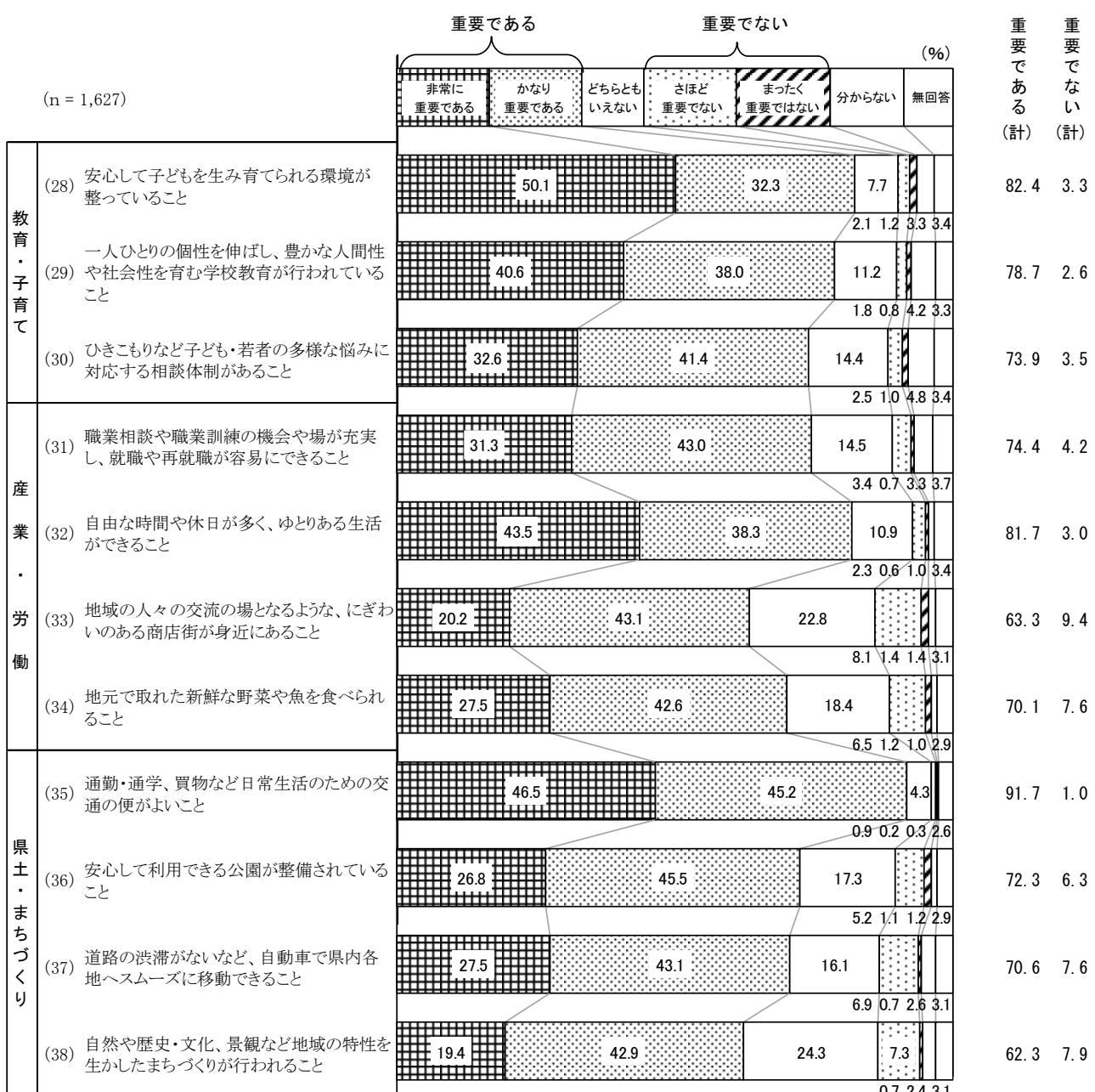
図表3-1-1 重要度



図表3-1-1 重要度（つづき）



図表3-1-1 重要度（つづき）



## 【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-1-2)

図表3-1-2 重要度《重要である》の上位10項目—過去との比較

	令和3年度(n=1,503)	令和4年度(n=1,404)	令和5年度(n=1,241)	令和6年度(n=1,206)	令和7年度(n=1,627)
1位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.9%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.4%)
2位	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらうこと	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらうこと(94.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらうこと(92.7%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらうこと(94.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらうこと(94.7%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.7%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(93.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(93.5%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(93.4%)
5位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.7%)
6位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(88.4%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(91.6%)
7位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(87.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(87.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.0%)
8位	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(85.4%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(84.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(86.8%)	安全で安心な消費生活が送れること(89.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(89.9%)
9位	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.2%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(83.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(83.1%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.7%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.1%)
10位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(84.3%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(82.4%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(82.4%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(82.3%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(84.3%)

※「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表A(93~102ページ)を参照

図表3-1-3 重要度《重要である》の上位項目一地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(11)	(14)	(35)	(3)	(2)	(4)	
地 域 上段：順位 下段：(%)	な病 診気 断や やけ 治が 療の が時 受に、 らい れつ るで こも と適 切	し犯 て罪 くや ら交 せ通 事故 とが なく 安全 で安 心	公大 害汚 染、 い水 質汚 濁、 騒音 など の	水源 定地 の森 供給 が守 られ、 いる良 こ質な 水	が水 安地 の森 供給 が守 られ、 いる良 こ質な 水	た通 勤の 交通 学の 便買 物が よな ど日 常生 活の	十地 震、 台風、 火災 など への 対策 が	るつ 犯罪 こと 被細 かに な支 援が あつ た場 合に、 受け 適切 られか	と安 全で 安心 な消 費生 活が 送れ るこ
全 体 (n=1,627)	① 95.4	② 94.7	③ 93.5	④ 93.4	⑤ 91.7	⑥ 91.6	⑦ 90.0	⑧ 89.9	
横 浜 (n= 617)	① 95.9	② 95.6	④ 93.4	③ 93.5	④ 93.4				
川 崎 (n= 237)	① 94.5	① 94.5	③ 93.2	④ 92.8	④ 92.8				
相模原 (n= 107)	① 95.3	② 94.4	④ 93.5		④ 93.5	② 94.4			
横須賀三浦 (n= 144)	① 95.1	① 95.1	① 95.1	④ 93.1				⑤ 91.7	
県 央 (n= 150)	① 94.7	④ 92.0	② 93.3	③ 92.7		⑤ 90.0	⑤ 90.0		
湘 南 (n= 235)	① 96.2	③ 95.3	④ 94.5	① 96.2		⑤ 93.6			
県 西 (n= 73)	② 95.9	① 98.6	③ 93.2	③ 93.2		③ 93.2	③ 93.2		

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-1-4 重要度《重要である》の上位項目一性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目 性・年代 上段：順位 下段：(%)	(5)	(1)	(11)	(14)	(35)	(3)	(2)	(4)	(19)	(8)	(12)	(32)	(7)	(29)
な病診気 断や け治が ら交通 受け、 らいつ でこも く安全 と適切 心	し犯 れて くや れら 事故 とが なく りあ れで こも と全 て安 心と 水	大害 害汚 染、 水質 汚濁、 騒音 など の	水源 地定 して 森林 供給 が守 られ、 いる良 こな ど水	が水 安源 地し の森 林が され られ てい る良 こな ど水	た通 め勤 の・ 交通 学の 便買 が物 よない こと 日常 生活の	十地 分整 つ台 風、 い火 災な どへ の対 策が	るつ 犯罪 こき め被 細害 かに あつ 援た が場 合分 に、 受け 適切 られ か	と安 全で 安心 な消 費生 活が 送れ るこ	さい じめ いや る差 別が なく、 人権 が尊 重	整し て高 齢者 や障 がい るよ うが な自 立援 が送 れら れか	用ミ 過進 りな んサ 資源 イ源 のク 消費 など が抑 資源 の循 環利 ゴ	ある 自由 生活 が過 剩が りな んサ 資源 イ源 のク 消費 など が抑 資源 の循 環利 ゴ	誰も が持 つた と地 域で いに 助け 合え ること なが り	がな 一行 人間 われ性 とで やりの 社会個 性を伸 ばし、 学校教 育か
全体 (n=1,627)	① 95.4	② 94.7	③ 93.5	④ 93.4	⑤ 91.7	⑥ 91.6	⑦ 90.0	⑧ 89.9	⑨ 85.1	⑪ 83.0	⑭ 83.0	⑯ 81.7	⑮ 79.4	⑰ 78.7
男性 (n= 727)	① 95.6	② 95.5	③ 93.7	④ 93.5	⑤ 91.7									
女性 (n= 809)	① 95.6	② 95.1	④ 93.6	③ 93.8		⑤ 92.8								
男性18~29歳 (n= 31)	① 100.0		① 100.0		③ 96.8	③ 96.8	③ 96.8							
30歳代 (n= 73)		② 93.2	③ 91.8	③ 91.8	① 97.3	③ 91.8	③ 91.8							
40歳代 (n= 122)	① 97.5	① 97.5	⑤ 95.1			③ 96.7		④ 95.9						
50歳代 (n= 179)	③ 95.0	① 97.2	⑤ 91.6		② 95.5	④ 94.4	⑤ 91.6	⑤ 91.6						
60歳代 (n= 146)	③ 94.5	② 95.9	④ 93.8	① 97.3				⑤ 91.1						
70~74歳 (n= 76)	① 100.0	② 97.4	⑤ 92.1	② 97.4		⑤ 92.1					④ 93.4			
75歳以上 (n= 100)	② 95.0	④ 90.0	① 96.0	② 95.0				⑤ 88.0		⑤ 88.0				
女性18~29歳 (n= 48)	① 100.0	① 100.0		④ 97.9	① 100.0	④ 97.9	④ 97.9		④ 97.9			④ 97.9		④ 97.9
30歳代 (n= 105)	① 99.0	① 99.0	④ 97.1			③ 98.1						④ 97.1		
40歳代 (n= 171)	① 97.7	② 97.1	③ 96.5			④ 94.7	⑤ 94.2							
50歳代 (n= 191)	② 96.3	① 96.9	④ 94.2	④ 94.2				③ 95.8						
60歳代 (n= 140)	① 97.9	② 97.1	⑤ 93.6	③ 96.4		④ 95.7	⑤ 93.6							
70~74歳 (n= 45)			③ 88.9	② 93.3	① 95.6	③ 88.9					③ 88.9			
75歳以上 (n= 106)	② 86.8		④ 84.9	③ 85.8	① 89.6							④ 84.9		

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

## 2 満足度【問7】

「重要度」で尋ねた項目と同じ38項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「分からぬ」を加えた6区分とした。

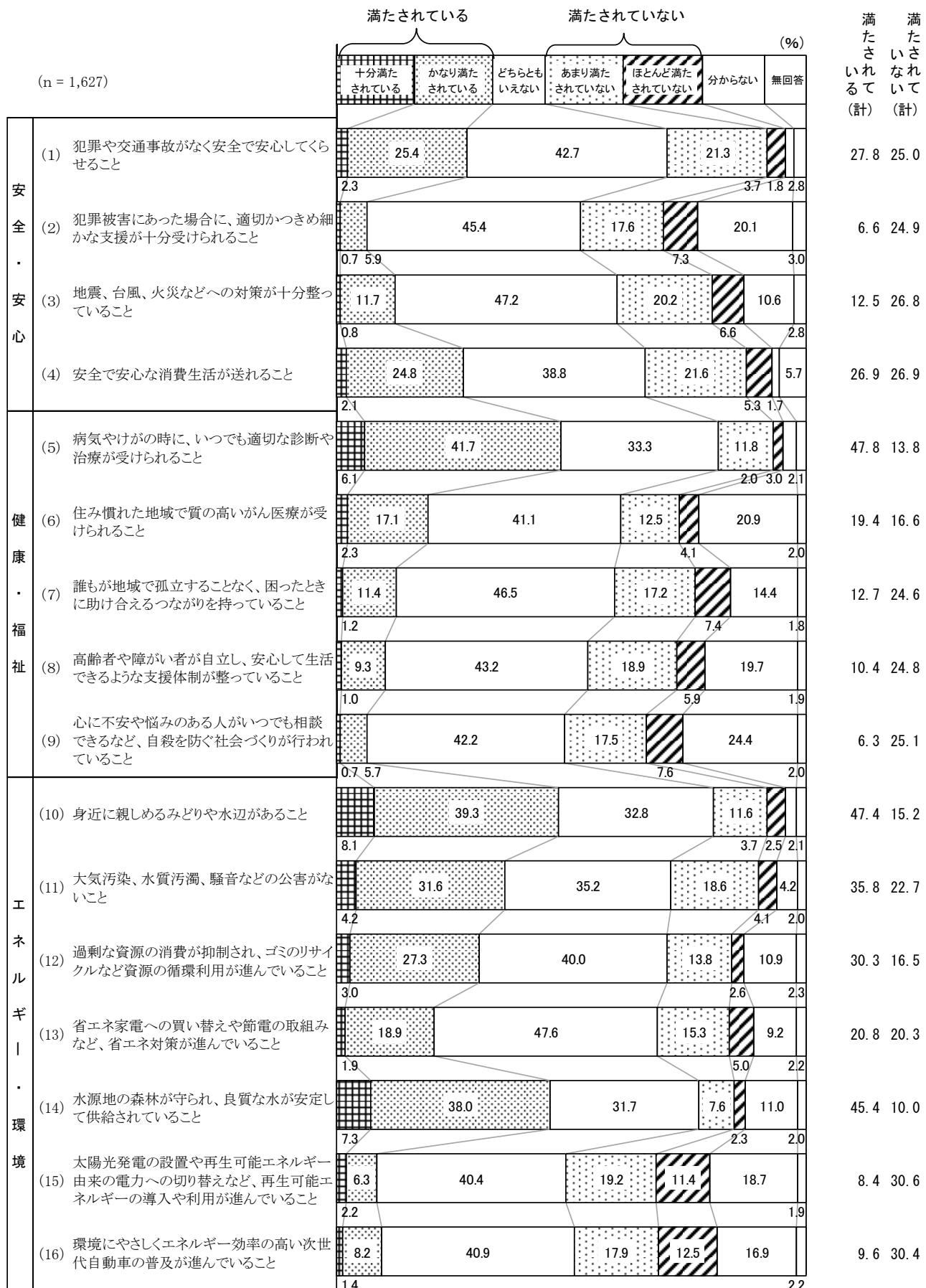
### 【全体の状況】

項目別の満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

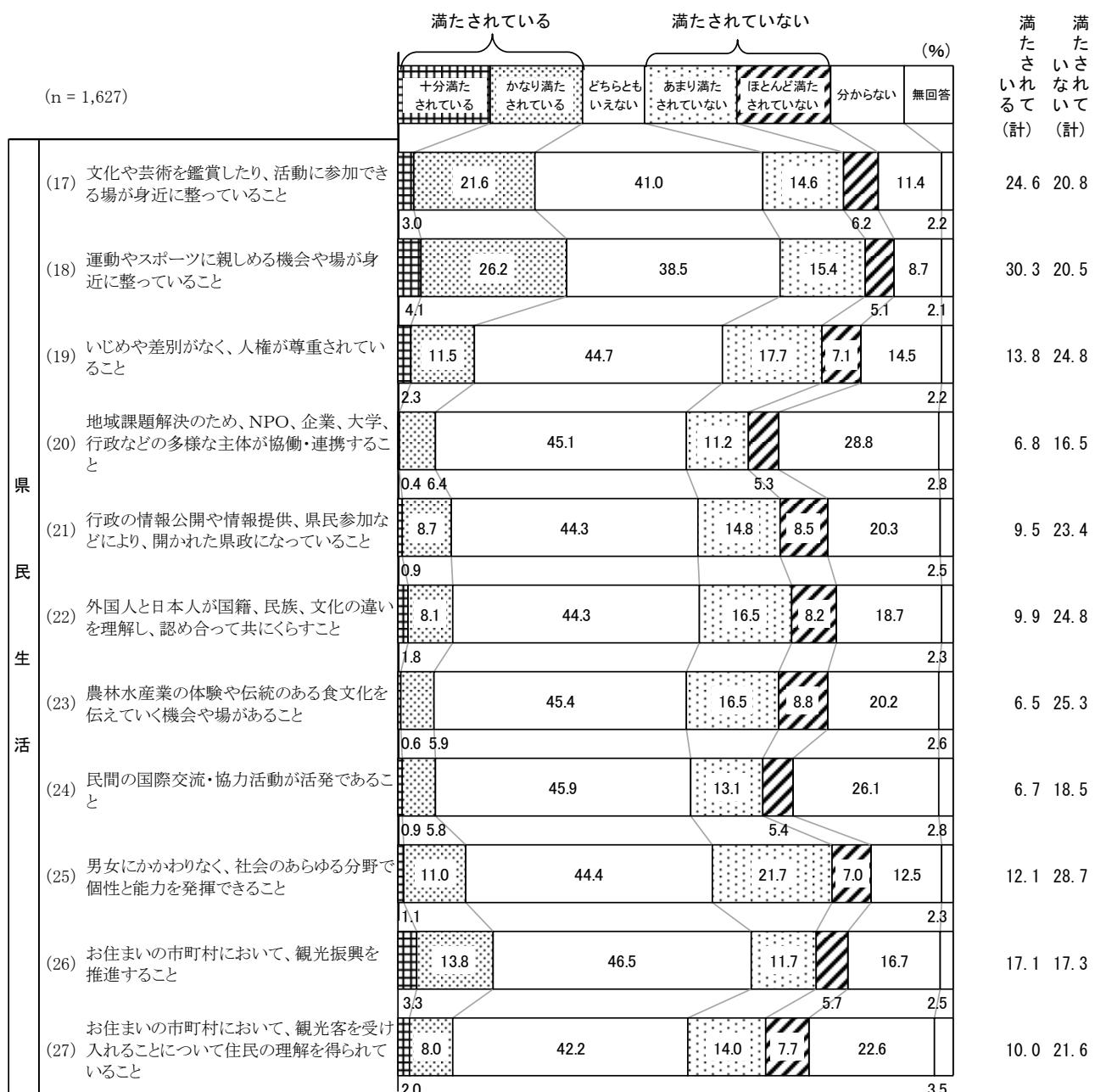
「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(35) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が50.6%で最も多く、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」(47.8%)、「(10) 身近に親しめるみどりや水辺があること」(47.4%)が続いた。

「ほとんど満たされていない」と「あまり満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(33) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が40.8%で最も多く、「(37) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(33.7%)、「(32) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」(31.8%)が続いた。(図表3-2-1)

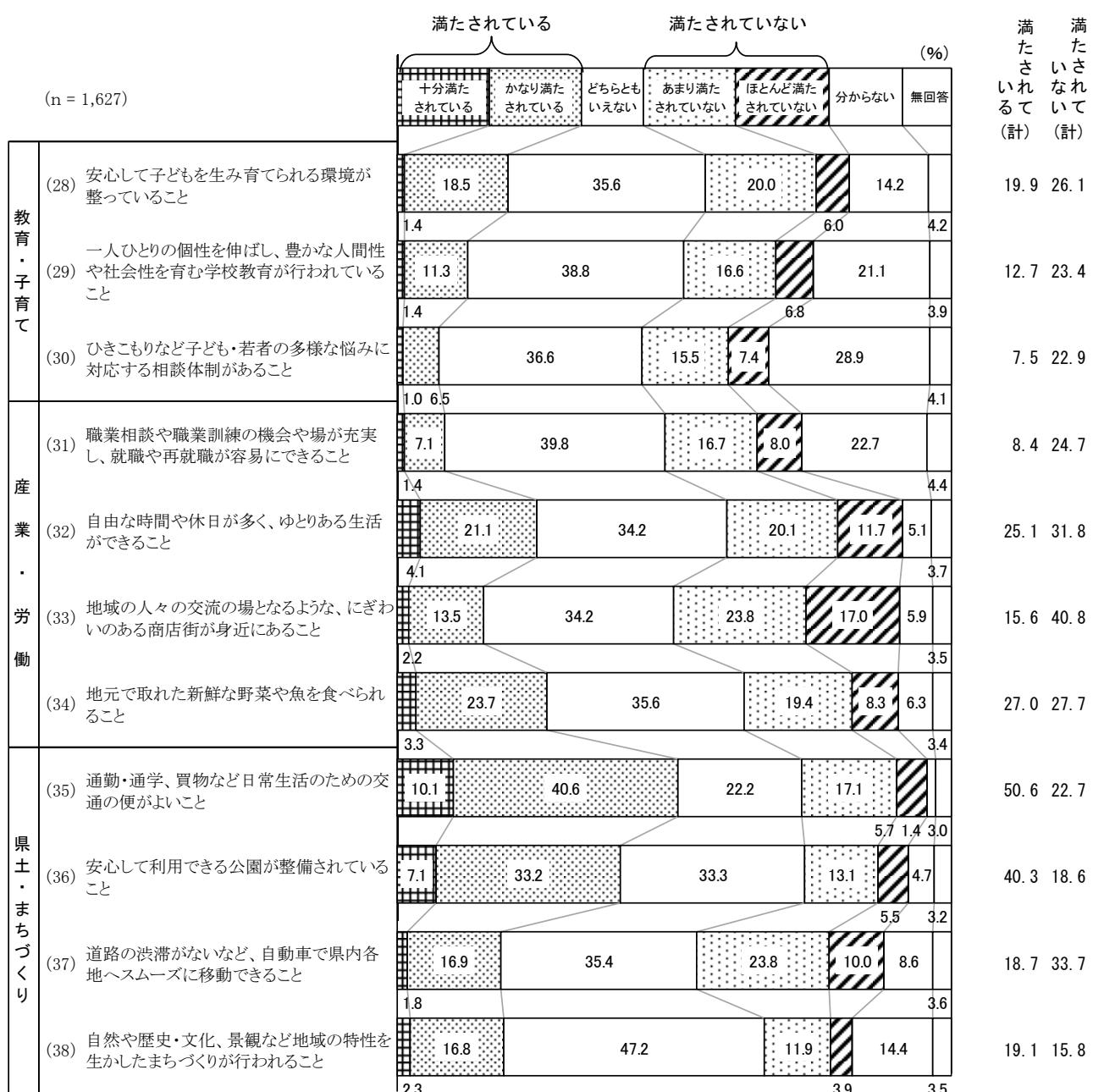
図表3-2-1 満足度



図表3-2-1 満足度（つづき）



図表3-2-1 満足度（つづき）



## 【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 満足度《満たされている》の上位10項目ー過去との比較

	令和3年度(n = 1,503)	令和4年度(n = 1,404)	令和5年度(n = 1,241)	令和6年度(n = 1,206)	令和7年度(n = 1,627)
1位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(52.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.4%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(51.1%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(48.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(48.3%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.8%)
3位	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.4%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(46.2%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.8%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.4%)
4位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(43.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(45.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(45.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(45.4%)
5位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(43.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(43.7%)	安心して利用できる公園が整備されていること(37.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること(40.3%)
6位	安心して利用できる公園が整備されていること(36.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること(38.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(37.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(35.8%)
7位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(30.3%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(33.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(28.6%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること(32.1%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること
8位	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられることが(29.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらすこと(29.0%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること(27.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらすこと(30.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(30.3%)
9位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.1%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらすこと(26.6%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらすこと(27.8%)
10位	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらすこと(26.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられることが(27.9%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(25.8%)	安全で安心な消費生活が送れること(28.4%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられることが(27.0%)

※「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」、「過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B（103～112ページ）を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 満足度《満たされていない》の上位10項目ー過去との比較

	令和3年度(n = 1,503)	令和4年度(n = 1,404)	令和5年度(n = 1,241)	令和6年度(n = 1,206)	令和7年度(n = 1,627)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.2%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(44.4%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(39.2%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.8%)
2位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(38.2%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.7%)
3位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.2%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.3%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(34.9%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(34.1%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(31.8%)
4位	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(33.8%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(33.5%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(34.6%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(31.6%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(30.6%)
5位	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(32.4%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(33.3%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.5%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(30.4%)
6位	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(32.3%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.6%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(30.3%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.7%)
7位	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(31.9%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.8%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるよう支援体制が整っていること(29.0%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.9%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.7%)
8位	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(30.0%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(31.9%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(28.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(26.9%)
9位	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.5%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていていること(28.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.8%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(26.8%)
10位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(29.3%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるよう支援体制が整っていること(28.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(28.3%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(26.1%)

※「高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は令和5年度より削除

※「太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B (103~112 ページ) を参照

図表3-2-4 満足度《満たされている》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目 地 域	(35)	(5)	(10)	(14)	(36)	(11)	(12)	(34)
上段：順位 下段：(%)	い生通 こ活勤 との・ た通 め学 の交買 通物 のな 便ど が日 よ常	らも病 れ適氣 る切や こなけ と診が 断の時 や治に、 療がい 受つ けで	辺身 が近 ある親 こなけ と診が 断の時 や治に、 療がい 受つ けで	て質水 いな源 る水地 こがの と安森 定林が て守供 られ、 され良	整安 備心 されて 利用で きること と公 園が	な大 ど大 気汚 染、 害が 水質汚 濁、 と騒 音	る資 過 こ源 とゴ 循ミ 資源 環の 利リの 用サ 消費 がイ 進ク がん ル抑 でな 制い どさ	魚地 を元 で取 られ た新 鮮な 野菜 や
全 体 (n=1,627)	① 50.6	② 47.8	③ 47.4	④ 45.4	⑤ 40.3	⑥ 35.8	⑦ 30.3	⑩ 27.0
横 浜 (n= 617)	① 57.5	② 49.1	③ 45.7	⑤ 45.2	④ 45.4			
川 崎 (n= 237)	① 63.7	② 50.6	⑤ 36.3	④ 37.1	③ 38.8			
相模原 (n= 107)	⑤ 43.0	② 47.7	④ 43.9	① 50.5	② 47.7			
横須賀三浦 (n= 144)		② 47.9	① 56.3	④ 38.2		⑤ 35.4		③ 45.1
県 央 (n= 150)	② 46.7	⑤ 36.7	① 50.0	③ 44.0	④ 43.3			
湘 南 (n= 235)	④ 42.6	③ 50.2	① 55.3	② 53.6	⑤ 40.9			⑤ 40.9
県 西 (n= 73)		④ 43.8	② 57.5	① 61.6		③ 46.6	⑤ 41.1	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-5 満足度《満たされていない》の上位項目—地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(33)	(37)	(32)	(15)	(16)	(25)	(34)	(4)	(3)	(28)	(31)	(21)	(35)
地 域 上段：順位 下段：(%)	とにかく地域の人のいのいる交流店街がと身なるによあるな、こ	各地路への渋滞がないなど、自動車と車で県内	生活がなで時間がとれることが多い、ゆとりある	ギー電力の導入や利用が増えなど、再生可能エネルギーと車で県内	次世代に自ら車の普及が進んで、再生可能エネルギーと車で県内	分男女で個性と能力を發揮できること	れ地元で個性と能力を發揮できること	安全で安心な消費生活が送れること	整つていて、地元で個性と能力を發揮できること	が安心していいることを生み育てられる環境	し、職業相談や職業訓練の機会や場ができる充実	るなどにより、行政の情報公開や情報提供、開かれた県政供に、県民参加	の通勤交通・通学、買物など日常生活のため
全 体 (n=1,627)	① 40.8	② 33.7	③ 31.8	④ 30.6	⑤ 30.4	⑥ 28.7	⑦ 27.7	⑧ 26.9	⑨ 26.8	⑩ 26.1	⑯ 24.7	㉐ 23.4	㉓ 22.7
横 浜 (n= 617)	① 38.1	③ 30.3	② 32.7			④ 30.0	⑤ 29.8						
川 崎 (n= 237)	① 40.9	④ 31.2	③ 31.6	⑤ 29.5			② 34.6						
相模原 (n= 107)	① 50.5	⑤ 37.4	③ 40.2				② 41.1			④ 38.3			
横須賀三浦 (n= 144)	② 41.0	① 43.8	④ 31.9	④ 31.9	④ 31.9	④ 31.9						③ 35.4	
県 央 (n= 150)	① 42.7	② 38.7		④ 32.7	③ 36.0			④ 32.7					
湘 南 (n= 235)	① 41.7	② 38.7		④ 36.2	③ 37.9				⑤ 29.8				
県 西 (n= 73)	① 47.9		② 39.7	④ 32.9		④ 32.9				③ 37.0	④ 32.9	④ 32.9	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-6 満足度《満たされている》の上位項目一性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目 性・年代	(35)	(5)	(10)	(14)	(36)	(11)	(12)	(18)	(1)	
上段：順位 下段：(%)	の通勤め・の通交学、通の買便物がなよどい日こ常と生活	と切病な気診や断けやが治の療時がに受けいらつれでるもこ適	と身近にと親しめるみどりや水辺が	ある水源安地定のし森林供が給守され、てい良る質こな	と水水源安地定のし森林供が給守され、てい良る質こな	さ安心してい利用でき公園が整備	の大公気害汚染、な水こ質汚濁、騒音など	環ゴ過利ミ資源進んイ消費など抑制資源の循	や運動場が身近に整つて親いいる機会	心犯してやく交通事故がことなく安全で安
全 体 (n=1,627)	① 50.6	② 47.8	③ 47.4	④ 45.4	⑤ 40.3	⑥ 35.8	⑦ 30.3	⑦ 30.3	⑨ 27.8	
男 性 (n= 727)	① 51.6	② 48.3	③ 46.6	④ 44.7	⑤ 41.0					
女 性 (n= 809)	① 50.6	③ 48.2	② 48.3	④ 47.1	⑤ 40.5					
男性18～29歳 (n= 31)	② 58.1	① 61.3	③ 54.8			③ 54.8			③ 54.8	
30歳代 (n= 73)	② 53.4	① 56.2	④ 47.9	③ 49.3				⑤ 45.2		
40歳代 (n= 122)	③ 43.4	① 45.9	① 45.9	⑤ 41.0	③ 43.4					
50歳代 (n= 179)	① 52.5	③ 40.2	② 48.6	④ 38.0	⑤ 36.9	⑤ 36.9				
60歳代 (n= 146)	① 55.5	② 46.6	③ 43.8	③ 43.8	⑤ 37.7					
70～74歳 (n= 76)	① 52.6	① 52.6	④ 48.7	③ 51.3	⑤ 42.1					
75歳以上 (n= 100)	③ 50.0	① 55.0	⑤ 43.0	② 54.0	④ 47.0					
女性18～29歳 (n= 48)	① 62.5	① 62.5	③ 47.9	③ 47.9				③ 47.9		
30歳代 (n= 105)	③ 51.4	① 55.2	② 54.3		④ 45.7	⑤ 41.9				
40歳代 (n= 171)	① 56.1	③ 47.4	② 52.0	⑤ 44.4	④ 46.2					
50歳代 (n= 191)	① 48.2	① 48.2	④ 46.1	③ 47.6	⑤ 39.3					
60歳代 (n= 140)	③ 42.9	③ 42.9	① 47.9	② 47.1		⑤ 40.0				
70～74歳 (n= 45)	③ 42.2	④ 35.6	② 46.7	① 53.3				⑤ 33.3		
75歳以上 (n= 106)	② 52.8	③ 49.1	④ 43.4	① 54.7		⑤ 41.5	⑤ 41.5			

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-7 満足度《満たされていない》の上位項目一性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号)	(33)	(37)	(32)	(15)	(16)	(25)	(34)	(4)	(3)	(28)	(23)	(9)	(2)	(8)	(19)	(22)	(31)	(7)	(21)	(29)	(30)	(11)	(35)	(18)	(24)	民間の国際交流・協力活動が活発であること	
項目	身地近きこと 地域にある人々の交流の場となるよう、にぎわいのある商店街があること	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができるること	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー「能エネルギー」の導入や利用が進んでいます	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいます	女性にかかるわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	安全で安心な消費生活が送れること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること	農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるよう支援が十分受けられる場合に、適切かつ細かな支援が十分受けられることがあります	犯罪被害にあった場合に、適切かつ細かな支援が十分受けられることがあります	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできることがあります	外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合って共に暮らすことがあります	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるよう支援が十分受けられることがあります	教育が行われていること	豊かな人間性や社会性を育む学校で多くの公害がないことがあります	一人ひとりの個性を伸ばし、誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持つことです	行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県が行政の運営にあります	教育が行われていること	ひきこもりなど子ども・若者の多様な悩みに対応する相談体制があります	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないことがあります	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいことがあります	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていることがあります	お住まいの市町村において、観光客を受け入れることについて
性・年代	上段：順位 下段：(%)																										
全 体 (n=1,627)	① 40.8 ② 33.7 ③ 31.8 ④ 30.6 ⑤ 30.4 ⑥ 28.7 ⑦ 27.7 ⑧ 26.9 ⑨ 26.8 ⑩ 26.1 ⑪ 25.3 ⑫ 25.1 ⑬ 24.9 ⑭ 24.8 ⑮ 24.8 ⑯ 24.7 ⑰ 24.6 ⑱ 23.4 ⑲ 22.9 ⑳ 22.7 ㉑ 22.7 ㉒ 21.6 ㉓ 20.5 ㉔ 18.5	① 39.3 ② 39.2 ③ 33.1 ④ 33.4																									
男 性 (n= 727)	① 39.3 ② 39.2 ③ 33.1 ④ 33.4																				⑤ 27.9						
女 性 (n= 809)	① 42.3 ② 29.7 ③ 35.1					③ 30.2		⑤ 28.6																			
男性18～29歳 (n= 31)	⑤ 35.5 ① 45.2				⑤ 35.5	⑤ 35.5	⑤ 35.5			② 41.9	⑤ 35.5				⑤ 35.5		⑤ 35.5	⑤ 35.5	⑤ 35.5	⑤ 35.5			② 41.9 ⑤ 35.5	④ 38.7			
30歳代 (n= 73)	② 38.4 ① 41.1 ③ 34.2					⑤ 30.1												④ 31.5					⑤ 30.1				
40歳代 (n= 122)	② 45.9 ① 49.2 ③ 34.4						④ 34.4			③ 35.2							④ 34.4										
50歳代 (n= 179)	① 41.9 ② 41.9 ③ 31.3			① 30.2 ④ 30.2	⑤ 29.1																						
60歳代 (n= 146)	④ 39.0 ① 41.8				② 40.4 ② 40.4		⑤ 31.5								⑤ 31.5												
70～74歳 (n= 76)	④ 38.2					① 50.0 ③ 39.5											④ 38.2		② 40.8								
75歳以上 (n= 100)	③ 30.0					② 31.0 ① 33.0	④ 28.0			④ 28.0																	
女性18～29歳 (n= 48)	③ 50.0 ① 56.3		① 56.3								② 52.1					④ 41.7					④ 41.7						
30歳代 (n= 105)	④ 39.0 ① 57.1					⑤ 35.2 ③ 35.2	⑤ 35.2	③ 40.0		② 51.4																	
40歳代 (n= 171)	① 48.0 ② 31.0 ③ 45.0					③ 34.5		⑤ 29.8			⑤ 29.3																
50歳代 (n= 191)	① 40.3 ② 30.9			④ 30.4 ② 31.4																							
60歳代 (n= 140)	① 45.7 ② 30.0				④ 29.3			⑤ 28.6							② 30.0		⑤ 28.6		⑤ 28.6		⑤ 28.6						
70～74歳 (n= 45)				① 48.9 ⑤ 40.0	③ 42.2										② 46.7		③ 42.2										
75歳以上 (n= 106)	① 34.0					② 25.5				④ 24.5 ② 25.5										⑤ 23.6							

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

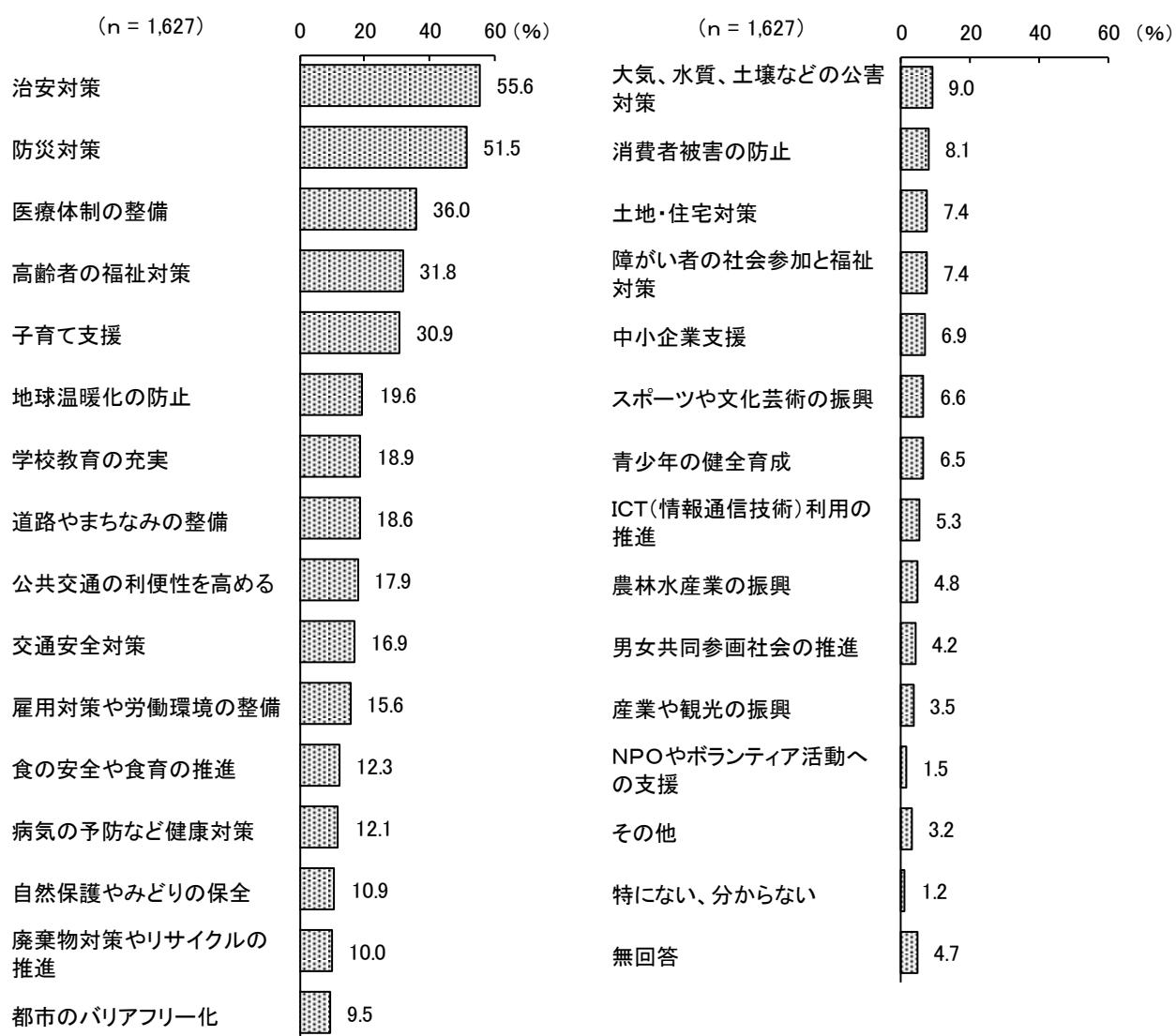
## 第4章 県行政への要望【問8】

### 県行政を進めていくうえで力を入れて取り組んでほしい分野

#### 【全体の状況】

神奈川県の行政を進めていくうえで、力を入れて取り組んでほしい分野について30項目を挙げて複数回答（5つまで選択可）で尋ねたところ、上位5項目は、第1位「治安対策」（55.6%）、第2位「防災対策」（51.5%）、第3位「医療体制の整備」（36.0%）、第4位「高齢者の福祉対策」（31.8%）、第5位「子育て支援」（30.9%）となった。（図表4-1）

図表4-1 県行政への要望（複数回答）



## 【過去との比較】

過去の調査と比較すると、前回調査で第2位であった「治安対策」が第1位となり、第1位であった「防災対策」が第2位となった。上位5項目は、令和3年度以降同じ項目となった。(図表4-2)

図表4-2 県行政への要望（上位10項目）（複数回答）－過去との比較



\*各選択肢の過去との比較については、図表C（113ページ）を参照

図表4-3 県行政への要望（上位項目）（複数回答）－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

選択肢 地域 上段：順位 下段：(%)	治安対策	防災対策	医療体制の整備	高齢者の福祉対策	子育て支援	学校教育の充実
全 体 (n= 1,627)	① 55. 6	② 51. 5	③ 36. 0	④ 31. 8	⑤ 30. 9	⑦ 18. 9
横 浜 (n= 617)	① 60. 6	② 53. 5	③ 37. 3	④ 33. 7	⑤ 32. 9	
川 崎 (n= 237)	① 62. 0	② 56. 5	④ 34. 2		③ 38. 8	⑤ 26. 2
相模原 (n= 107)	① 59. 8	② 47. 7	③ 44. 9	⑤ 31. 8	④ 38. 3	
横須賀三浦 (n= 144)	② 50. 7	① 61. 8	③ 34. 0	④ 31. 3	⑤ 29. 2	
県 央 (n= 150)	① 58. 0	② 49. 3	③ 38. 7	④ 36. 7	⑤ 28. 0	
湘 南 (n= 235)	② 50. 6	① 51. 9	④ 37. 0	③ 37. 9	⑤ 26. 0	
県 西 (n= 73)	① 52. 1	② 49. 3	③ 42. 5	④ 38. 4	⑤ 30. 1	

※各選択肢の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

（県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>）

図表4-4 県行政への要望（上位項目）（複数回答）一性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

選択肢 性・年代 上段：順位 下段：(%)	治安対策	防災対策	医療体制の整備	高齢者の福祉対策	子育て支援	地球温暖化の防止	学校教育の充実	道路やまちなみの整備	公る公共交通の利便性を高め	整雇用対策や労働環境の	食の安全や食育の推進
全体 (n=1,627)	① 55.6	② 51.5	③ 36.0	④ 31.8	⑤ 30.9	⑥ 19.6	⑦ 18.9	⑧ 18.6	⑨ 17.9	⑪ 15.6	⑫ 12.3
男性 (n= 727)	① 58.3	② 51.0	③ 36.9	④ 31.1	⑤ 30.0						
女性 (n= 809)	① 57.2	② 56.0	③ 37.8	④ 35.1	⑤ 34.2						
男性18～29歳 (n= 31)	① 51.6		⑤ 25.8		② 41.9		④ 32.3		③ 35.5		
30歳代 (n= 73)	① 64.4	③ 46.6	④ 28.8		② 50.7						⑤ 24.7
40歳代 (n= 122)	① 61.5	③ 48.4	⑤ 30.3		② 50.0		④ 32.0				
50歳代 (n= 179)	① 58.1	② 52.0	③ 38.5	④ 27.4				⑤ 26.3	⑤ 26.3		
60歳代 (n= 146)	① 59.6	① 59.6	③ 40.4	③ 40.4		⑤ 25.3					
70～74歳 (n= 76)	① 55.3	② 53.9	④ 36.8	② 53.9		⑤ 21.1		⑤ 21.1			
75歳以上 (n= 100)	① 53.0	③ 50.0	④ 46.0	② 52.0		⑤ 34.0					
女性18～29歳 (n= 48)	② 68.8	③ 54.2			① 72.9		④ 25.0			⑤ 22.9	
30歳代 (n= 105)	② 65.7	③ 48.6	⑤ 29.5		① 66.7		④ 39.0				
40歳代 (n= 171)	① 54.4	② 53.2	⑤ 37.4		③ 44.4		④ 40.9				
50歳代 (n= 191)	② 59.7	① 61.3	③ 40.8	④ 38.2	⑤ 26.2						
60歳代 (n= 140)	② 51.4	① 56.4	④ 47.1	③ 50.7		⑤ 27.1					
70～74歳 (n= 45)	① 60.0	① 60.0	④ 40.0	③ 57.8		⑤ 37.8					
75歳以上 (n= 106)	③ 49.1	② 55.7	⑤ 37.7	① 57.5		④ 40.6					

※各選択肢の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)



## 基本調査

### 第IV部 県政への自由意見



## 県政についての自由意見

質問の最後に、県政についての意見や提案などを、内容の分野を選択したうえで自由に記述してもらったところ、回答者1,627人のうち、24.4%に相当する397人から多岐にわたる意見（488件）が寄せられた。

- (1) 安全・安心 …79件
- (2) 健康・福祉 …51件
- (3) エネルギー・環境 …19件
- (4) スポーツ・国際文化・観光 …18件
- (5) 教育・子育て …110件
- (6) 産業・労働 …24件
- (7) 県土・まちづくり …63件
- (8) 県政一般 …32件
- (9) その他 …68件

※ 上記のほか、内容の分野を選択せずに意見の記載があったものが24件あった。



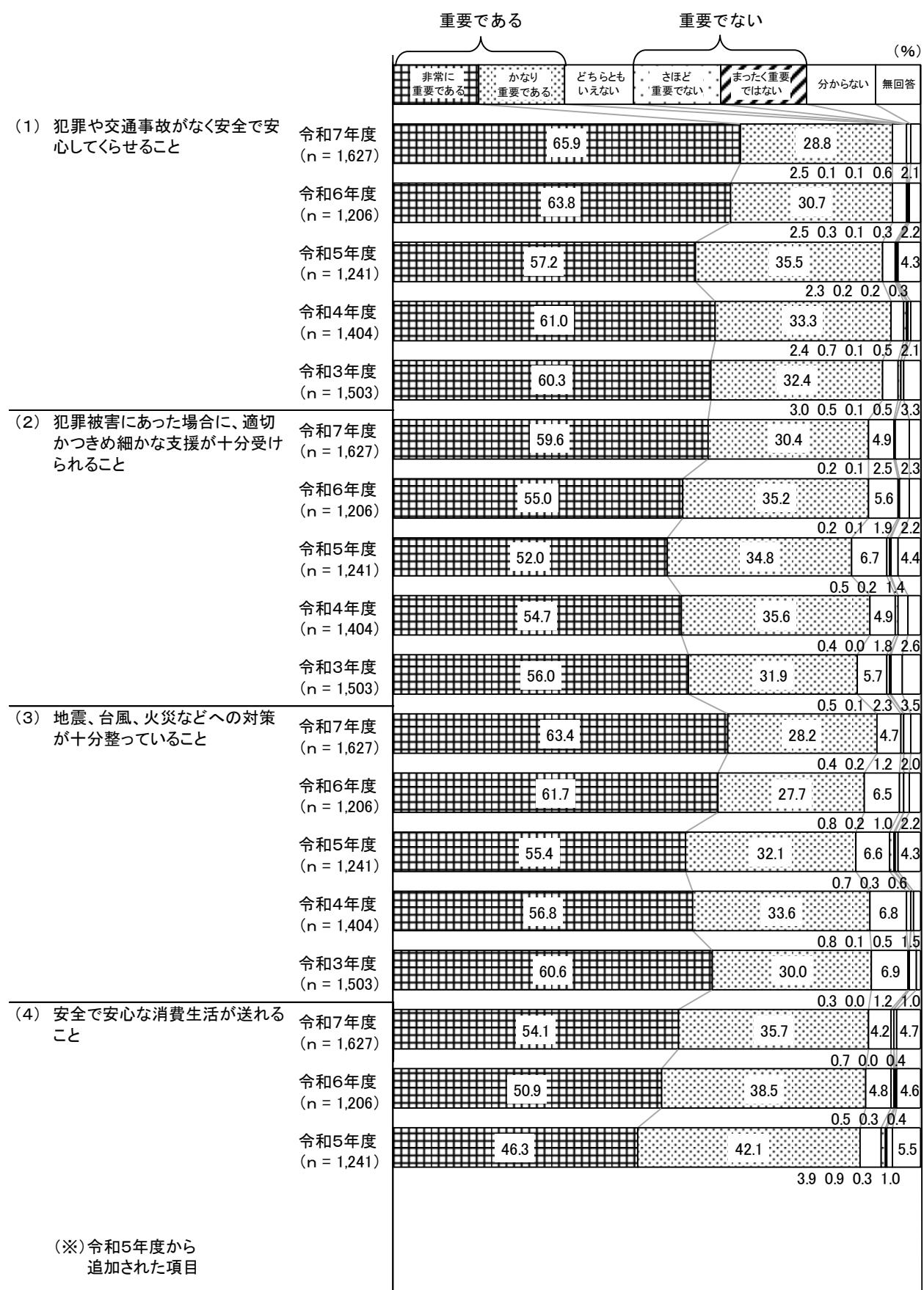
## 第V部 グラフ

### (暮らしの満足度、県行政への要望)

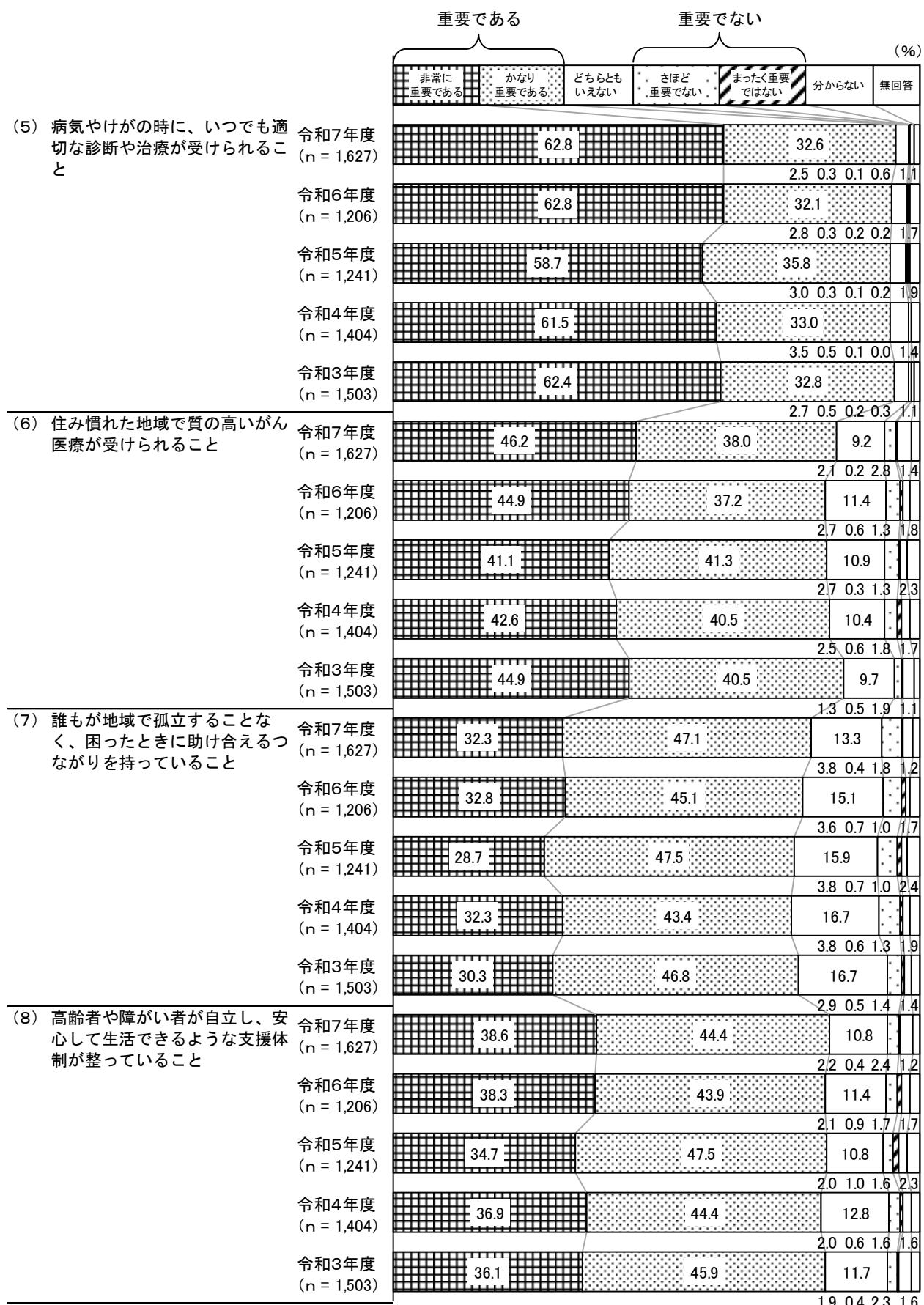
※ 地域、性・年代別の集計表については県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。  
(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)



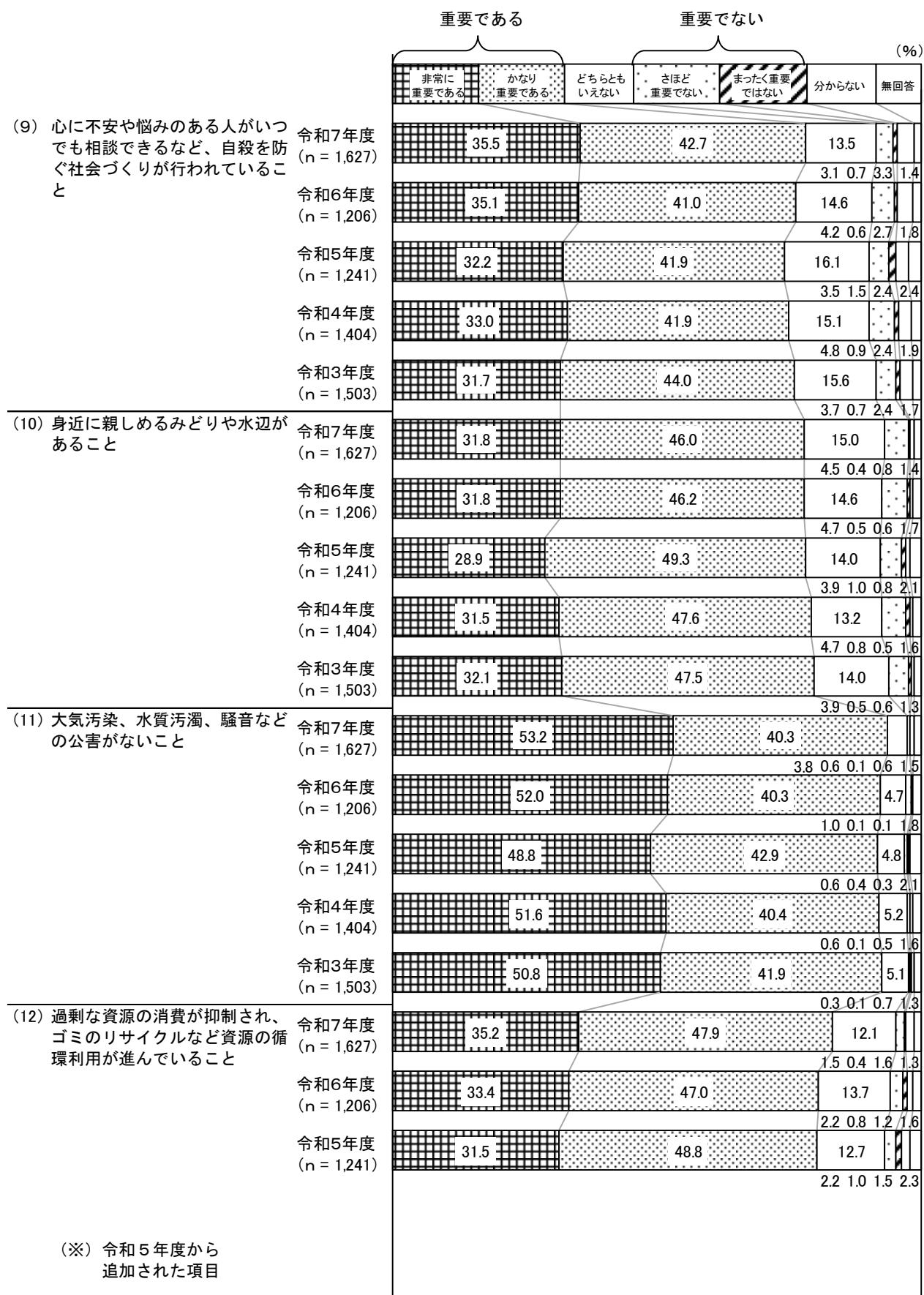
図表A くらしの満足度（重要度）－過去との比較



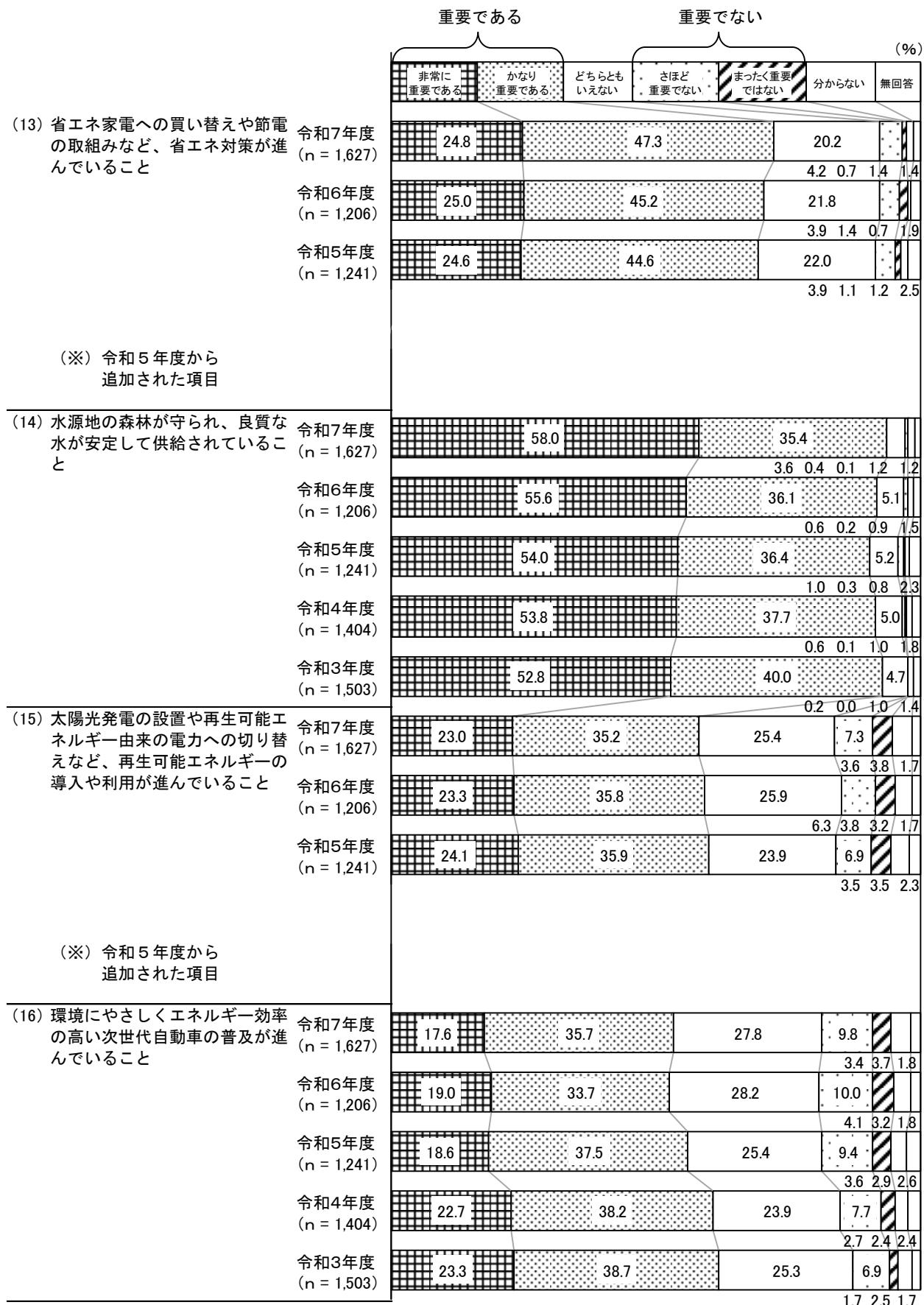
図表A くらしの満足度（重要度）一過去との比較（つづき）



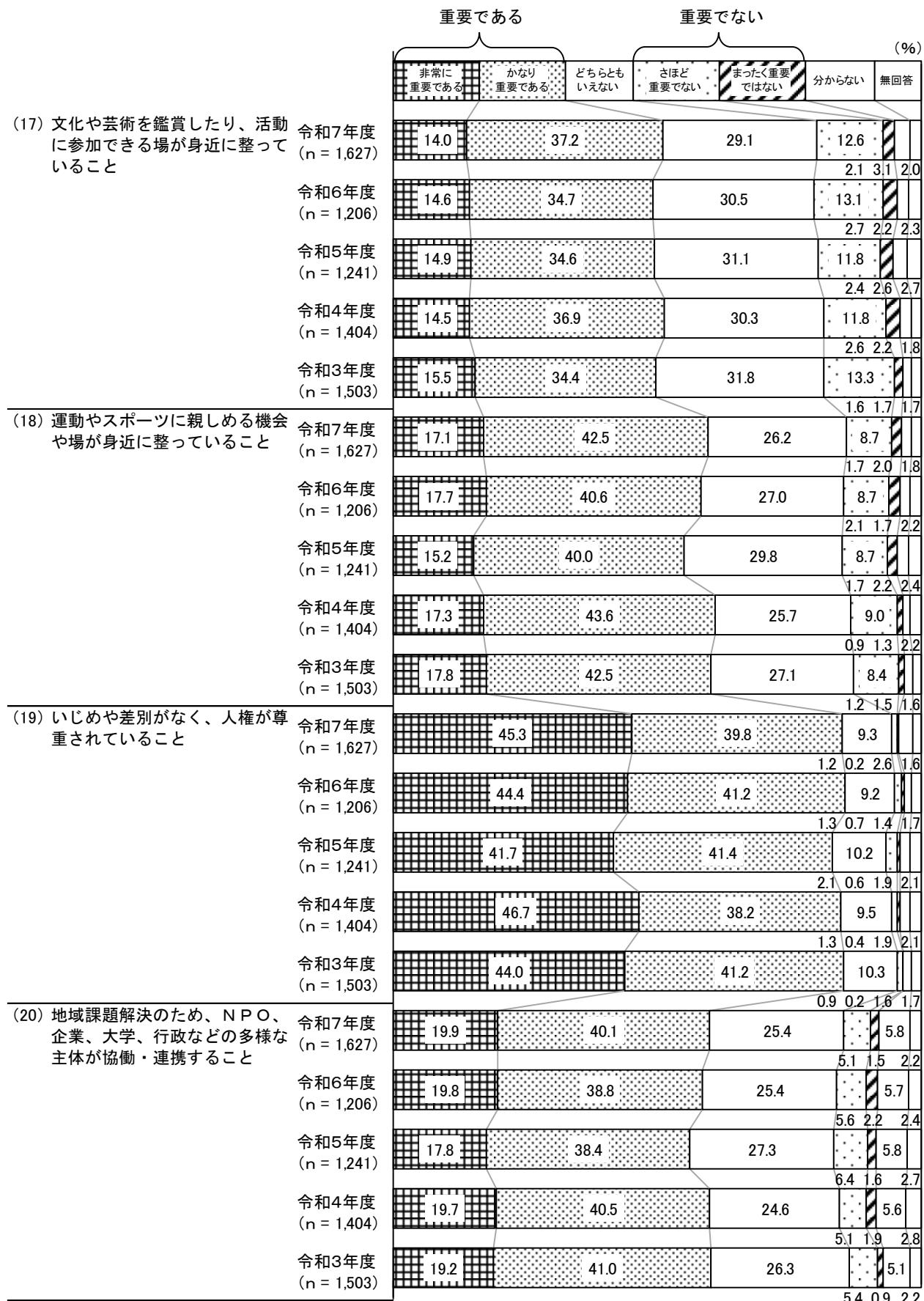
図表A くらしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



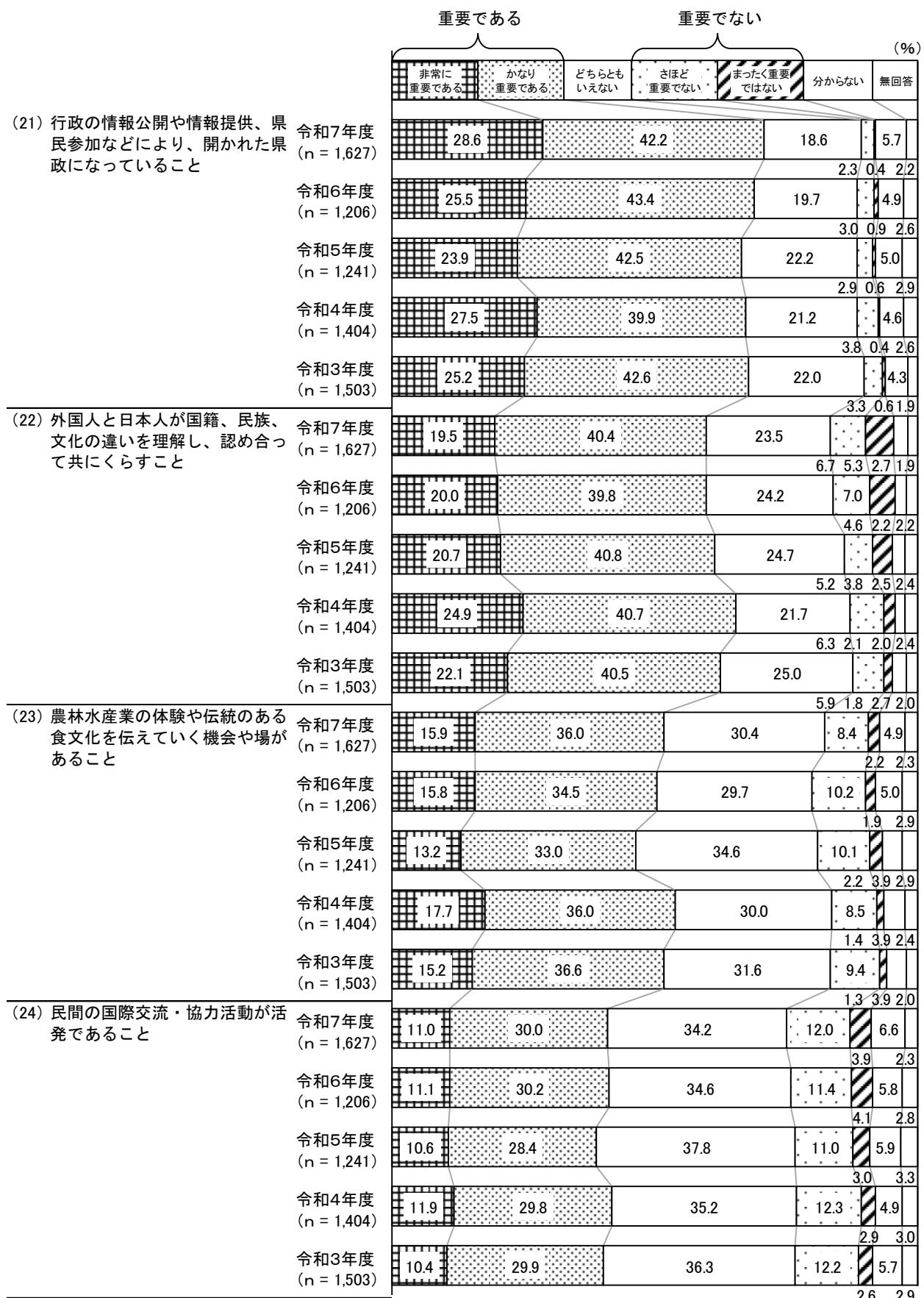
図表A くらしの満足度（重要度）一過去との比較（つづき）



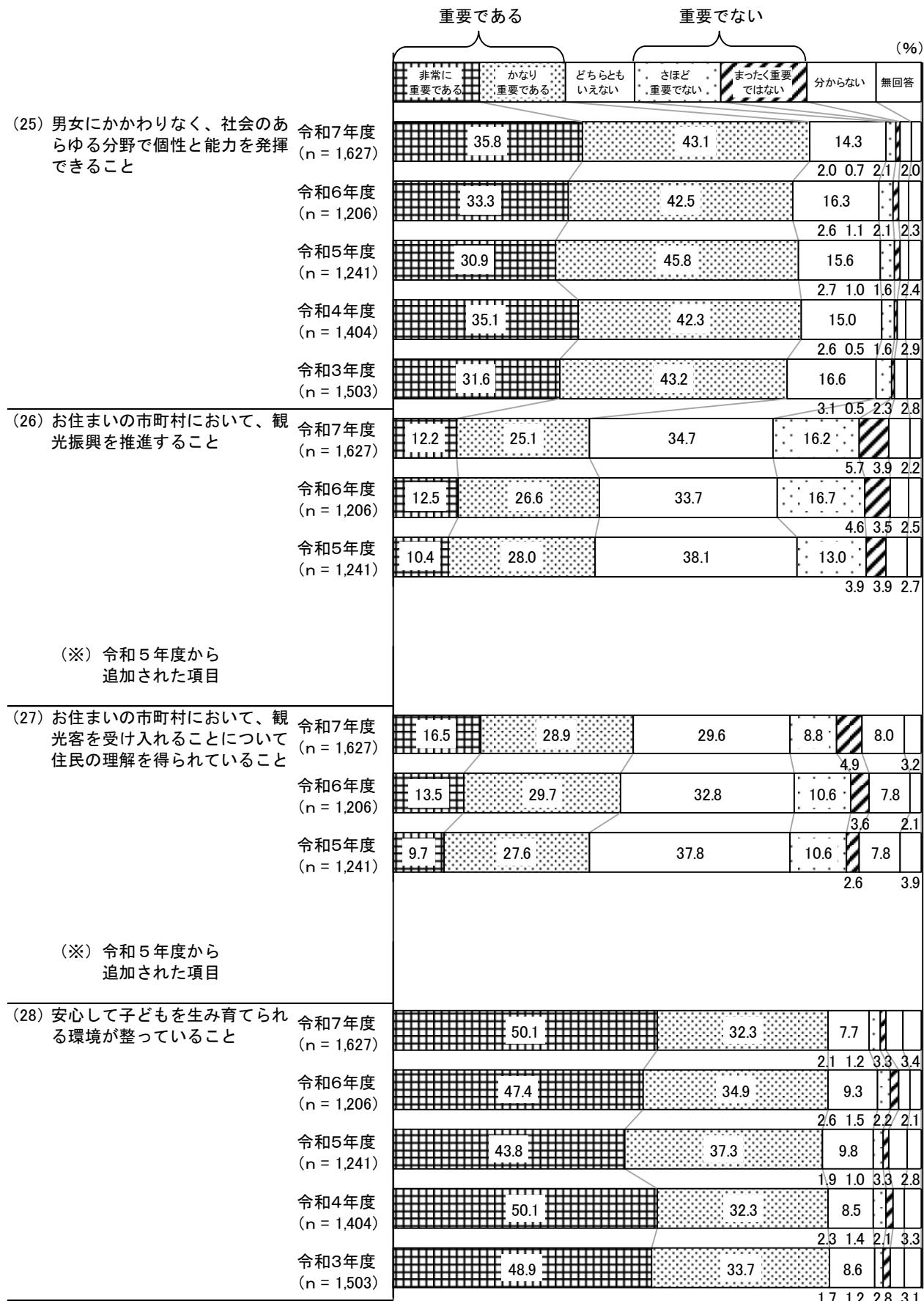
図表A くらしの満足度（重要度）一過去との比較（つづき）



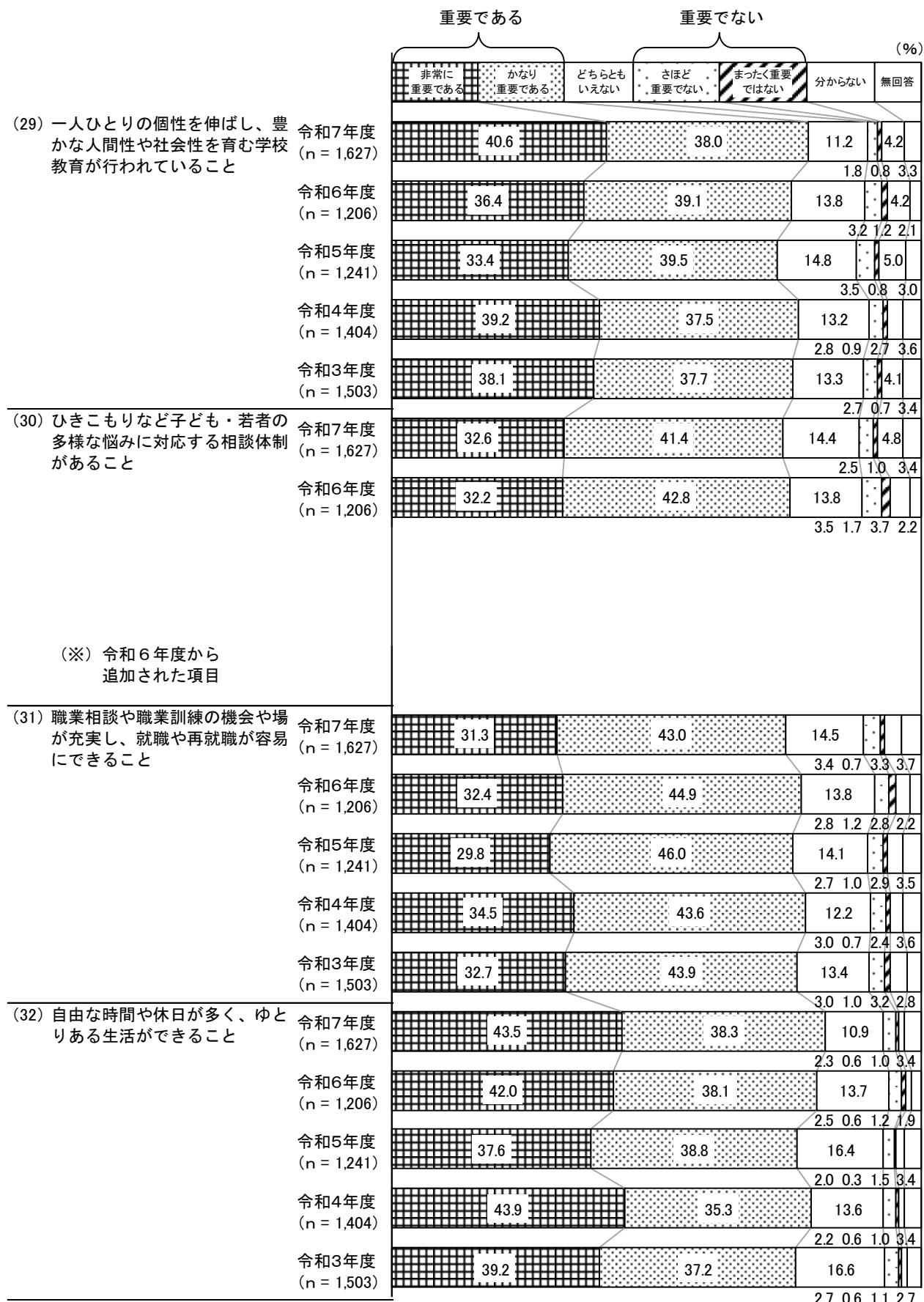
図表A くらしの満足度（重要度）一過去との比較（つづき）



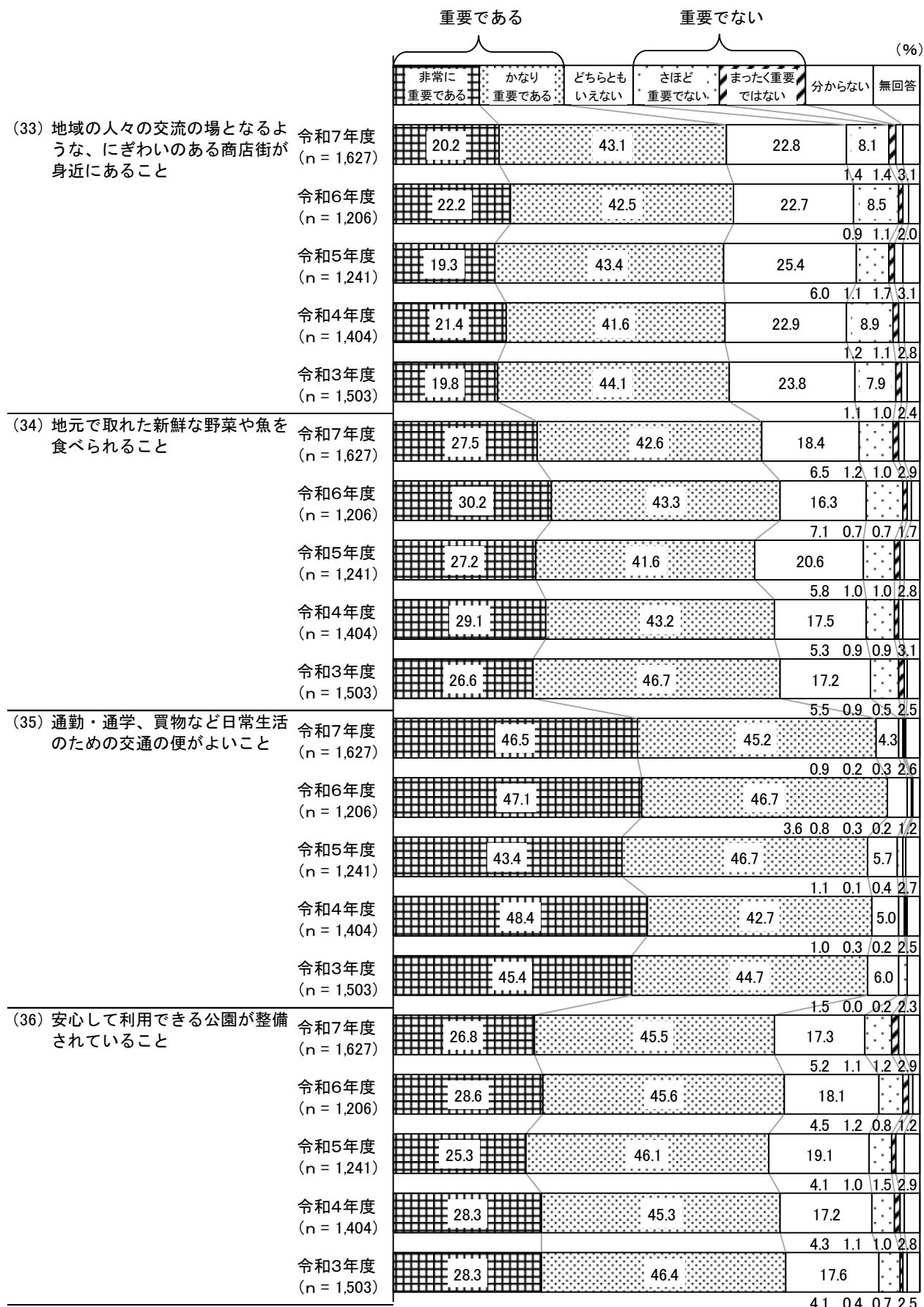
図表A くらしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



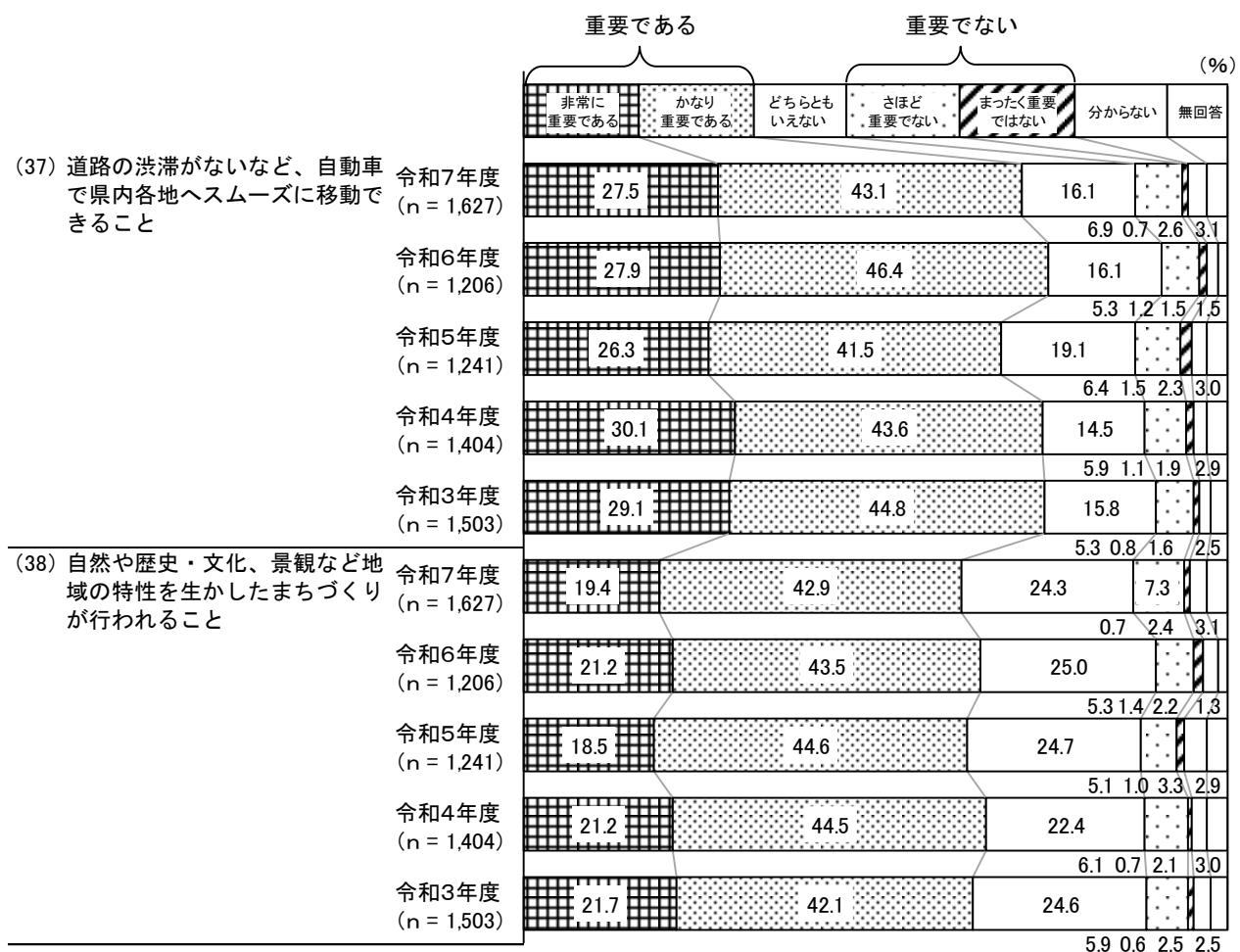
図表A くらしの満足度（重要度）一過去との比較（つづき）



図表A くらしの満足度（重要度）一過去との比較（つづき）



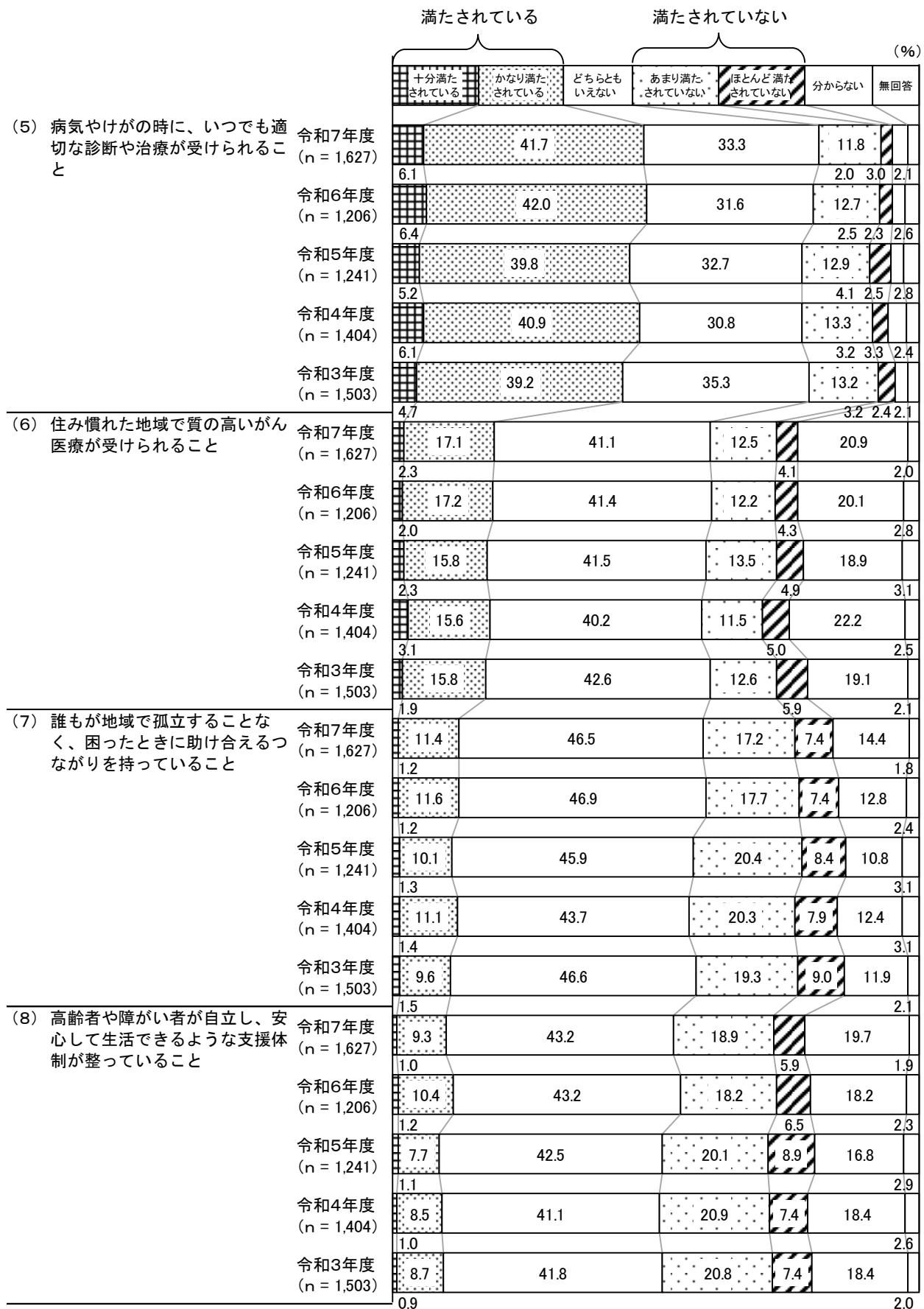
図表A くらしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



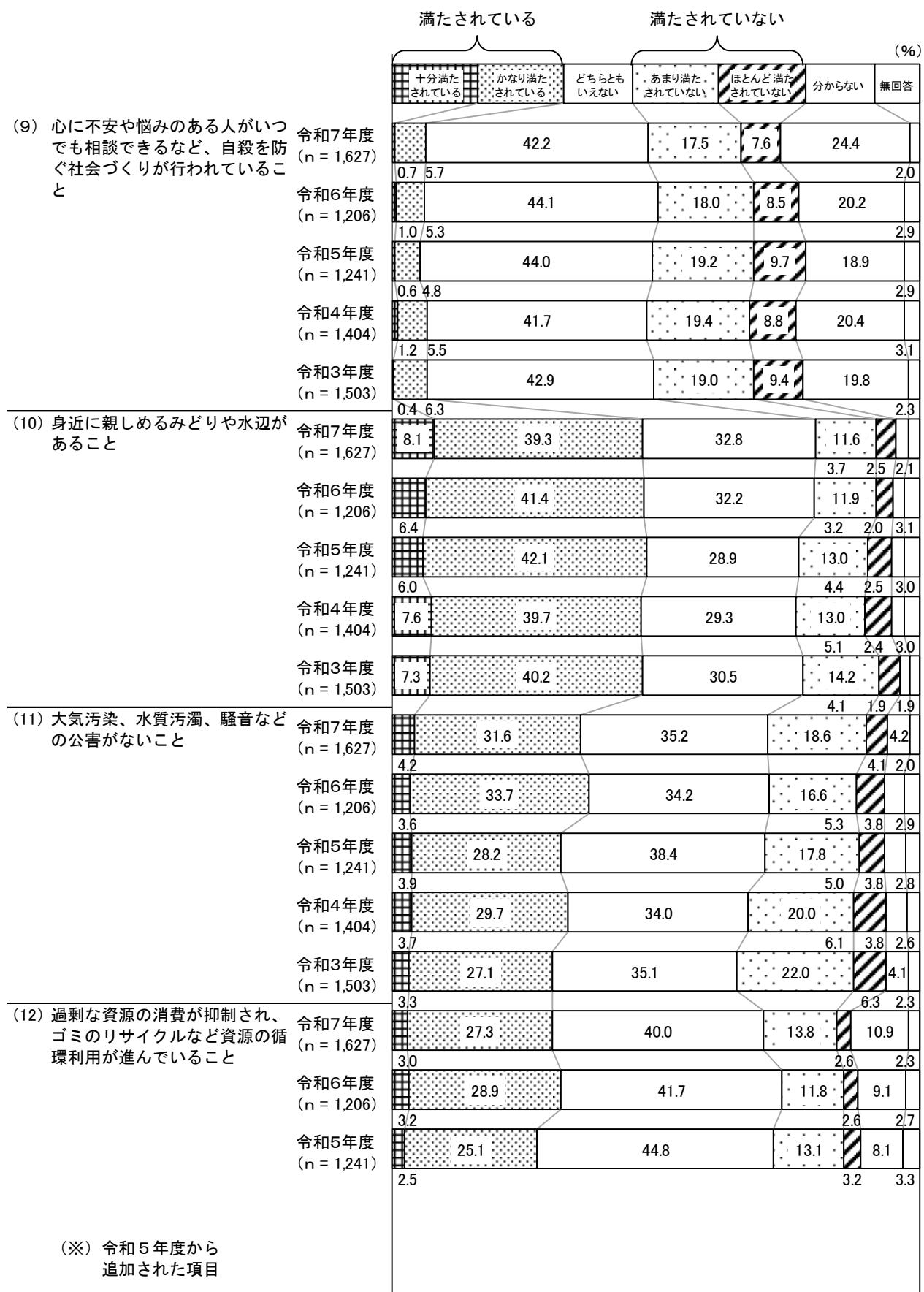
図表B くらしの満足度（満足度）－過去との比較



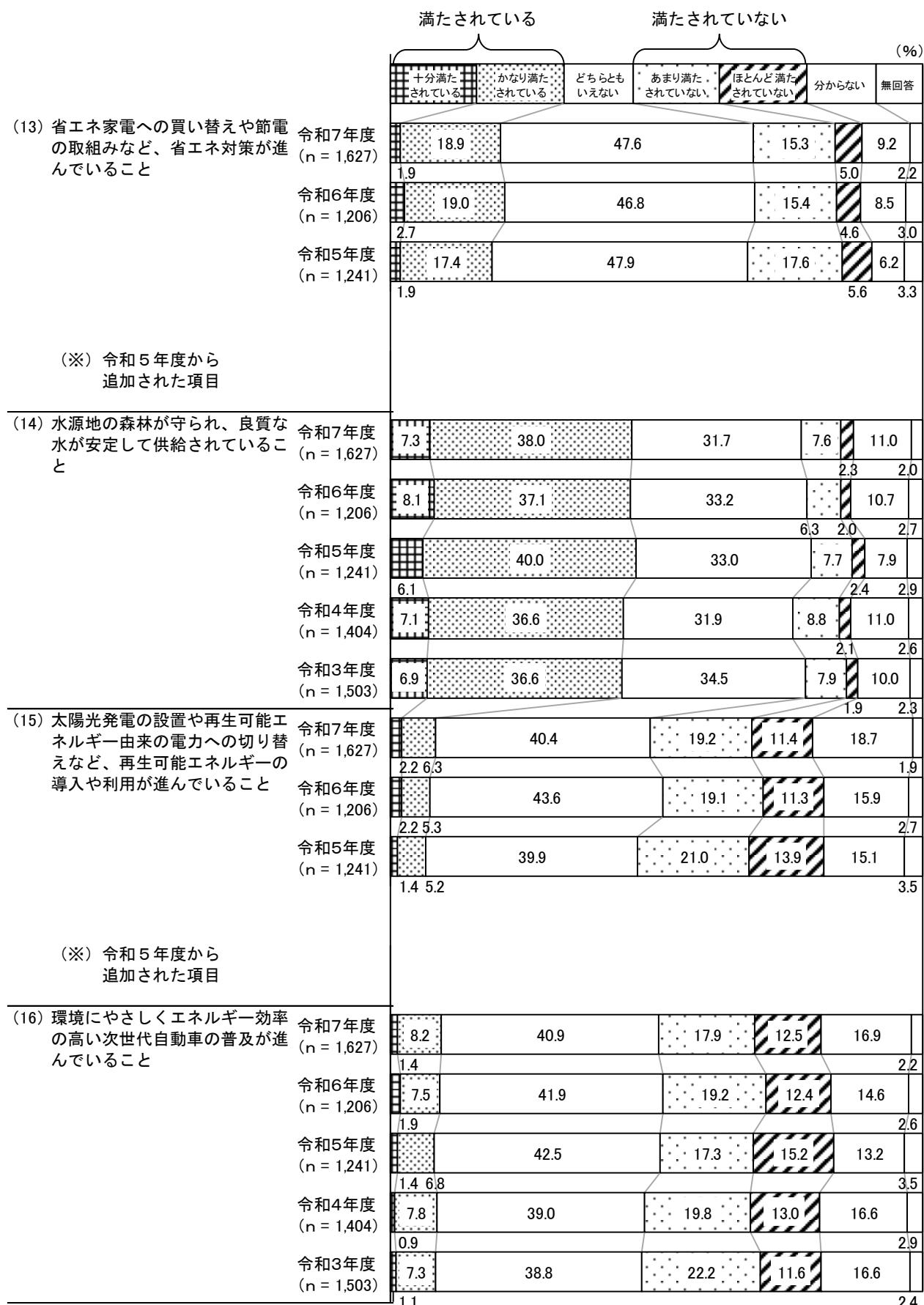
図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



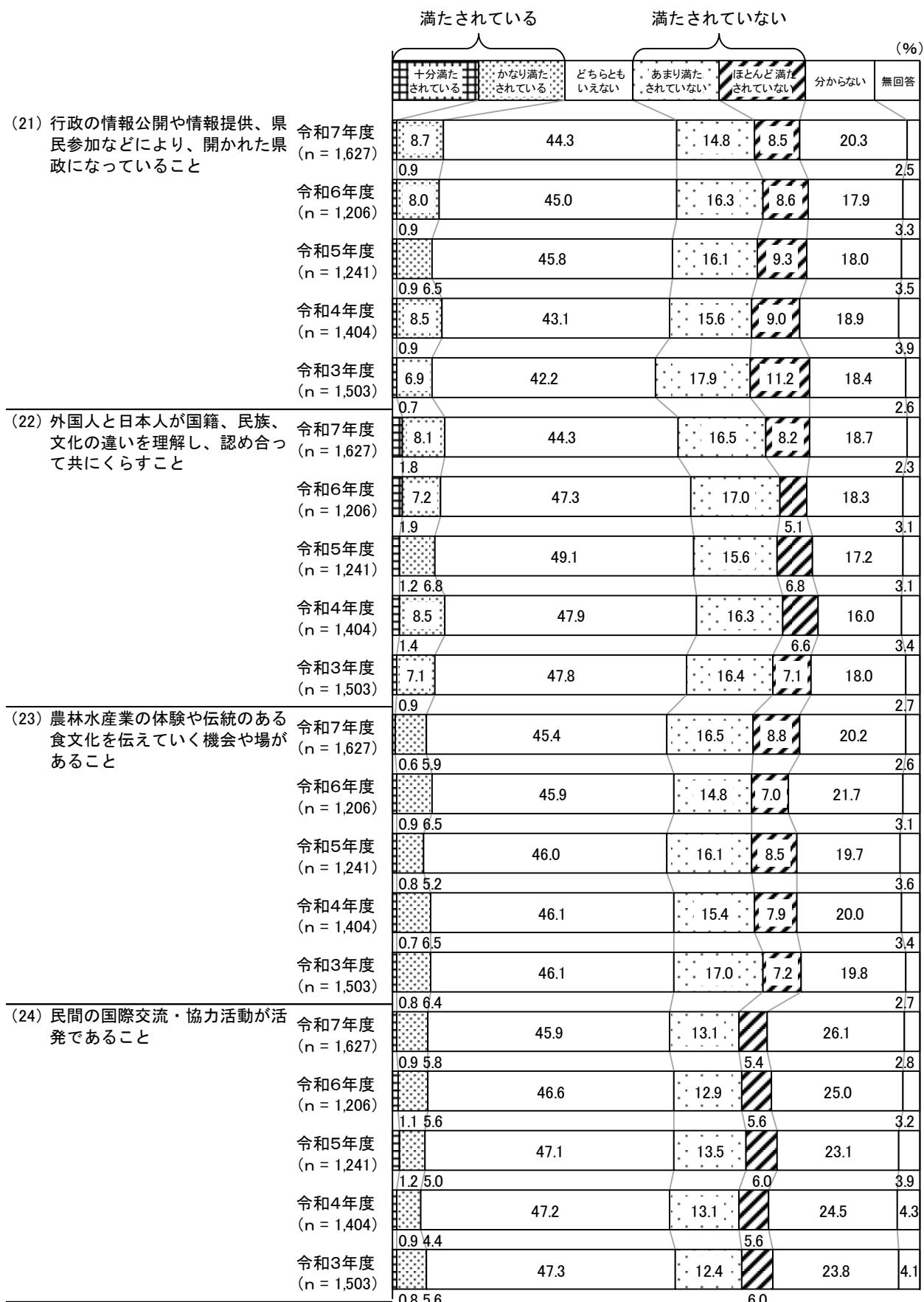
図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



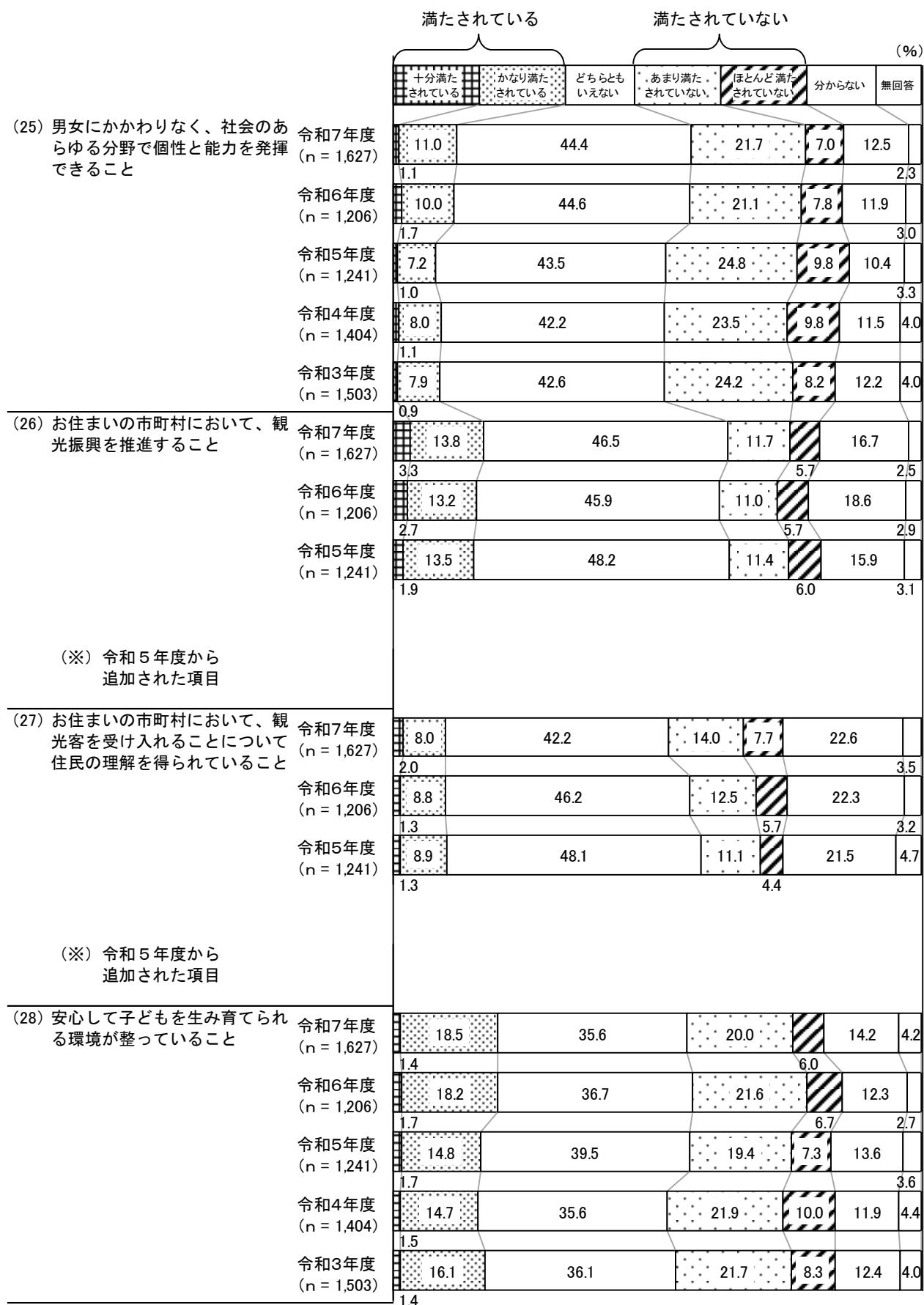
図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



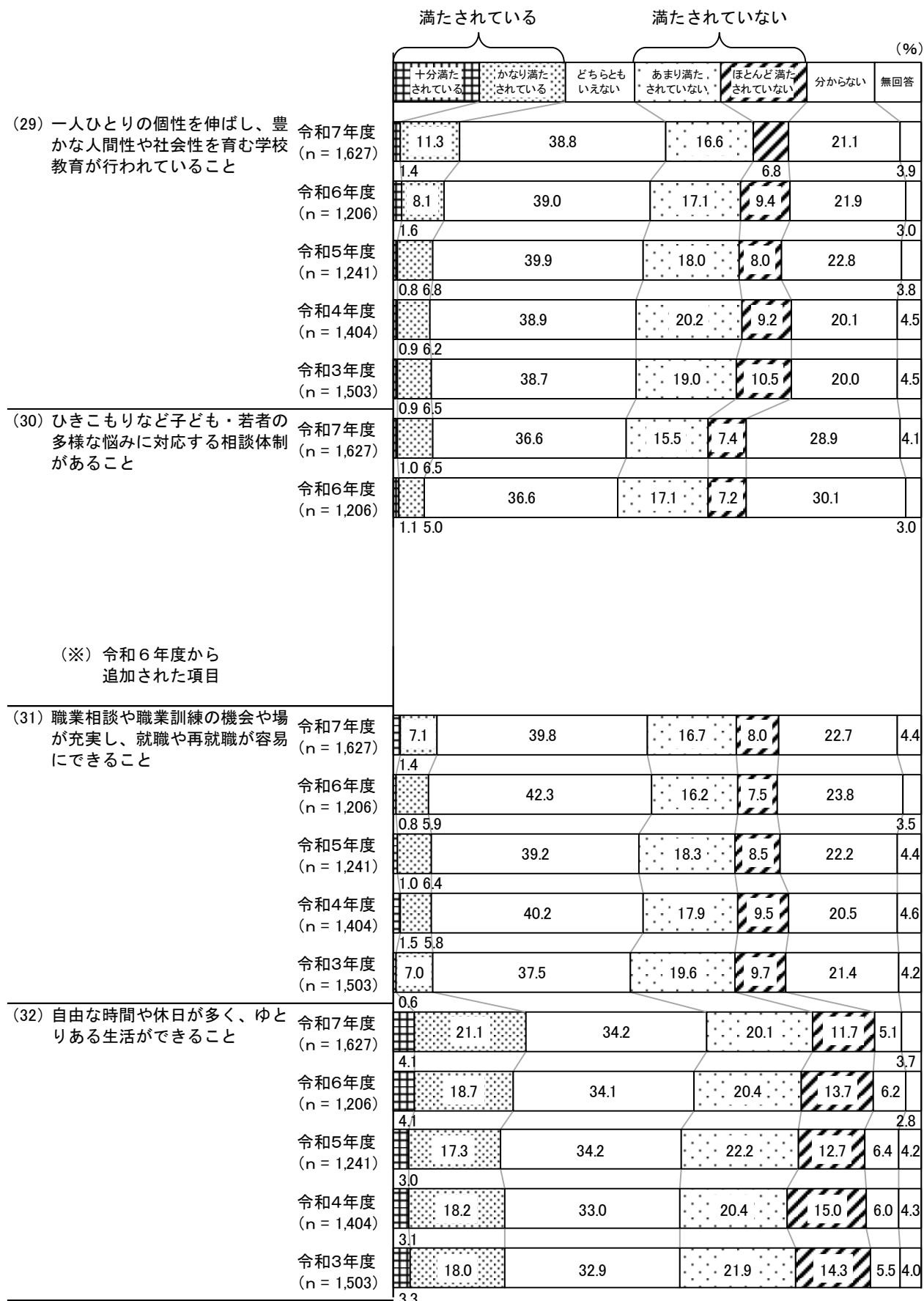
図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



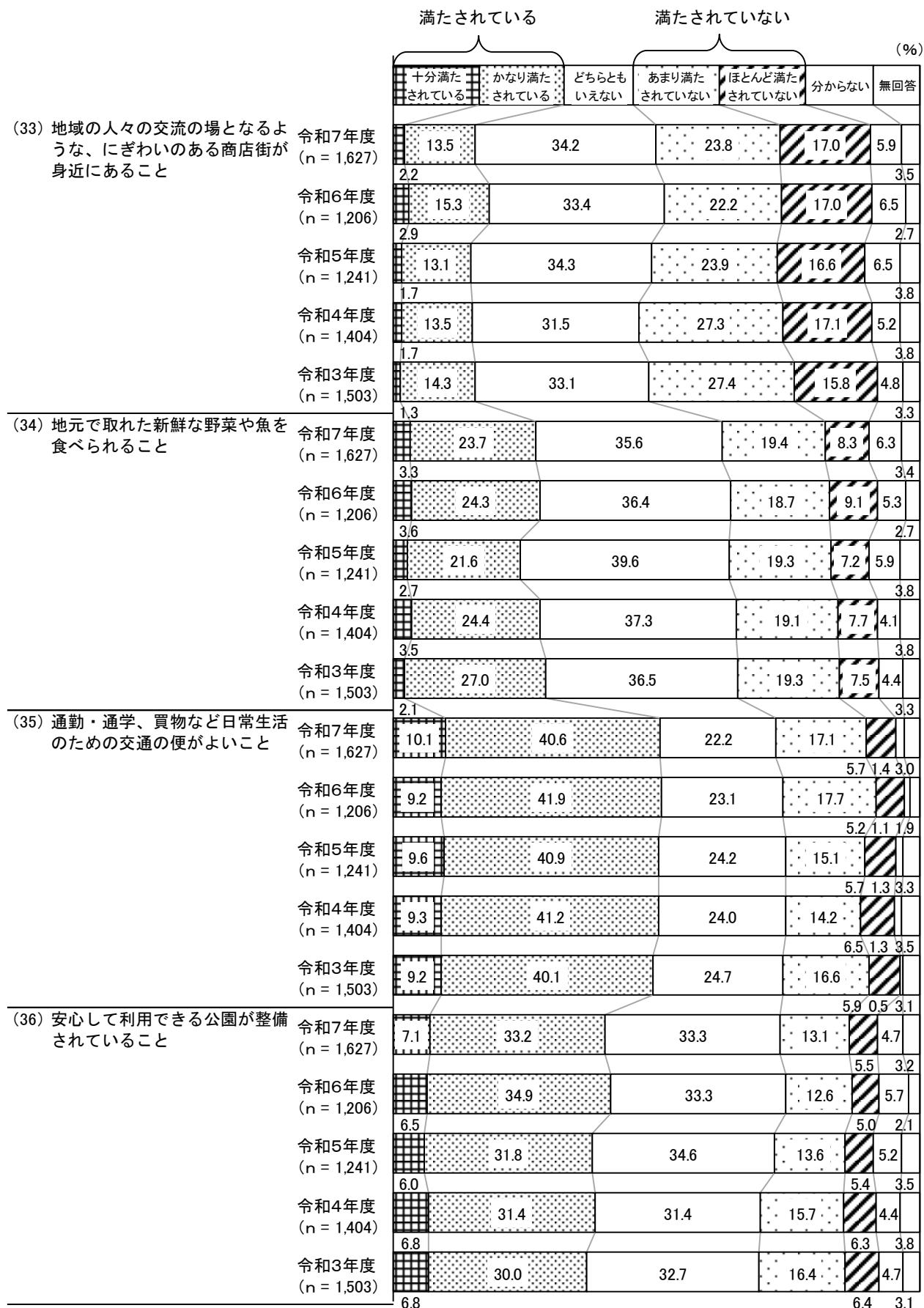
図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



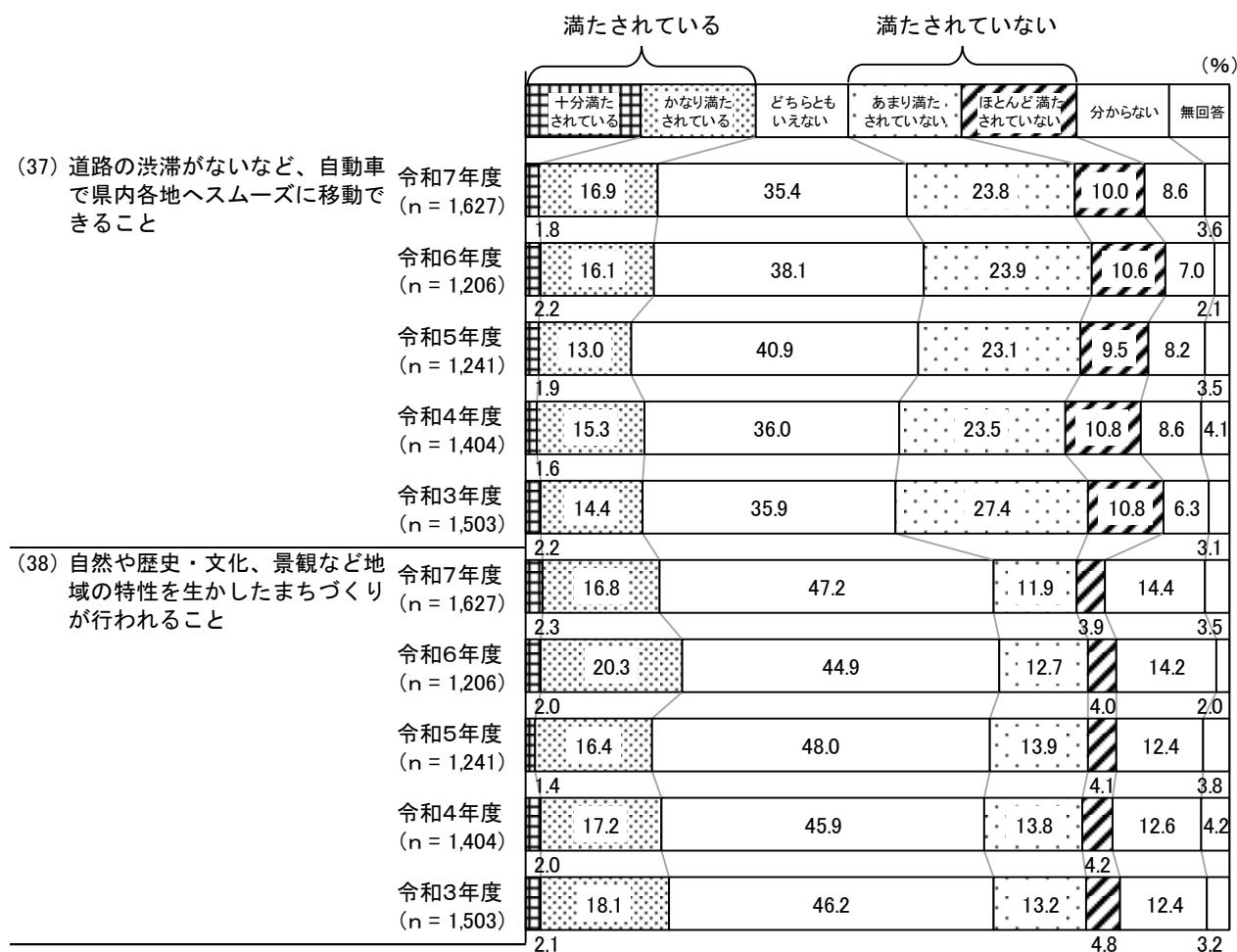
図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



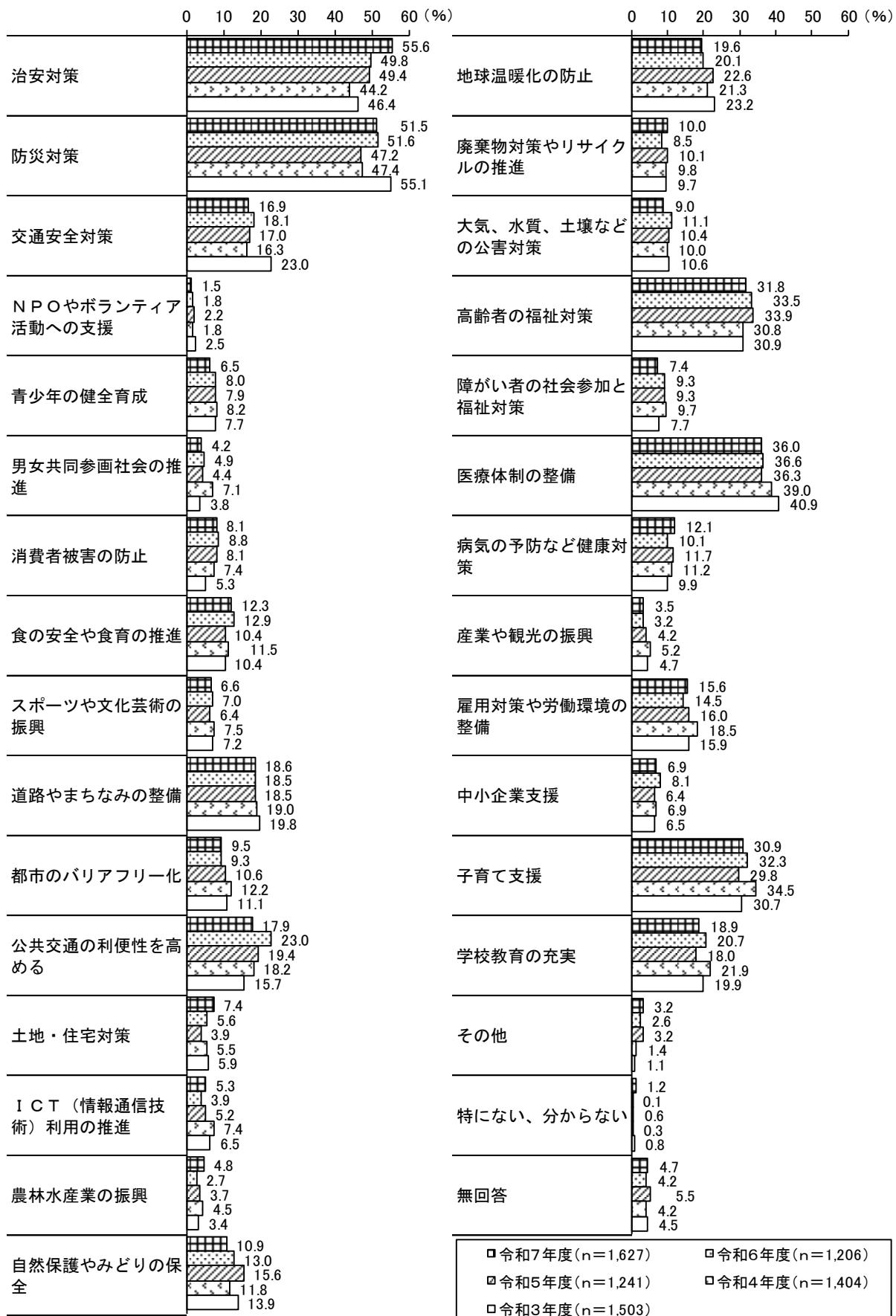
図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



図表B くらしの満足度（満足度）一過去との比較（つづき）



図表C 県行政への要望（複数回答）一過去との比較





## 基本調査

### 第VI部 調査票と単純集計結果



## 調査票と単純集計結果

調査期間 令和7年7月18日～8月12日  
標本設計数 4,000 有効回収数(率) 1,627 (40.7%)  
\* 「n」は、質問に対する回答者の総数を表す。  
「-」は、回答者が皆無であることを示す。  
※ 比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

令和7年度（2025年）

# 神奈川県『県民ニーズ調査』(基本調査)

— 県民の生活と県政についての意識調査 —



神奈川県 PR キャラクター  
かながわキンタロウ

折り目

折り目

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

### ◆ 記入上の留意事項

- 1 この調査のご回答は、封筒のあて名のご本人様にお願いいたします。
- 2 この調査は無記名式です。お名前やご住所の記入は不要です。
- 3 お答えは、直接、この調査票のあてはまる番号を○で囲んでください。
- 4 ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 5 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れ、

8月12日（火）まで にご投函ください。

(切手の貼り付け、お名前やご住所の記入は不要です)

折り目

折り目



※インターネットからもご回答いただけます！  
(左記二次元コードから回答画面へ)

インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

### 【お問い合わせ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

#### ○ お問い合わせフォーム



二次元コードから送信

※8月12日まで受付

#### ○ 電話 (045)210-3672

※ 受付時間 月～金 8:30～17:15

(12:00～13:00 を除く／土日祝日は閉庁)

## くらし全般について

問1 あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。(○は1つ) (n=1, 627) (%)

1 たいへん満足している	5. 3	4 どちらかといえば不満である	16. 1
2 どちらかといえば満足している	45. 5	5 たいへん不満である	5. 5
3 どちらともいえない	22. 4	6 分からない	0. 6
(無回答 4. 5)			

問2 現在のくらし向きは、昨年の今頃と比べていかがですか。(○は1つ) (n=1, 627) (%)

1 よくなつた	1. 9	4 少し悪くなつた	33. 4	
2 少しよくなつた	7. 3	5 悪くなつた	12. 3	
3 変わらない	40. 8	(無回答 4. 2)		
問3にお進みください			問2-1にお答えください	

【問2で「4 少し悪くなつた」「5 悪くなつた」とお答えの方に】

問2-1 悪くなつた理由としてどのようなことがあげられますか。(○はいくつでも) (n=744) (%)

1 賃金などの収入が減ったため	28. 5	6 住宅を購入したため	0. 9
2 倒産・解雇などのため	1. 3	7 低金利が続いているため	7. 1
3 事業などの経費が増えたため	4. 2	8 特別の事情による(結婚、出産、病気など)	11. 4
4 日常の生活費が増えたため	84. 9	9 その他	8. 5
5 教育費が増えたため	14. 1	10 特に理由はない、分からぬ	0. 8
(無回答 -)			

【全員の方がお答えください】

問3 これからあなたのくらし向きの見通しはいかがですか。(○は1つ) (n=1, 627) (%)

1 明るい	3. 0	4 やや暗い	32. 9
2 やや明るい	8. 8	5 暗い	11. 2
3 変わらない	32. 3	6 分からない	7. 9
(無回答 3. 9)			

問4 あなたは、現在お住まいの地域をどの程度住みよいと思しますか。(○は1つ) (n=1, 627) (%)

1 たいへん住みよい	16. 0	4 どちらかといえば住みにくい	6. 3
2 どちらかといえば住みよい	56. 9	5 たいへん住みにくい	1. 4
3 どちらともいえない	15. 0	6 分からない	0. 6
(無回答 3. 7)			

問5 あなたは、今後も現在のところに住み続けたいと思いますか。(○は1つ) (n=1, 627) (%)

1 現在のところに住み続けたい	64. 5	3 神奈川県外へ移りたい	7. 0
2 神奈川県内の他のところへ移りたい	7. 6	4 特に考えていない	17. 3
(無回答 3. 7)			

## 生活意識

問6 あなたは次にあげたことからについてどのように思いますか。

「そう思う」「そう思わない」のどちらかに○をつけてください。(○は1つ)  
(n=1,627) (%)

そう 思う	そう 思わ ない	無 回 答
----------	----------------	-------------

回答例→

①

2

### 【安全・安心】

(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ	69.4	26.1	4.5
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができる いる	47.4	48.0	4.5
(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい	44.4	49.8	5.7

### 【健康・福祉】

(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている	72.8	22.7	4.5
(5) いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方 など、食事のマナーを正しくできている	72.6	22.9	4.4
(6) ゆっくりよく噛んで食べている	53.5	42.0	4.4
(7) 住居の造りや介護サービスの提供が今のような状態の環境では、高齢者 が安心して生活するのはむずかしい	64.1	30.9	5.0
(8) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用で きる、人にやさしいまちになっている	29.7	65.5	4.7
(9) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている	30.6	64.8	4.6

### 【エネルギー・環境】

(10) ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミ を減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている	85.8	10.4	3.8
(11) 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている	89.5	6.7	3.8
(12) 省エネや公共交通機関の利用など、環境にやさしい生活スタイルを心が けている	67.9	27.9	4.2
(13) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていく べきだ	73.3	21.9	4.8

そう思 う	そう思 わない	無回答
----------	------------	-----

「そう思う」「そう思わない」のどちらかに○をつけてください。(○は1つ)  
(n=1,627) (%)

### 【県民生活】

(14) 公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい	20.8	75.4	3.8
(15) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	8.5	88.8	2.7
(16) 女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ	72.5	24.2	3.3
(17) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ	38.7	56.7	4.6
(18) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持てばなくせるものだ	53.2	43.7	3.1
(19) 今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている	15.2	81.3	3.4
(20) 今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている	28.6	66.9	4.4

### 【教育・子育て】

(21) 子どもを生み育てる環境が今のままでは、子どもを持つのはむずかしい	67.0	28.6	4.4
(22) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ	89.9	6.6	3.6
(23) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい	64.7	30.8	4.5
(24) 子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている	24.1	71.1	4.8
(25) 子ども・若者をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい	72.2	23.4	4.4

### 【産業】

(26) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい	83.6	12.7	3.7
---	------	------	-----

「そう思う」「そう思わない」のどちらかに○をつけてください。(○は1つ)  
(n=1,627) (%)

そう思う	そう思わない	無回答
------	--------	-----

### 【県土・まちづくり】

(27) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ	86.2	11.3	2.5
(28) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい	40.1	56.6	3.3
(29) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ	51.0	44.7	4.3
(30) 今後10年くらいの間に、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている	49.5	46.8	3.7

### くらしの満足度

問7 あなたは次にあげたことがらについて、どのくらい重要だと思いますか。また、現在、どの程度満たされていると思いますか。それぞれあてはまるところに1つずつ○をつけてください。

(n=1,627) (%)

#### 重要度

あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。

#### 満足度

あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。

重要度							満足度						
非常に重要である	かなり重要なある	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からぬ	無回答	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からぬ	無回答
回答例→ 1 ② 3 4 5 6	1	2	3	④	5	6							

### 【安全・安心】

(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してくら せること	65.9	28.8	2.5	0.1	0.1	0.6	2.1	2.3	25.4	42.7	21.3	3.7	1.8	2.8
(2) 犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ 細かな支援が十分受けられること	59.6	30.4	4.9	0.2	0.1	2.5	2.3	0.7	5.9	45.4	17.6	7.3	20.1	3.0
(3) 地震、台風、火災などへの対策が十分 整っていること	63.4	28.2	4.7	0.4	0.2	1.2	2.0	0.8	11.7	47.2	20.2	6.6	10.6	2.8

(n=1,627) (%)		重要度							満足度						
		非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要ではない	まったく重要ではない	分からぬ	無回答	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からぬ	無回答
<b>重要度</b> あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。 <b>満足度</b> あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。															
(4) 安全で安心な消費生活が送れること		54.1	35.7	4.2	0.7	-	0.4	4.7	2.1	24.8	38.8	21.6	5.3	1.7	5.7
<b>【健康・福祉】</b>															
(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること		62.8	32.6	2.5	0.3	0.1	0.6	1.1	6.1	41.7	33.3	11.8	2.0	3.0	2.1
(6) 住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること		46.2	38.0	9.2	2.1	0.2	2.8	1.4	2.3	17.1	41.1	12.5	4.1	20.9	2.0
(7) 誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること		32.3	47.1	13.3	3.8	0.4	1.8	1.2	1.2	11.4	46.5	17.2	7.4	14.4	1.8
(8) 高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること		38.6	44.4	10.8	2.2	0.4	2.4	1.2	1.0	9.3	43.2	18.9	5.9	19.7	1.9
(9) 心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること		35.5	42.7	13.5	3.1	0.7	3.3	1.4	0.7	5.7	42.2	17.5	7.6	24.4	2.0
<b>【エネルギー・環境】</b>															
(10) 身近に親しめるみどりや水辺があること		31.8	46.0	15.0	4.5	0.4	0.8	1.4	8.1	39.3	32.8	11.6	3.7	2.5	2.1
(11) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと		53.2	40.3	3.8	0.6	0.1	0.6	1.5	4.2	31.6	35.2	18.6	4.1	4.2	2.0
(12) 過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること		35.2	47.9	12.1	1.5	0.4	1.6	1.3	3.0	27.3	40.0	13.8	2.6	10.9	2.3
(13) 省エネ家電への買い替えや節電の取組みなど、省エネ対策が進んでいること		24.8	47.3	20.2	4.2	0.7	1.4	1.4	1.9	18.9	47.6	15.3	5.0	9.2	2.2
(14) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること		58.0	35.4	3.6	0.4	0.1	1.2	1.2	7.3	38.0	31.7	7.6	2.3	11.0	2.0

(n=1,627) (%)		重要度							満足度						
		非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要ではない	まったく重要ではない	分からぬ	無回答	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からぬ	無回答
<b>重要度</b> あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。 <b>満足度</b> あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。															
(15) 太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること	23.0	35.2	25.4	7.3	3.6	3.8	1.7	2.2	6.3	40.4	19.2	11.4	18.7	1.9	
(16) 環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	17.6	35.7	27.8	9.8	3.4	3.7	1.8	1.4	8.2	40.9	17.9	12.5	16.9	2.2	
<b>【県民生活】</b>															
(17) 文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	14.0	37.2	29.1	12.6	2.1	3.1	2.0	3.0	21.6	41.0	14.6	6.2	11.4	2.2	
(18) 運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること	17.1	42.5	26.2	8.7	1.7	2.0	1.8	4.1	26.2	38.5	15.4	5.1	8.7	2.1	
(19) いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	45.3	39.8	9.3	1.2	0.2	2.6	1.6	2.3	11.5	44.7	17.7	7.1	14.5	2.2	
(20) 地域課題解決のため、NPO、企業、大学、行政などの多様な主体が協働・連携すること	19.9	40.1	25.4	5.1	1.5	5.8	2.2	0.4	6.4	45.1	11.2	5.3	28.8	2.8	
(21) 行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県政になっていること	28.6	42.2	18.6	2.3	0.4	5.7	2.2	0.9	8.7	44.3	14.8	8.5	20.3	2.5	
(22) 外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合って共にくらすこと	19.5	40.4	23.5	6.7	5.3	2.7	1.9	1.8	8.1	44.3	16.5	8.2	18.7	2.3	
(23) 農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること	15.9	36.0	30.4	8.4	2.2	4.9	2.3	0.6	5.9	45.4	16.5	8.8	20.2	2.6	
(24) 民間の国際交流・協力活動が活発であること	11.0	30.0	34.2	12.0	3.9	6.6	2.3	0.9	5.8	45.9	13.1	5.4	26.1	2.8	
(25) 男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること	35.8	43.1	14.3	2.0	0.7	2.1	2.0	1.1	11.0	44.4	21.7	7.0	12.5	2.3	
(26) お住まいの市町村において、観光振興を推進すること	12.2	25.1	34.7	16.2	5.7	3.9	2.2	3.3	13.8	46.5	11.7	5.7	16.7	2.5	

(n=1,627) (%)

<b>重要度</b>	あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。						
<b>満足度</b>	あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。						

重要度							満足度						
非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要ではない	まったく重要なではない	分からぬ	無回答	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からぬ	無回答

(27) お住まいの市町村において、観光客を受け入れることについて住民の理解を得られていること	16.5	28.9	29.6	8.8	4.9	8.0	3.2	2.0	8.0	42.2	14.0	7.7	22.6	3.5
---	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	------	-----

**【教育・子育て】**

(28) 安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること	50.1	32.3	7.7	2.1	1.2	3.3	3.4	1.4	18.5	35.6	20.0	6.0	14.2	4.2
(29) 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	40.6	38.0	11.2	1.8	0.8	4.2	3.3	1.4	11.3	38.8	16.6	6.8	21.1	3.9
(30) ひきこもりなど子ども・若者の多様な悩みに対応する相談体制があること	32.6	41.4	14.4	2.5	1.0	4.8	3.4	1.0	6.5	36.6	15.5	7.4	28.9	4.1

**【産業・労働】**

(31) 職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	31.3	43.0	14.5	3.4	0.7	3.3	3.7	1.4	7.1	39.8	16.7	8.0	22.7	4.4
(32) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	43.5	38.3	10.9	2.3	0.6	1.0	3.4	4.1	21.1	34.2	20.1	11.7	5.1	3.7
(33) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること	20.2	43.1	22.8	8.1	1.4	1.4	3.1	2.2	13.5	34.2	23.8	17.0	5.9	3.5
(34) 地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	27.5	42.6	18.4	6.5	1.2	1.0	2.9	3.3	23.7	35.6	19.4	8.3	6.3	3.4

(n=1,627) (%)

**重要度**

あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。

**満足度**

あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。

重要度							満足度						
非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からぬ	無回答	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からぬ	無回答

**【県土・まちづくり】**

(35) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	46.5	45.2	4.3	0.9	0.2	0.3	2.6	10.1	40.6	22.2	17.1	5.7	1.4	3.0
(36) 安心して利用できる公園が整備されていること	26.8	45.5	17.3	5.2	1.1	1.2	2.9	7.1	33.2	33.3	13.1	5.5	4.7	3.2
(37) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	27.5	43.1	16.1	6.9	0.7	2.6	3.1	1.8	16.9	35.4	23.8	10.0	8.6	3.6
(38) 自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	19.4	42.9	24.3	7.3	0.7	2.4	3.1	2.3	16.8	47.2	11.9	3.9	14.4	3.5

次ページへ続きます

## 県行政への要望

問8 神奈川県の行政を進めていくうえで、力を入れて取り組んでほしい分野は何ですか。次の中から特に取り組んでほしい分野を5つまで選んでください。(○は5つまで) (n=1,627) (%)

1 治安対策	55.6	16 自然保護やみどりの保全	10.9
2 防災対策	51.5	17 地球温暖化の防止	19.6
3 交通安全対策	16.9	18 廃棄物対策やリサイクルの推進	10.0
4 NPOやボランティア活動への支援	1.5	19 大気、水質、土壤などの公害対策	9.0
5 青少年の健全育成	6.5	20 高齢者の福祉対策	31.8
6 男女共同参画社会の推進	4.2	21 障がい者の社会参加と福祉対策	7.4
7 消費者被害の防止	8.1	22 医療体制の整備	36.0
8 食の安全や食育の推進	12.3	23 病気の予防など健康対策	12.1
9 スポーツや文化芸術の振興	6.6	24 産業や観光の振興	3.5
10 道路やまちなみの整備	18.6	25 雇用対策や労働環境の整備	15.6
11 都市のバリアフリー化	9.5	26 中小企業支援	6.9
12 公共交通の利便性を高める	17.9	27 子育て支援	30.9
13 土地・住宅対策	7.4	28 学校教育の充実	18.9
14 I C T（情報通信技術）利用の推進	5.3	29 その他	3.2
15 農林水産業の振興	4.8	30 特にない、分からぬ	1.2
		(無回答)	4.7

E-1 お住まいの地域はどちらですか (n=1,627) (%)

1 横浜（横浜市）	37.9
2 川崎（川崎市）	14.6
3 相模原（相模原市）	6.6
4 横須賀三浦（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）	8.9
5 県央（厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）	9.2
6 湘南（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）	14.4
7 県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	4.5
(無回答)	3.9)

F2 差し支えなければ、あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,627) (%)

1 男 性 44.7      2 女 性 49.7      (無回答 5.6)

F3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2025年8月1日時点)

(n=1,627) (%)

1 18~19 歳 0.2	5 35~39 歳 6.5	9 55~59 歳 10.7	13 75~79 歳 8.1
2 20~24 歳 1.9	6 40~44 歳 8.0	10 60~64 歳 9.5	14 80歳以上 4.7
3 25~29 歳 3.0	7 45~49 歳 10.4	11 65~69 歳 8.4	
4 30~34 歳 4.5	8 50~54 歳 12.2	12 70~74 歳 7.5	(無回答 4.2)

F 4 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。ご自身も含めてお答えください。

(n=1,627) (%)

1 いる 41.8      2 いない 51.9      (無回答 6.3)

F5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものをすべて選んでください。(同居、別居は問いません。) (n=1,627) (%)

1 小学校入学前	7.1	5 短大、専門学校等在学中	1.0	9 その他	3.1
2 小学校在学中	10.9	6 大学、大学院等在学中	6.9	10 子どもはない	30.0
3 中学校在学中	7.6	7 学校教育終了〔未婚〕	21.8		
4 高校在学中	7.0	8 学校教育終了〔既婚〕	22.4	(無回答	4.9)

## F6 あなたはインターネットを利用しますか。

(n=1,627) (%)

1 よく利用する	69. 0	3 あまり利用しない	5. 5
2 ときどき利用する	14. 0	4 利用しない	7. 3
		(無回答	4. 2)

F7 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1~9の中から1つ選んでください。

また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,627) (%)

(n=1,032) (%)

1	自営業主	4.9	ア 農林水産業	0.3
2	家族従業者 (家業手伝い)	1.3	イ 商工サービス業 (各種商店、飲食店、工事店などの経営)	4.5
3	勤め (フルタイム)	41.7	ウ 自由業 (開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	4.7
4	勤め (パートタイム)	15.4	エ 経営・管理職 (会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	7.9
5	内職	0.1	オ 専門・技術職 (研究員、技術者、勤務医、看護師など)	21.9
6	主婦・主夫 (勤めていない)	12.5	カ 事務職 (事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	24.6
7	学生	1.0	キ 教育職 (教諭、保育士など)	5.3
8	無職	14.5	ク 技能・労務職 (工場の生産工程従事者、運転士など)	10.6
9	その他	1.8	ケ 販売・サービス職 (商店、サービス業などの従業員)	18.1
(無回答 6.7)		(無回答 2.1)		

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。  
同封の返送用封筒で、8月12日（火）までにご投函ください。（切手は不要です。）  
なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

県政についてのご意見やご提案がありましたら、お書きください。

ご意見やご提案を希望する内容の番号に○をつけてください。

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 安全・安心        | 6 産業・労働    |
| 2 健康・福祉        | 7 県土・まちづくり |
| 3 エネルギー・環境     | 8 県政一般     |
| 4 スポーツ・国際文化・観光 | 9 その他      |
| 5 教育・子育て       |            |

下記にその内容をご記載ください。

397人（24.4%）から自由意見が寄せられました。